

2026年度 履修の手引

カリキュラム2019
(2019年度以降入学者)



埼玉県立大学

SAITAMA PREFECTURAL UNIVERSITY

目 次

1. 基本理念	1
2. 学部の教育研究上の目的、教育目標及び方針（ポリシー）	2
3. 教育課程の基本的な考え方	4
1. 共通科目	
2. 専門科目	
3. 主要授業科目	
4. 学修の手引	7
1. 教育課程	
2. 履修	
3. 本学で履修した科目以外の単位の認定	
4. 他学科等の科目履修	
5. 再履修科目	
6. 公欠	
7. 試験	
8. 成績の評価等	
9. 卒業	
10. シラバスについて	
5. 看護学科	13
1. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	
2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	
3. 卒業単位	
4. 先修条件	
5. 保健師関連科目の履修について	
6. 助産師関連科目の履修について	
7. 養護教諭関連科目の履修について	
8. 看護師等養成所専任教員資格について	
9. 3年次編入生の履修方法等について	
6. 理学療法学科	29
1. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	
2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	
3. 卒業単位	
4. 先修条件	
5. 理学療法士作業療法士養成施設専任教員資格について	
7. 作業療法学科	36
1. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	
2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	
3. 卒業単位	
4. 先修条件	
5. 理学療法士作業療法士養成施設専任教員資格について	

- 8-1. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻Ver. 2.0 (2021年度～2024年度入学生) …… 43
 - 1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)
 - 2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)
 - 3. 卒業単位
 - 4. 他学科等科目の卒業単位への算入
 - 5. 先修条件
 - 6. 社会福祉士関連科目の履修について
 - 7. 精神保健福祉士関連科目の履修について
 - 8. 保育士関連科目の履修について

- 8-2. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻Ver. 3.0 (2025年度以降入学生) …… 55
 - 1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)
 - 2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)
 - 3. 卒業単位
 - 4. 他学科等科目の卒業単位への算入
 - 5. 先修条件
 - 6. 社会福祉士関連科目の履修について
 - 7. 精神保健福祉士関連科目の履修について
 - 8. 保育士関連科目の履修について

- 9-1. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻Ver. 2.0 (2021年度～2024年度入学生) …… 67
 - 1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)
 - 2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)
 - 3. 卒業単位
 - 4. 先修条件
 - 5. 幼稚園教諭一種免許科目の履修について
 - 6. 保育士関連科目の履修について
 - 7. 福祉子ども学専攻で社会福祉士の受験資格取得を希望する場合

- 9-2. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻Ver. 3.0 (2025年度以降入学生) …… 80
 - 1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)
 - 2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)
 - 3. 卒業単位
 - 4. 先修条件
 - 5. 幼稚園教諭一種免許科目の履修について
 - 6. 保育士関連科目の履修について
 - 7. 福祉子ども学専攻で社会福祉士の受験資格取得を希望する場合

- 10-1. 健康開発学科 健康行動科学専攻Ver. 2.0 (2021年度～2024年度入学生) …… 93
 - 1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)
 - 2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)
 - 3. 卒業単位
 - 4. 他学科等科目の卒業単位への算入
 - 5. 先修条件

10-2. 健康開発学科 健康情報学専攻Ver. 3.0 (2025年度以降入学生)	100
1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	
2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	
3. 卒業単位	
4. 他学科等科目の卒業単位への算入	
5. 先修条件	
11. 健康開発学科 検査技術科学専攻Ver. 2.0 (2022年度以降入学生)	107
1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	
2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	
3. 卒業単位	
4. 先修条件	
5. 民間資格	
12. 健康開発学科 口腔保健科学専攻.....	115
1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	
2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	
3. 卒業単位	
4. 先修条件	
13. 教員免許の手引.....	122
1. 教職課程	
2. 教員免許状の授与制度	
3. 本学で取得できる教員免許状の種類	
4. 必要最低単位数	
5. 履修上の注意	
6. 養護教諭免許状	
カリキュラムマップ.....	125

基本理念

本学は、陶冶、進取、創発を基本理念として、保健医療福祉に関する教育・研究の中核となって地域社会に貢献します。

陶冶

誠実で温かい心と主体性を持ち、多様な価値観を尊重する人間性を磨き高める

進取

広く先達に学びつつ、未来を志向する教育・研究に取り組む

創発

多様な連携を通じて、予測を遥かに超える新たな価値を創造する

平成27年9月28日制定

2. 学部の教育研究上の目的・教育目標及び方針(ポリシー)

教育研究上の目的

保健医療福祉学部は、現代社会を構成する市民としての豊かな教養、確かな倫理観と人間性を基盤に、保健医療福祉分野における専門的な知識と技術とともに多職種との連携と協働に必要な能力をもって、人々の健康と生活を統合的に支え共生社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

教育目標

【豊かな人間性】

人間が存在することの意義を理解し、その尊厳と基本的人権の尊重に基づき活動できる豊かな人間性と高い倫理観をもつこと。

【創造力に富む知性】

様々な現象を科学的、客観的に捉え、批判的な思考(critical thinking)に基づいて主体的かつ創造的に探究する知性をもつこと。

【高い専門性と連携力】

社会の信頼と要請に応える高い専門的知識と技術を修得しつつ、幅広い学問領域の知識や技術を活かしながら多様な人々と連携できる専門性をもつこと。

【国際性と地域性に基づく協働力】

保健医療福祉に関わる現象をグローバルな視点で理解しつつ、地域の人々と協働してその特性に応じた活動ができる能力をもつこと。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学の学則に定めた所定の単位を修得し、教育目標に到達したと判断できる者に学位を授与します。具体的には、以下の点について、講義や演習・実習等を通じた学修成果に基づき総合的に判断します。

1. 保健医療福祉の分野において重要である、対象者の多角的な理解ができるとともに、高い倫理観を備えていること。
2. 日常の社会生活において、客観的かつ批判的な思考(critical thinking)を身に付けていること。
3. 場面に応じた適切な判断力や、多面的な視点からの課題へのアプローチ等、様々な課題に対応することのできる専門的かつ総合的な視点を備えていること。
4. 多様な人々とコミュニケーションを図りながら連携することができ、ライフステージに応じた人々の健康と生活を統合的に支える活動に取り組めること。
5. 国際的な視野をもちながら、地域における保健医療福祉の諸問題への持続的な取り組みができること。

2. 学部の教育研究上の目的・教育目標及び方針(ポリシー)

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

教育目標の到達を目指す学修を可能とするため、以下の考え方のもとにカリキュラムを構成します。

1. 共通教育に関する科目は、豊かな人間性と創造性に富む知性の涵養を可能とし、保健医療福祉の領域における多様な実践を行うための基盤となる能力を修得するために、初年次科目、IPE科目、教養科目から構成されるカリキュラムを編成します。その際には、リテラシーの獲得から教養教育と専門教育への展開につながるプロセスを明示します。
2. 受講すべき科目に順次性や階層性を持たせることや選択の幅を広げることによって、継続的に探究することや主体的な学修ができるようにします。
3. 専門教育に関する科目は、学位（学科・専攻）ごとに特色ある体系的編成としつつ、同時に学科に関わらず履修できる科目を配置します。
4. 学部として共通に学ぶことと、それぞれの専門分野で学ぶことを有機的に結びつけたカリキュラムとします。特に、専門職連携(Interprofessional Work: IPW)の科目については、各年次に配置し、連続性と階層性を明示します。
5. 国際的な視野をもちながら、地域における保健医療福祉の諸問題への継続的な取組みを可能とする科目を配置します。

学生がこのカリキュラム・ポリシーの意義を確認しながら履修できるよう、カリキュラムの全体像と順次性・階層性について明示します。

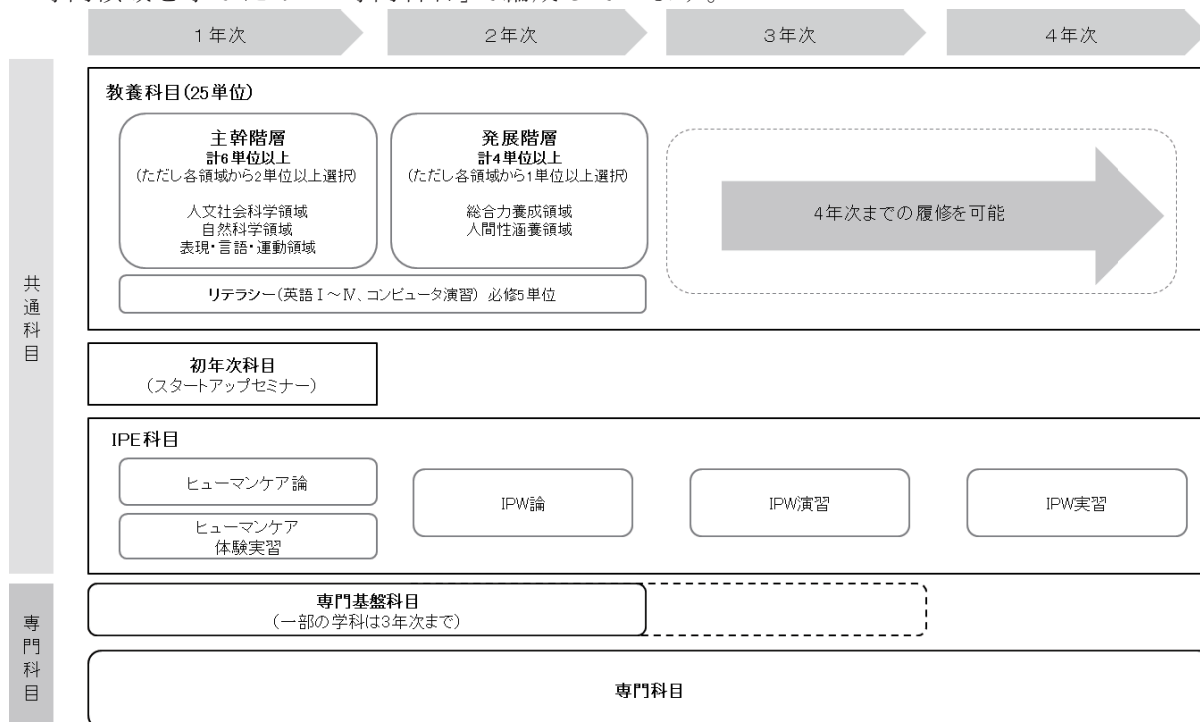
3. 教育課程の基本的な考え方

本学の教育課程（カリキュラム2019）は、学生の皆さんが豊かな人間性を涵養しつつ、専門の学問が深められるように**共通科目**と**専門科目**を4年間通して学ぶよう編成されています。

・学修活動の基礎となる知識と技能の修得を目的とした「初年次科目」、保健・医療・福祉の各専門職の連携によるケアの統合化について4年間を通じて連続的・体系的に学修する「IPE科目」が配置されています。

・共通科目の中核をなす教養科目では、市民としての基盤を形成する学問としての“教養”を学ぶことを目的として、多様な科目を配置するとともに、主幹階層、発展階層、リテラシー階層に区分して、段階的な学習が進められるよう整理しています。

・専門科目は、学部における基盤となる科目を学ぶための「専門基盤科目」及び学科・専攻ごとの専門領域を学ぶための「専門科目」で編成しています。



1. 共通科目

1) 教養科目

本学では教養科目を「市民としての基盤を形成する学問」と位置づけ、その学修のために幅広い領域にわたって多様な科目を配置しています。皆さんはこれら教養科目の中から自分の興味と必要性に応じて科目を選択し、履修することができます。卒業までの間に必要単位（教養科目全体で計25単位以上）を修めることが必須条件となりますが、科目履修の順序や時期は、いくつかの例外を除いて皆さんの判断に任されています。教養科目の履修に当たっての注意事項は以下のとおりです。

(1) 階層と領域

教養科目には3つの階層があり、さらに主幹階層と発展階層はそれぞれ3つあるいは2つの領域から構成されています。

- ・リテラシー階層
- ・主幹階層（人文社会科学領域、自然科学領域、言語・表現・運動領域）
- ・発展階層（総合力養成領域、人間性涵養領域）

主幹階層は各領域から2単位以上計6単位以上、発展階層は各領域から1単位以上計4単位以上を修得することが必要ですが、その他は皆さんの知的関心に応じて自由に履修し、卒業単位に加えることができます。発展階層科目の「教養ゼミナール」は総合力養成領域と人間性涵養領域のどちらでも卒業認定単位として加算可能です。社会福祉子ども学科の学生及び教員免許取得希望者は、必修に指定されている科目がありますので、学科別カリキュラム表等で見落としのないよう注意してください。

3. 教育課程の基本的な考え方

(2) 必修科目

教養科目には必修科目と選択科目があります。リテラシー階層科目の「英語Ⅰ～Ⅳ(4単位)」と「コンピュータ演習(1単位)」が全学生の必修科目です。その他は原則として選択科目です。「英語Ⅰ～Ⅳ」と「コンピュータ演習」はクラスと履修年次が決まっています。「英語Ⅰ・Ⅱ」と「コンピュータ演習」は1年次、「英語Ⅲ・Ⅳ」は2年次に履修します。

(3) 選択科目

選択科目の主幹階層と発展階層の科目は階層によって履修年次が異なります。

- ・主幹階層科目は主に1年次に履修することを想定して時間割が組まれています。月曜1・2限は専門科目が開講されない時間枠ですので、2年次以降も履修が可能です。
- ・発展階層科目は2年次以降に履修できます。月曜1・2限は専門科目が開講されない時間枠ですので、3年次以降も履修が可能です。なお、3年次前期の月曜3限においても科目によっては履修が可能です。
- ・各授業には内容や教室等の関係で定員が設定されています。履修希望者が定員を超過した場合は、抽選によって履修者を制限することがあります。

(4) 先修条件

主幹階層の自然科学領域の実験科目のうち、「自然科学実験」を除く実験科目(「物理学実験」、「化学実験」、「生物学実験」)は先修条件が付いています。

- ・「物理学実験」:「物理学」の単位を修得済みか修得見込み(同時履修も可)であること
- ・「化学実験」:「化学」の単位を修得済みか修得見込み(同時履修も可)であること
- ・「生物学実験」:「生物学」の単位を修得済みか修得見込み(同時履修も可)であること

これら3つの実験科目を履修する場合は、あらかじめ必要な科目の履修順序を考えておく必要があります。[ただし、令和6年度以降の入学生(3年次編入生の場合は令和8年度以降)については、上記実験科目の科目責任者が履修を認める場合は、先修条件が免除されます。]

(5) 他大学の科目の履修

教養科目の選択肢をさらに広げるために「他大学との単位互換制度」を設けています。本学は「埼玉県東部地区大学(獨協大学、文教大学、日本工業大学)」、「放送大学」及び「埼玉大学」と単位互換の協定を結んでおり、各大学が指定する授業科目を特別聴講学生として履修することができます。教養科目ではこの方法で取得した他大学の単位を選択科目として卒業単位に含めることができます。どのような科目があるのか、申請の方法、費用など「単位互換制度」の説明(7～9ページ)をよく読み、検討してください。

(6) 学外試験による「英語」単位認定

TOEICやTOEFL、英検のスコア等を所有する人は、それにより「英語」科目の単位の認定を受けることができます。単位の認定に当たっては、申請時に一定のスコア又は級を持っていることが必要です。所持する資格と認定する科目等の詳細については「資格等の取得による英語の単位認定」(9ページ)を参照してください。

3. 教育課程の基本的な考え方

2) 初年次科目

初年次科目（スタートアップセミナー）は、4年間（看護編入生においては2年間）の学修活動の基礎となる知識と技能の習得を目的とし、必修科目として1年次前期（看護編入生は3年次前期）に配置しています。

授業進行は2部構成としており、Part Iは新たな学生生活に踏み出すための助走期間としての位置づけを持つ“大学生活の基礎知識編”、学士力育成のための種まき期間となる読み、書き、話すの“リテラシー編”となっています。Part IIは講義や実習へのモチベーションを高め、自発的な学習（Active Learning）を習慣づけるための期間として小グループによるディスカッションを通して学習を進める、PBL（Project-based Learning）テュートリアル（問題基盤型学習）の基礎を育成するための“討論形式学習の実践編”であり、本科目は高大接続科目として位置づけています。

3) IPE (Interprofessional Education) 科目

保健・医療・福祉の分野においては、人々のより健康的な生活を実現するため、関連する専門職の連携が不可欠です。これには、保健・医療・福祉の共通基盤となる理念・基本的な考え方、対象となる人や集団・社会の特性、連携・協働による実践方法を学ぶとともに、チーム活動で活かせる個人の能力を身につけることが必要とされます。

具体的には、「ヒューマンケア論」、「ヒューマンケア体験実習」、「IPW論」、「IPW演習」及び「IPW実習」を必修科目として4年間を通じて連続的・体系的に学修するようになっています。

2. 専門科目

1) 専門基盤科目

専門基盤科目は、各学科・専攻における専門分野の基盤となる知識を修得するための授業科目として1年次及び2年次（理学療法学科及び作業療法学科は1～3年次）に配置しています。各学科・専攻ごとに履修科目が異なるので、注意してください。

2) 各学科・専攻の専門科目

各学科・専攻の専門科目（専門基盤科目を含む）については、各学科・専攻のページ（13ページ～124ページ）をご覧ください。

3. 主要授業科目

本学のディプロマ・ポリシーと密接に関連し、学部および学科・専攻の教育課程編成の方針に沿って専門性を深めるとともに、当該分野における中核的な内容を含み、教育上重要な役割を担う科目を、主要授業科目として定めています。詳細は、本冊子「5. 看護学科～12. 口腔保健科学専攻」の「開設科目と配当年次」に記載されていますので、確認してください。

なお、本学の教育課程では、主要授業科目か否かに関わらず、教育目標の達成に必要な授業科目を配置しています。主要授業科目以外の授業科目についても、積極的に授業に参加してください。

4. 学修の手引

1. 教育課程

授業は、あらかじめ定められた教育課程（カリキュラム）に基づいて行われます。
各学科・専攻の教育課程は、本冊子「5. 看護学科～12. 口腔保健科学専攻」に詳しく記載されていますので、確認してください。

2. 履修

授業科目を受講するためには、その科目を履修登録することが必要です。
履修登録は、前期・後期科目を合わせて年度初めに一括して行います。
また、後期の初めに後期科目の登録内容を修正することができます。

1) 履修科目

科目には必修科目と選択科目があります。各学科・専攻の教育課程をよく読み、卒業に必要な単位を充足するよう十分注意してください。また、履修登録した科目を途中で放棄した場合、その科目の評価は「D」（不合格）となります。選択科目の申請は慎重に行ってください。

必修科目	必ず修得しなければならない科目
------	-----------------

選択科目	指定された複数の科目の中から、選択して一定の単位数以上を修得しなければならない科目
------	---

2) 履修登録

履修登録とは、履修の意思を申請するものです。指定された期間内に、CampusAvenue（パソコンやスマートフォンなどで履修登録を行うシステム）で登録してください。

○学内のパソコン設置場所 情報センター（図書館）情報ラウンジ・情報処理実習室・CAI実習室・CAFÉ

指定された期間内に履修登録をしないと、原則として授業を受けることができません。
また、履修登録した内容は、指定された期間内に各自で必ず確認してください。その際、登録に誤り等があれば期間内に必ず修正をしてください。履修の意思がなくても登録が残っていれば履修をしているものとみなされ、成績評価の対象となります（「D」（不合格）の成績がつくこととなります）。
なお、指定された期間以外には履修登録を修正することはできません。

※履修登録にあたっては、事前に抽選を行う科目があります。

※健康開発学科健康行動科学専攻及び健康情報学専攻の学生は、各年次に履修登録できる単位の上限を46単位としております。ただし、「教職関連科目」についてはこの制限外とします。

3. 本学で履修した科目以外の単位の認定

1) 既修得単位の認定

本学に入学する前に、大学や短大等で修得した科目について、その内容等が、本学の科目と合致すると認められる場合、その科目の単位を、本学で既に修得した単位（既修得単位）とみなす制度です。

なお、既修得単位の認定について、入学前に送付した案内に示された期限を過ぎて申請することはできません。

2) 単位互換（本学に入学した後、他大学で修得した単位の認定）

本学に入学した後、他大学等で開講されている科目を履修し、修得した単位を本学の単位として認定する制度です。（学則第64条）

現在、埼玉県東部にある三大学（獨協大学、文教大学、日本工業大学）、放送大学及び埼玉大学と単位互換に係る協定を結んでいます。

4. 学修の手引

■埼玉県東部地区大学及び埼玉大学との単位互換

協定大学	獨協大学・文教大学・日本工業大学・埼玉大学
学生の身分	協定大学の特別聴講学生又は特別聴講生(協定大学より学生証が発行されます)
履修期間	各協定大学が指定した期間
履修科目	各協定大学が提供する授業科目のうち、本学において認めたもの
成績評価	各協定大学の規程等に準じて評価します
単位認定	本学の教養科目の単位として認定します ※学科ごとに認定できる単位の上限が異なります。
授業料等	授業料・検定料・登録料等は徴収しません ※ただし、実験・実習・実技等にかかる費用を徴収することがあります
出願期間・方法	前期：4月上旬、 後期：7月上旬 獨協大学、文教大学、日本工業大学及び埼玉大学での授業科目の履修を希望する場合、指定された期日までに「出願書」に必要書類を添えて、事務局教務・入試担当に提出してください。協定大学の募集要項や出願書は事務局教務・入試担当窓口で配布します。

■放送大学との単位互換

協定大学	放送大学
学生の身分	放送大学の特別聴講学生(放送大学より学生証が発行されます)
履修科目	放送大学で開講されている授業科目のうち「基盤科目」、「導入科目」
履修方法	授業は「放送授業」と「オンライン授業」があります。放送授業はテレビ・ラジオの放送、インターネット配信にて24時間いつでも視聴でき印刷教材(テキスト)にて行われます。オンライン授業は、動画視聴や課題提出などすべての学習をインターネット上で行い印刷教材、通信指導、単位認定試験はありません。
通信指導	学期の途中に一回、課題が出され放送大学の教員から添削を受ける通信指導があり、この通信指導に合格すると、単位認定試験の受験資格が得られます
単位認定試験	試験期間中はインターネットを通じ自宅等から24時間いつでも受験できます。
単位認定	本学の教養科目の単位として認定します。ただし、学科ごとに認定できる単位の上限が異なります。
授業料等	授業料：1単位6,000円(2単位科目の場合12,000円)を、直接放送大学へ納入してください。(一旦納入した授業料は、一切返却されません。) 入学料・検定料：不要
出願期間・方法	第1学期(前期) 12月上旬～2月上旬 第2学期(後期) 7月中旬～8月上旬 放送大学での授業科目の履修を希望する場合、指定された期日までに「出願票」に関係書類を添えて、事務局教務・入試担当に提出してください。「出願票」等は事務局教務・入試担当窓口で配布します。 (注意) 指定された期日までに「出願書」等関係書類を提出しない場合や、出願後に提出を指示された書類を提出しない場合は、出願自体を取り消すことがあります。

4. 学修の手引

☆単位互換で認定できる単位の上限について

学科ごとに卒業単位として認定できる単位の上限は、埼玉県東部地区三大学、放送大学及び埼玉大学との単位互換を合わせて以下の表のとおりです。

学 科・専 攻	単位数の上限	学 科・専 攻	単位数の上限
看護学科	10単位	健康開発学科	
理学療法学科	10単位	健康情報学 (健康行動科学) 専攻	10単位
作業療法学科	10単位	検査技術科学専攻	10単位
社会福祉子ども学科		口腔保健科学専攻	10単位
社会福祉学専攻	10単位		
福祉子ども学専攻	4単位		

※ 本学の教育課程では、卒業単位として本学が開講する教養科目のうちリテラシー階層から必修5単位、主幹階層の各領域から2単位以上計6単位以上、発展階層の各領域から1単位以上計4単位以上を修得することが必要です(4 ページ参照)。また、他大学の科目を本学の階層や領域に当てはめて単位認定はしません。したがって、単位互換で修得した単位で教養科目の選択科目の卒業単位として認定できるのは、社会福祉子ども学科福祉子ども学専攻については4単位、同学科専攻以外の学科専攻については10単位までとなります。

※ なお、上記の表の単位数の上限を超えて修得した単位については、10単位までは査外科目(成績は評価されますが、卒業に必要な単位として認められない科目)の単位として認定します。

3) 資格等の取得による英語の単位認定

検定試験の結果等を、本学の英語科目の単位の修得とみなす制度です(学則第65条)。認定を希望する場合は、「資格等の取得による単位認定申請書」に「学修を証明する書類」を添えて事務局教務・入試担当に提出してください。申請書は、事務局教務・入試担当窓口で配布します。

※申請は、随時受け付けておりますが、卒業する年度に単位認定の申請をする学生は、卒業する年度の1月15日(同日が土曜日又は学則第26条第1項若しくは同条第3項に規定する休業日に当たるときは、翌営業日)までに申請してください。

認定対象の 授業科目	単位数	検定試験・資格等			
		TOEIC L&R 公開テスト	TOEFL iBT Test	IELTS	実用英語 検 定
英語 I	1 単位	680 以上	73 以上	5.5 以上	準1級以上
英語 II	1 単位	680 以上	73 以上	5.5 以上	準1級以上
英語 III	1 単位	720 以上	78 以上	6.0 以上	準1級以上
英語 IV	1 単位	720 以上	78 以上	6.0 以上	準1級以上

■学修を証明する書類

検定試験・資格等の合格証書又は公式認定証の写し

※単位の認定にあたっては、申請時に上記のスコア又は級を持つことが必要です。

4. 他学科等の科目履修

在籍する学科以外の科目を履修する制度です。履修を希望する場合、その科目の教員(科目責任者)から事前に承諾を得た上で、指定された期日までに「他学科等科目履修申請書」を事務局教務・入試担当に提出してください。履修の承認結果は、別途お知らせします。

なお、履修した科目の成績は評価されますが、原則として卒業に必要な単位として認められません。

4. 学修の手引

5. 再履修科目

成績評価が「D」（不合格）となった科目を再履修するためには、再度、履修登録をしなければなりません。ただし、再履修する科目の時間割が、他の必修科目の時間割と重複する場合、結果として4年間では卒業が困難になる場合があります。配当年次での単位の修得に努めてください。

※休学から復学した場合や、「D」（不合格）のため再履修する場合など、履修に関して不明な点があるときは、必ず、所属する学科の教員の指導を受けてください。

6. 公欠

以下の事由により授業を欠席した場合は公欠として取り扱い、課題等を課した上で出席時間に繰り入れることができます。

- ① 学校保健安全法施行規則第18条に規定された感染症に罹患したことにより、出席停止の措置を受けた場合
- ② 気象警報・交通機関の運休等により通学が困難であると認められる場合
- ③ 親族が死亡した場合
- ④ 裁判員制度による裁判員または裁判員候補者に選任された場合
- ⑤ 検察審査会の審査員または補充員に選任された場合
- ⑥ その他学長が必要と認める場合

公欠の申請は、原則として、授業を欠席した日から起算して一週間以内に、「公欠届」を事務局教務・入試担当（①は学生・就職支援担当）に提出してください。

※出席停止の措置を受けた等の理由で提出期限を超過する場合は、登校可能となったのち速やかに提出してください。

※保育士資格取得に係る関連科目及び欠席した授業に相当する補講等が困難な科目については、公欠の適用外とする。

7. 試験

試験は、原則として、各学期中に実施されます。受験上の注意点を守って試験に臨んでください。

- ① 原則として、試験はその科目の授業時間数の2/3以上（講義及び演習）、又は4/5以上（実験、実習及び実技）出席しないと受験できません。
- ② 試験を受ける際には、学生証が必要です。万一、忘れた場合、事務局教務・入試担当の窓口で仮学生証の交付を受けてください。仮学生証はその日の試験終了後、必ず教務・入試担当の窓口に戻却してください。
- ③ 試験開始後、30分を経過して遅刻した場合、その試験を受けることはできません。
- ④ 不正行為を行った場合、その学期に履修登録のある全ての授業科目の成績の評価は「D」となります。そのほか、懲戒処分を受けます。レポートの作成・提出にあたって不正行為を行った場合も同様です。

■追試験

病気その他やむを得ない理由により、定められた期日に試験を受けることができなかった場合、申請により、追試験を受けることができます。

追試験を希望する場合、その科目の試験日から起算して一週間以内に、欠席事由を証明する書類とともに「追試験願」を事務局教務・入試担当に提出してください。

※「病気その他やむを得ない理由」は、原則以下のとおりです。

- ・公欠として認められる事由（埼玉県立大学における授業の欠席に関する取扱要項第2条第2項第1号から第6号）
- ・疾病又は負傷（医師の診断書、または病院で受診したことが証明できるものがある場合に限る）

■再試験

試験又は追試験の結果、担当の教員（科目責任者）が必要と認めた場合に再試験を行うことがあります。再試験の合格者の成績の評価は、すべてCになります。

4. 学修の手引

8. 成績の評価等

1) 成績の評価

成績は、授業への取組、レポート、試験等を総合的に判断して5段階により評価されます。各科目の評価方法については、各授業科目のシラバスを参考にしてください。成績の評価基準は次のとおりです。

評価	意味	合否	G P
S	到達目標を十分に達成しているきわめて優秀な成績	合格	4
A	到達目標を十分に達成している優秀な成績		3
B	到達目標をおおむね達成している成績		2
C	到達目標を最低限度達成している成績		1
D	到達目標を達成していない成績	不合格	0

2) GPA

GPA は、授業科目毎の成績評価の上位から4、3、2、1、0のグレードポイント（以下、GP）を付与しその平均を計算したものです。「学期 GPA」は当該学期、「単年度 GPA」は当該年度の GPA 対象科目についてそれぞれの基準時点の GPA を算出したもの、「累積 GPA」は入学以降の GPA 対象科目すべてについて GPA を算出したものです。

成績の評価と、学生が各授業科目で得た評点に対する GP の関係性は上記の表のとおりです。

$$G P A = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目で得たGP}) \text{の合計}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

※その他GPAの詳細は、学内ポータルサイトに掲載されているQ&Aを確認してください

3) 成績の通知等

成績簿は、次の期間、CampusAvenueにて閲覧及び印刷することができます。

	成績開示期間	「成績に関する確認届」提出期限
前期科目の成績	同年度の9月中旬頃～12月中旬頃	成績通知簿を通知した日から 起算して7日以内
後期科目の成績	同年度の3月中旬頃～翌年度の6月末頃	

※ ここでいう「7日以内」には、土日祝日は含みません。

※ 成績開示初日に成績が開示されなかった科目については、成績が開示された日から7日以内とします。

※ 成績開示期間の詳細な日時については、CampusAvenue等にて別途通知します。

■ 次の理由により、成績の確認を行いたい場合は、上記期間内に「成績に関する確認届」により申し出ることができます。

- ①通知された成績評価が、シラバスや授業中に提示されている成績評価方針及び基準に照らし、大きく異なると想定される場合
- ②履修登録を行い、レポート提出、定期試験を受験したにもかかわらず、成績簿に成績が記載されていないなど、誤った処理がなされた疑いがある場合

届け出た翌日から原則7日以内（土日祝日を含む）に授業を担当する教員（科目責任者）が確認の上、回答します。また、成績確認を行ってもなお疑義がある場合には、成績確認の回答を受け取った日から7日以内（土日祝日を含む）に「成績評価に関する不服申立書」を提出することで、不服申立てを行うことができます。

様式の配布及び届出先は、事務局教務・入試担当窓口です。

4. 学修の手引

9. 卒業

1) 卒業要件（学則第67条）

本学の卒業要件は、以下のとおりです。

- ①修業年限（4年（編入学生は2年）以上在籍すること）を満たすこと
- ②卒業に必要な授業科目の単位を修得すること

2) 学士の学位

修業年限を満たし、所定の卒業単位を修得した者に学士の学位が授与されます。学位に付記する専攻分野の名称は次のとおりです。

学 科	専攻分野の名称
看護学科	学士（看護学）
理学療法学科	学士（理学療法学）
作業療法学科	学士（作業療法学）
社会福祉子ども学科	学士（社会福祉子ども学）
健康開発学科	学士（健康科学）

3) 卒業に必要な単位

卒業に必要な単位数は、本学では128単位です。詳しくは、本冊子「5. 看護学科～12. 口腔保健科学専攻」に学科・専攻ごとに記載されていますので、よく確認してください。

4) 卒業者の発表

毎年3月上旬に掲示します。また、前期末で卒業の要件を満たす場合、指定する期日までに申し出るにより、前期末に卒業することができます。

10. シラバスについて

シラバスとは、授業の概要や学習のねらい、1回ごとの授業の内容等、以下の項目を記載した授業計画です。CampusAvenueで確認できます。内容をよく確認し、計画的、体系的に科目を履修してください。また、授業の内容を事前に把握し、積極的に授業に参加してください。

■ シラバスの記載内容

項目	記載内容
科目責任者	授業の進行の取りまとめや成績の評価等を行う科目に責任を持つ担当教員
科目に関連する実務経験	担当教員の授業に関連する実務経験
授業の概要	授業全体の概要及び授業の進め方など
学習のねらい	授業のねらいや授業全体の到達目標
関連するディプロマポリシー	授業と関連するディプロマポリシー
授業の到達目標及び授業概要	各回の授業の到達目標や授業概要など
教科書、参考書、教材等	授業で使用する教科書、参考書等
評価方法	成績の評価を行う方法や基準等
授業外における学習方法	授業外に行う予習や復習等
学習上の助言や授業改善に関する教員からのコメント	授業科目を担当する教員（科目責任者）から、授業を受ける際の予備知識や準備、授業評価アンケートを受けて改善した事項など、学生のみなさんへのメッセージなど

5. 看護学科

1. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学の学則に定めた所定の単位を修得し、教育目標に到達したと判断できる者に学士（看護学）の学位を授与します。具体的には、以下の点について、講義や演習・実習等を通じた学修成果に基づき総合的に判断します。

1. 人間の尊厳と人権の意味を理解し、人権擁護に向けた行動をとることができる。
2. 看護の現象を自ら科学的に探究できる。
3. 看護の対象となる人々を総合的に捉え、根拠に基づいた看護を実践できる。
4. 看護の専門性を活かし、関連する人々と協働することができる。
5. 国内外の社会動向をふまえた保健医療福祉課題を理解し、課題解決のための方略が探索できる。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

教育目標の到達を目指す学修を可能とするため、以下の考え方のもとにカリキュラムを構成します。

1：教育内容の指針

- ・ 看護学士課程において卒業時に求められる看護実践能力を獲得できるよう、その内容を含む科目を各セメスターに配置します。
- ・ 専門教育に関する科目は看護学を体系的に学ぶために順序性を考慮した編成をします。そのため、科目によって先修条件を課します。
- ・ 看護学の中でも特に関心の高い分野をより深く学ぶために4つの履修モデルを提示します。それぞれの履修モデルに応じた選択科目を配置します。
- ・ 看護職として生涯活躍するイメージを形成するためにキャリア教育の内容を含む科目を配置します。
- ・ 各科目で地域性・国際性を意識して、教授します。

2：教育方法の指針

- ① 能動的学修を促進するため教育方法を工夫します。
 - ・ 現象を批判的に捉え、根拠に基づき論理的に思考する力を高める学習課題を提供します。
 - ・ 対人技能、協同的態度、および自律性を高めるため、グループワーク等を取り入れます。
 - ・ 発信力を高めるため、授業の中でプレゼンテーションの機会を設けます。
 - ・ ICTを活用し、授業時間外にも学習機会を設けます。
- ② 看護学や看護職への関心を喚起し、人権擁護の意識を高めるため、模擬患者やシミュレーション等リアリティのある教材を活用します。
- ③ 学んだ知識・技術・態度を統合して行動できるよう、講義、演習、実習を組み合わせることで教育内容を構成します。
- ④ 学生が自己を客観的に振り返り、次にむけての課題を明確化できるような機会を設けます。
 - ・ 学生間の相互評価や教員との面接を行い、学生のリフレクションを支援します。
 - ・ セメスター毎に学修ポートフォリオを用いて振り返りをします。

3：教育評価の指針

- ① 科目の到達目標に合わせ、シラバスに提示されている複数の評価方法を組み合わせて評価を行います。
- ② 段階的な到達目標を学修ポートフォリオに組み込み、定期的に面接を行います。
- ③ 4年間の学修成果は、総合実習、IPW実習および卒業研究によって総括的評価を行います。

詳細な科目配置は後の「看護学科カリキュラム」（24ページ）を参照してください。

5. 看護学科

【4つの履修モデル】

看護学科の専門科目においては「臨床看護系」「公衆衛生看護系」「助産系」「学校看護系」の4つの特徴的な系統に基づいた履修モデルに応じた選択科目を配置しています(表1)。

各履修モデルに基づき必要な単位を修得した場合、看護師・保健師・助産師の国家試験受験資格、養護教諭一種教員免許の取得ができます(表2)。なお、公衆衛生看護系、助産系、学校看護系の履修者限定科目については、履修定員を設け、履修者選考を実施します。

表1 4つの履修モデルと概要

履修モデル	概要
臨床看護系	さまざまな健康課題をもつ人々の支援を考え、問題解決するための実践能力を養うため、臨床看護学について深く学ぶことを目指す。
公衆衛生看護系	保健師の活動する行政・学校・産業の場において、対象となる人々との支援関係を構築し、地域の健康課題に応じた地域づくりや、健康危機管理のための基礎的能力の習得を目指す。
助産系	周産期にある人々とその家族、各ライフサイクルの女性の健康を支援するために、母子保健分野、助産、リプロダクティブヘルスに必要な基礎的能力を養う。分娩介助を含む幅広い助産活動の実践について学ぶ。
学校看護系	保健医療福祉の基礎知識を生かし、児童生徒の発達段階に応じた心身の健康の保持増進と健康課題を解決するための基礎的能力の習得を目指す。学校保健活動のコーディネーターとしての力量を養う。

表2 国家試験受験資格の取得に必要な単位数

履修モデル	単位修得による 国家試験 受験資格	区分	単位数				
			必修	選択	小計	総計	
臨床看護系	看護師	共通科目	13	20	33	128	
		専門 科目	専門基盤科目	22	1		23
			看護専門基礎科目	2	—		2
			看護学専門科目	62	8		70
公衆衛生 看護系	看護師 保健師	共通科目	13	20	33	141	
		専門 科目	専門基盤科目	24	—		24
			看護専門基礎科目	2	—		2
			看護学専門科目	67	3		70
			公衆衛生看護系 履修者限定科目	—	12		12
助産系	看護師 助産師	共通科目	13	20	33	142	
		専門 科目	専門基盤科目	22	1		23
			看護専門基礎科目	2	—		2
			看護学専門科目	67	3		70
			助産系 履修者限定科目	—	14		14

*学校看護系(養護教諭一種教員免許状)は、7. 養護教諭関連科目の履修について(19ページ)、
13. 教員免許の手引(122ページ)を参照

5. 看護学科

3. 卒業単位

看護学科における卒業に必要な修得単位は128単位であり、内容は以下のとおりです。

区 分		単位数		
		必修科目	選択科目	計
共通科目	教養科目	5	20以上	25以上
	初年次科目	2	—	2
	IPE科目	6	—	6
専門科目	専門基盤科目	22	1以上	23以上
	看護専門基礎科目	2	—	2
	看護学専門科目	62	8以上	70以上
	公衆衛生看護系履修者限定	卒業に必要な修得単位128単位には含めない		
	助産系履修者限定			
	学校看護系履修者限定			
計		99	29以上	128以上

以上の単位を修得し卒業すると看護師の国家試験受験資格が得られます。

なお、看護学科の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は26ページ～28ページの一覧表のとおりです。

4. 先修条件

1. 教養科目について

自然科学実験を除く実験科目（物理学実験、化学実験、生物学実験）の履修は、関連する科目（物理学、化学、生物学）の単位を修得済み、または修得見込みであること。ただし、令和6年度以降の入学生（3年次編入生の場合は令和8年度以降）については、上記実験科目の科目責任者が履修を認める場合は、先修条件が免除される。

なお、単位修得見込みとは、単位修得のための受験資格を得ていることをいう。（以下の先修条件でも同じ）

2. 看護学専門科目について

- 1) 基礎看護学実習Ⅰを履修するには、看護学原論の単位を修得済みであること。
- 2) 基礎看護学実習Ⅱを履修するには、基礎看護学実習Ⅰ、看護過程論、看護方法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴの単位を修得済みであること。
- 3) 老年看護学実習Ⅰを履修するには、老年看護学Ⅰの単位を修得済みであること。
- 4) 成人看護学実習Ⅰを履修するには、成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの単位を修得済みであること。
- 5) 成人看護学実習Ⅱを履修するには、成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅴの単位を修得済みであること。
- 6) 母性看護学実習を履修するには、母性看護学Ⅰ・Ⅱの単位を修得済みであること。
- 7) 小児看護学実習を履修するには、小児看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの単位を修得済みであること。
- 8) 精神看護学実習を履修するには、精神看護学Ⅰ・Ⅱの単位を修得済みであること。
- 9) 地域看護学実習を履修するには、地域看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの単位を修得済みであること。
- 10) 老年看護学実習Ⅱを履修するには、老年看護学実習Ⅰ、老年看護学Ⅱ・Ⅲの単位を修得済みであること。
- 11) 総合実習を履修するには、3年次までに履修すべき、看護学実習の単位を修得済みであること。
- 12) 卒業研究を履修するには、3年次までに履修すべき、専門科目のすべての必修科目を修得見込み、または修得済みであること。

但し4)～10)は、基礎看護学実習Ⅱの単位を修得済みの場合に適用する。

5. 看護学科

5. 保健師関連科目の履修について

卒業に必要な単位に加え、以下の保健師関連科目を修得することにより保健師の国家試験受験資格を得ることができます。

科目名及び単位数(〔 〕は配当年次)	
カウンセリング技法	1 単位[1 年次後期] (編入生は既修得単位)
疫学	1 単位[2 年次前期、編入生は 3 年次前期]
公衆衛生看護展開論Ⅰ (母子保健)	1 単位[2 年次後期、編入生は 3 年次後期]
公衆衛生看護展開論Ⅱ (精神保健)	1 単位[2 年次後期、編入生は 3 年次後期]
公衆衛生看護展開論Ⅲ (成人・高齢者保健)	1 単位[2 年次後期、編入生は 3 年次後期]
公衆衛生看護展開論Ⅳ (感染症保健)	1 単位[3 年次後期]
公衆衛生看護展開論Ⅴ (学校・産業保健)	1 単位[3 年次後期]
☆公衆衛生看護学	2 単位[3 年次後期]
☆地区診断論	2 単位[3 年次後期]
☆保健医療福祉行政論	1 単位[3 年次後期]
☆公衆衛生看護技術Ⅰ (個人／家族への支援)	1 単位[4 年次前期]
☆公衆衛生看護技術Ⅱ (集団／組織への支援)	1 単位[4 年次前期]
☆公衆衛生看護学実習	3 単位[4 年次前期]
☆公衆衛生看護技術Ⅲ (事業評価)	1 単位[4 年次後期]
☆公衆衛生看護管理論	1 単位[4 年次後期]
計	19 単位 (編入生は 18 単位)

なお、☆印を付した科目については 38 名以内の履修定員を設けており、一括履修者選考を実施します。選考の方法、出願手続き等については、学科ガイダンス及び掲示によりお知らせします。ただし、出願するためには、原則として出願時まで以下の要件を満たしていなければなりません。

[出願要件]

3 年次前期までに、原則として次に掲げる科目を修得済み又は修得見込みであること。

- ・初年次科目のスタートアップセミナー
 - ・3 年次前期までに開講される I P E 科目
 - ・3 年次前期までに開講される専門基盤科目、看護専門基礎科目、看護学専門科目の必修科目
 - ・カウンセリング技法
 - ・疫学
 - ・公衆衛生看護展開論Ⅰ (母子保健)
 - ・公衆衛生看護展開論Ⅱ (精神保健)
 - ・公衆衛生看護展開論Ⅲ (成人・高齢者保健)
 - ・教養科目の必修及び選択科目 合計 25 単位
- ただし、主幹階層各領域 (人文社会科学／自然科学／言語・表現・運動) から 2 単位以上計 6 単位以上、発展階層各領域 (総合力育成／人間性涵養) から 1 単位以上計 4 単位以上

ただし編入生については、次のとおりとする。

- ・初年次科目のスタートアップセミナー
- ・疫学
- ・3 年次前期に開講される I P E 科目
- ・3 年次前期に開講される専門基盤科目、看護学専門科目の必修科目

公衆衛生看護系、助産系の選考における併願は認められません。また、すでに学校看護系の審査に合格した者は、選考を受けることはできません。

(出願後の辞退)

出願後の辞退は、原則として認められません。やむを得ず選考を受けた後に辞退する場合は、受験後 2 週間以内に申し出ること、申し出後は、すみやかに「履修選考辞退願」を看護学科長に提出する必要があります。

(合格の取り消し)

選考に合格した者が、出願要件の科目の成績評価が「D」(不合格)となったときは、その選考の合格

5. 看護学科

は取り消しとなります。「合格取り消し」があった場合は、繰り上げ合格を行うことができます。

(保健師関連科目の履修)

保健師関連科目の履修が認められるのは、選考の翌年度までです。また、3年次後期に開講される看護学専門科目の必修科目および履修を認められた保健師関連科目の成績評価が「D」（不合格）となったときは、以降の保健師関連科目の履修はできません。

(再受験)

保健師関連科目履修者選考を受験した者は、保健師及び助産師関連科目履修者選考を在学中に再度受験することはできません。

(合格後の休学時の対応)

保健師関連科目の履修を認められた者が休学をする場合、復学後の保健師関連科目の履修はできません。

5. 看護学科

6. 助産師関連科目の履修について

卒業に必要な単位に加え、以下の助産師関連科目を修得することにより助産師の国家試験受験資格を得ることができます。

科目名及び単位数〔 〕は配当年次	
公衆衛生看護展開論Ⅰ（母子保健）	1単位〔2年次後期、編入生は3年次後期〕
リプロダクティブヘルスと看護	2単位〔3年次後期〕
ハイリスク周産期	1単位〔4年次前期〕
遺伝と看護	1単位〔4年次後期〕
☆周産期のケア	2単位〔3年次後期〕
☆分娩期のケア	3単位〔4年次前期〕
☆助産学実習Ⅰ	1単位〔4年次前期〕
☆助産業務管理	1単位〔4年次後期〕
☆助産学実習Ⅱ	7単位〔4年次後期〕
計	19単位

なお、☆印を付した科目については、25名以内の履修定員が設けられており一括履修者選考を実施します。ただし、実際に養成可能な人数を考慮するため、選考定員は年度によって異なります（参考：2025年度選考では15名以内）。選考の方法、出願手続き等については、学科ガイダンス及び掲示によりお知らせします。ただし、出願するためには、原則として出願時までに以下の要件を満たしていなければなりません。

〔出願要件〕

3年次前期までに、原則として次に掲げる科目を修得済み又は修得見込みであること。

- ・初年次科目のスタートアップセミナー
- ・3年次前期までに開講されるIPE科目
- ・3年次前期までに開講される専門基盤科目、看護専門基礎科目、看護学専門科目の必修科目
- ・公衆衛生看護展開論Ⅰ（母子保健）
- ・教養科目の必修及び選択科目合計25単位

ただし、主幹階層各領域（人文社会科学／自然科学／言語・表現・運動）から2単位以上計6単位以上、発展階層各領域（総合力育成／人間性涵養）から1単位以上計4単位以上

ただし編入生については、次のとおりとする。

- ・初年次科目のスタートアップセミナー
- ・3年次前期に開講されるIPE科目
- ・3年次前期に開講される専門基盤科目、看護学専門科目の必修科目

公衆衛生看護系、助産系の選考における併願は認められません。また、すでに学校看護系の審査に合格した者は、選考を受けることはできません。

（出願後の辞退）

出願後の辞退は、原則として認められません。やむを得ず選考を受けた後に辞退する場合は、受験後2週間以内に申し出ること、申し出後は、すみやかに「履修選考辞退願」を看護学科長に提出する必要があります。

（合格の取り直し）

選考に合格した者が、出願要件の科目の成績評価が「D」（不合格）となったときは、その選考の合格は取り直しとなります。「合格取り直し」があった場合は、繰り上げ合格を行うことができます。

（助産師関連科目の履修）

助産師関連科目の履修が認められるのは、選考の翌年度までです。3年次後期に開講される看護学専門科目の必修科目および履修を認められた助産師関連科目の成績評価が「D」（不合格）となったときは、以降の助産師関連科目の履修はできません。

（再受験）

助産師関連科目履修者選考を受験した者は、保健師及び助産師関連科目履修者選考を在学中に再度受験することはできません。

（合格後の休学時の対応）

助産師関連科目の履修を認められた者が休学をする場合、復学後の助産師関連科目の履修はできません。

5. 看護学科

7. 養護教諭関連科目の履修について

養護教諭一種免許は、卒業単位に加え養護に関する科目、教職関連科目などを修得することにより取得できます。3年次前期までに必要な単位を修得した者の中で養護実習を履修できる者は審査によって10名程度と定めています。詳細は122ページ以降を参照してください。

[出願要件]

- (1) 将来、教員になる意志が明確であること。
- (2) 「養護実習の事前指導」を履修するまでに配当されている以下の科目の単位を、原則として、修得見込みであること。
 - ・ 教職関連科目
 - ・ 養護に関する科目
 - ・ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める教養科目
- (3) 4年次に配当されている専門科目の実習の履修が可能であること。

(履修者の選考)

審査方法・基準等の細則については、審査委員会が事前に合議し、説明会等で公示します。

養護教諭二種免許は、以下の教養科目（教育職員免許法施行規則第66条の6関係科目）と保健師免許を取得した者が個人で申請することによって取得できます。詳細は、各都道府県のHPをご確認ください。

「教育職員免許法施行規則第66条の6関係科目」

- (1) 「法学（日本国憲法を含む）」2単位
- (2) 「スポーツ実技Ⅰ」・「スポーツ実技Ⅱ」・「スポーツと人間」のうち2単位以上
- (3) 「英語Ⅰ」・「英語Ⅱ」2単位
- (4) 「コンピュータ科学入門」2単位

8. 看護師等養成所専任教員資格について

大学在学中に教育に関する所定の科目4単位以上を履修し、卒業後臨床経験3年を経た者は、看護教員養成講習修了者と同等の資格を得ることができます。

5. 看護学科

9. 3年次編入生の履修方法等について

- (1) 卒業単位数は、認定単位を含め、128単位とします。
履修科目については、編入学生が履修すべき科目を定めます。
原則として、1年次入学生の学生と同じ時間割により授業を実施しますが、必要に応じて別途時間割を設けるものとします。
- (2) 3年課程（定時制を含む）の看護系短期大学（部）又は看護専門学校を修了した者は、編入学前の学修にかかわらず83単位を既修得単位として認定します。2年課程（定時制及び通信制を含む）の看護系短期大学（部）、看護専門学校又は高等学校の専攻科を修了した者は、編入学前の学修にかかわらず77単位を既修得単位として認定します。
- (3) 編入学前の学修にかかわらず、以下の科目は履修しなければなりません。

<必修科目>

科目／領域		科目名	単位数	
共通科目	教養科目	リテラシー	英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ演習	1単位 1単位 1単位
		初年次科目	スタートアップセミナー	2単位
	IPE科目	ヒューマンケア論 IPW論 IPW演習 IPW実習	2単位 1単位 1単位 1単位	
専門科目	専門基盤科目	リハビリテーション医学概論 保健福祉統計	1単位 1単位	
	看護学専門科目	看護学原論 家族看護学 地域看護学Ⅰ（総論） 地域看護学Ⅱ（対象論） 看護倫理 グローバルヘルスと看護 看護管理 総合実習 看護研究 卒業研究	2単位 1単位 1単位 1単位 1単位 2単位 1単位 3単位 1単位 2単位	
必修単位合計			27単位	

<選択科目>

- (ア) 3年課程の看護系短期大学（部）又は看護専門学校を修了した者

科目／領域		科目名	単位数	
共通科目	教養科目	主幹階層	いずれかの選択科目 ただし、発展階層2領域から各1単位 計2単位以上選択（教養ゼミナールは発展階層のどちらの領域にも適用可とする。）	10単位
		発展階層		
専門科目	看護学専門科目	いずれかの選択科目	8単位	
選択単位合計			18単位	

※ 卒業に必要な単位(128単位)＝認定する既修得単位(83単位)＋履修すべき単位(45単位)

5. 看護学科

(イ) 2年課程の看護系短期大学(部)、看護専門学校又は高等学校の専攻科を修了した者

科目／領域		科目名	単位数
共通科目	教養科目	主幹階層	いずれかの選択科目 ただし、発展階層2領域から各 1単位 計2単位以上選択(教 養ゼミナールは発展階層のどち らの領域にも適用可とする。)
		発展階層	
専門科目	看護学専門科目	いずれかの選択科目	8単位
選択単位合計			24単位

※ 卒業に必要な単位(128単位)＝認定する既修得単位(77単位)＋履修すべき単位(51単位)

○上記以外の保健師助産師看護師学校養成所指定規則別表第1に定められた科目は既修得単位83単位、又は77単位に含まれるものとします。

○養護教諭二種免許取得を希望する場合は、7. 養護教諭関連科目の履修について(19ページ)を参照してください。

5. 看護学科

(4) 保健師国家試験受験資格を得るためには、既修得認定単位数（83単位又は77単位）に加え、以下の科目を履修しなければなりません。

	科目／領域		科目名	単位数		
				3年課程 修了者	2年課程 修了者	
必修科目	共通科目	教養科目	リテラシー	英語Ⅰ	1	
				英語Ⅱ	1	
				コンピュータ演習	1	
		初年次科目		スタートアップセミナー	2	
		I P E 科目		ヒューマンケア論	2	
			IPW論	1		
			IPW演習	1		
			IPW実習	1		
	専門科目	専門基盤科目		リハビリテーション医学概論	1	
				保健福祉統計	1	
疫学				1		
看護学専門科目				看護学原論	2	
				家族看護学	1	
				地域看護学Ⅰ（総論）	1	
				地域看護学Ⅱ（対象論）	1	
				看護倫理	1	
				グローバルヘルスと看護	2	
				看護管理	1	
	総合実習			3		
	看護研究			1		
	卒業研究			2		
公衆衛生看護系履修者限定科目			公衆衛生看護展開論Ⅰ（母子保健）	1		
			公衆衛生看護展開論Ⅱ（精神保健）	1		
			公衆衛生看護展開論Ⅲ（成人・高齢者保健）	1		
			公衆衛生看護展開論Ⅳ（感染症保健）	1		
			公衆衛生看護展開論Ⅴ（学校・産業保健）	1		
			公衆衛生看護学	2		
			地区診断論	2		
保健医療福祉行政論	1					
公衆衛生看護技術Ⅰ（個人/家族への支援）	1					
公衆衛生看護技術Ⅱ（集団/組織への支援）	1					
公衆衛生看護技術Ⅲ（事業評価）	1					
公衆衛生看護管理論	1					
公衆衛生看護学実習	3					
選択科目	共通科目	教養科目	主幹階層	いずれかの選択科目	10	16
			発展階層	ただし、発展階層2領域から各1単位 計2単位以上選択		
	専門科目	看護学専門科目		いずれかの選択科目	3	
編入学生が履修すべき単位数 合計				58	64	

(ア) 3年課程の短期大学（部）又は看護専門学校を修了した者

認定する既修得単位数 83単位 履修すべき単位数 58単位

(イ) 2年課程の短期大学（部）、看護専門学校又は高等学校の専攻科を修了した者

認定する既修得単位数 77単位 履修すべき単位数 64単位

5. 看護学科

(5) 助産師国家試験受験資格を得るためには、既修得認定単位数（83単位又は77単位）に加え、以下の科目を履修しなければなりません。

	科目／領域		科目名	単位数		
				3年 課程 修了者	2年 課程 修了者	
必修 科目	共通科目	教養 科目	リテラシ ー	英語Ⅰ	1	
				英語Ⅱ	1	
				コンピュータ演習	1	
		初年次科目		スタートアップセミナー	2	
		I P E 科目		ヒューマンケア論	2	
			IPW論	1		
			IPW演習	1		
			IPW実習	1		
	専門科目	専門基盤科目		リハビリテーション医学概論	1	
				保健福祉統計	1	
看護学専門科目			看護学原論	2		
			家族看護学	1		
			地域看護学Ⅰ（総論）	1		
			地域看護学Ⅱ（対象論）	1		
			看護倫理	1		
			グローバルヘルスと看護	2		
			看護管理	1		
			総合実習	3		
		看護研究	1			
		卒業研究	2			
助産系履修者限定 科目		公衆衛生看護展開論Ⅰ（母子保健）	1			
		リプロダクティブヘルスと看護	2			
		ハイリスク周産期	1			
		遺伝と看護	1			
		周産期のケア	2			
		分娩期のケア	3			
		助産業務管理	1			
		助産学実習Ⅰ	1			
		助産学実習Ⅱ	7			
選択 科目	共通科目	教養 科目	主幹階層	いずれかの選択科目	10	16
			発展階層	ただし、発展階層2領域から各1単位 計2単位以上選択		
	専門科目	看護学専門科目		いずれかの選択科目	3	
編入学生が履修すべき単位数 合計					59	65

(ア) 3年課程の短期大学（部）又は看護専門学校を修了した者
認定する既修得単位数 83単位 履修すべき単位数 59単位

(イ) 2年課程の短期大学（部）、看護専門学校又は高等学校の専攻科を修了した者
認定する既修得単位数 77単位 履修すべき単位数 65単位

看護学科カリキュラム

区分			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
共通科目	教養科目	リテラシー	必修 英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ演習	英語Ⅲ 英語Ⅳ			
		主幹階層	人文社会科学	選択 哲学 倫理学 宗教学 文学A 文学B 歴史学A 歴史学B 文化人類学 民俗学 法学(日本国憲法を含む) 政治学 経済学 社会学 教育学 心理学			
			自然科学	選択 コンピュータ科学入門 基本統計学 科学史 数理学 物質の科学 物理学 化学 生物学 自然科学実験 物理学実験 化学実験 生物学実験			
			言語・表現・運動	選択 英語演習A 英語演習B 英語演習C 英語演習D 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 手話 日本語表現法 人間関係とコミュニケーション 海外英語研修 芸術活動A 芸術活動B 社会参加活動 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツと人間			
		発展階層	総合力養成	選択 地球環境論 埼玉研究	総合文化研究A 総合文化研究B 総合文化研究C 国際関係研究 国際協力研究		
	人間性涵養※		選択 比較文化研究 生命の意味 生命倫理の諸問題 人間関係論 人間の探求	教養ゼミナール			
	初年次科目	必修	スタートアップセミナー				
	IPE科目	必修	ヒューマンケア論 ヒューマンケア体験実習	IPW論	IPW演習	IPW実習	
	専門科目	専門基礎科目	必修	解剖学 生理学 生化学概論 病理学 栄養学・食生活論 リハビリテーション医学概論	看護薬理学 内科学 外科学 小児科学 精神医学 社会保障概論 衛生学・公衆衛生学 保健福祉統計		
			選択	人間発達学 心の健康 家庭支援論 臨床心理学 カウンセリング技法	疫学 認知行動科学		
看護専門基礎科目		必修	感染と防御	性と生殖			
看護学専門科目		必修	看護学原論 看護過程論 看護方法Ⅰ(看護の基本技術) 成人看護学Ⅰ(総論) 老年看護学Ⅰ(総論) 小児看護学Ⅰ(総論) 母性看護学Ⅰ(総論) 地域看護学Ⅰ(総論) 基礎看護学実習Ⅰ	看護方法Ⅱ(日常生活援助技術A) 看護方法Ⅲ(日常生活援助技術B) 看護方法Ⅳ(診断治療の援助技術) 看護方法Ⅴ(実践的看護展開) 成人看護学Ⅱ(方法論) 成人看護学Ⅲ(周術期看護) 成人看護学Ⅳ(クリティカルケア) 成人看護学Ⅴ(慢性看護) 小児看護学Ⅱ(対象論) 小児看護学Ⅲ(看護過程) 母性看護学Ⅱ(方法論) 精神看護学Ⅰ(総論) 家族看護学 地域看護学Ⅱ(対象論) 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ	看護倫理 老年看護学Ⅱ(援助技術) 老年看護学Ⅲ(看護過程) 老年看護学Ⅳ(地域とケアシステム) 小児看護学Ⅳ(援助技術) 精神看護学Ⅱ(方法論) 地域看護学Ⅲ(方法論) 看護研究 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅱ 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習 地域看護学実習	グローバルヘルスと看護 看護管理 卒業研究 総合実習	
		選択	公衆衛生看護展開論Ⅰ(母子保健) 公衆衛生看護展開論Ⅱ(精神保健) 公衆衛生看護展開論Ⅲ(成人・高齢者保健) 学校保健	感染管理 リハビリテーション看護 リプロダクティブヘルスと看護 公衆衛生看護展開論Ⅳ(感染症保健) 公衆衛生看護展開論Ⅴ(学校・産業保健)	ハイリスク周産期 がん看護 子どもと家族のヘルスプロモーション メンタルヘルス論 認知症看護 遺伝と看護 臨床実践看護 看護教育学		
公衆衛生看護系履修者限定*		選択			公衆衛生看護学 地区診断論 保健医療福祉行政論	公衆衛生看護技術Ⅰ(個人/家族への支援) 公衆衛生看護技術Ⅱ(集団/組織への支援) 公衆衛生看護技術Ⅲ(事業評価) 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習	
助産系履修者限定*		選択			周産期のケア	分娩期のケア 助産業務管理 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ	
学校看護系履修者限定*		選択		養護概説	学校臨床相談の実際 養護実習Ⅰ	養護実習Ⅱ 教職実践演習(養護教諭)	
教職関連科目		選択	教育原理及び教育制度 教師論 教育心理学 教育課程論 教育方法論 生徒指導論	特別支援教育 道徳・総合的な学習の時間及び特別活動 教育相談 学校ボランティア演習Ⅰ	学校ボランティア演習Ⅱ 教職総合演習 保健室経営の理論及び方法		

*履修人数に制限あり

ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。履修登録等の際にカリキュラムマップと合わせて参照してください。

ナンバリングコードの読み方



ナンバリングコード表

大分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(看護)
大分類	B_LBA	B_FYE	B_IPE	B_NRS

レベルコード

レベルコード	
1	1年次より履修可能な科目
2	2年次より履修可能な科目
3	3年次より履修可能な科目
4	4年次より履修可能な科目

中分類・小分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(看護)	
中分類	0	-	-	専門基盤科目	
	1	リテラシー	全科目	講義	看護専門基礎科目
	2	人文社会科学	-	演習	看護学専門科目
	3	自然科学	-	実習	-
	4	言語・表現・運動	-	-	-
	5	総合力養成	-	-	-
	6	人間性涵養	-	-	-
	7	教養ゼミナール	-	-	-
	8	-	-	-	-
	9	-	-	-	その他
	限定科目	A	-	-	公衆衛生看護系限定科目
		B	-	-	助産系限定科目
		C	-	-	学校看護系限定科目
		D	-	-	-
		E	-	-	-
F		-	-	-	
小分類	0	言語・文学	分類無しのためすべて「0」	分類無しのためすべて「0」	-
	1	哲学・倫理学・宗教学・歴史学・文化人類学・民俗学			講義・演習
	2	政治・経済・法学・社会学			実習
	3	心理学・教育学			-
	4	物理学			-
	5	化学			-
	6	生物学			-
	7	情報科学			-
	8	複合・学際・国際関係			-
	9	スポーツ・芸術・社会活動			-

言語コード

言語コード	
0	日本語
1	英語
2	日本語および英語
3	日本語および英語以外の外国語
4	-
5	-
6	-
7	-
8	-
9	その他言語

看護学科 開設科目と配当年次

DPの達成に、密接に関連している (◎)、関連している (○)

※印は複数年次開講

科目／領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
リテラシー	B_LBA1102	英語 I					○	◎	30	1		1					
	B_LBA1102	英語 II					○	◎	30	1		1					
	B_LBA2102	英語 III					○	◎	30	1			1				
	B_LBA2102	英語 IV					○	◎	30	1			1				
	B_LBA1170	コンピュータ演習	○			◎	○		30	1		1					
人文社会科学	B_LBA1210	哲学			◎	○			30		2	2	※	※	※	主幹階層の3領域 （「人文社会科学」、 「自然科学」、 「言語・表現・運動」）から各 2単位以上選択 計6単位以上選択 ※授業科目の名称の 末尾に「*」が付記 されているの科目の 講義内容については、シラバス及び時 間割を確認すること。	
	B_LBA1210	倫理学		◎	○				30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	宗教学		◎	○			○	30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1200	文学A*		◎	○				30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1200	文学B*		◎	○				30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	歴史学A*		○	◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	歴史学B*		○	◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	文化人類学		○	○			◎	30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	民俗学		○	◎				○	30		2	2	※	※		※
	B_LBA1220	法学（日本国憲法を含む）		○	○	◎				30		2	2	※	※		※
	B_LBA1220	政治学		○	○	◎				30		2	2	※	※		※
	B_LBA1220	経済学		○	○	◎				30		2	2	※	※		※
	B_LBA1220	社会学		○	○	◎				30		2	2	※	※		※
	B_LBA1230	教育学		○	○	◎				30		2	2	※	※		※
B_LBA1230	心理学		◎	○	○				30		2	2	※	※	※		
自然科学	B_LBA1370	コンピュータ科学入門			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1370	基本統計学			○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	科学史			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	数理科学			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	物質の科学			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1340	物理学			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1350	化学			○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1360	生物学			◎				30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	自然科学実験			◎	○			30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1340	物理学実験			◎	○			45		1	1	※	※	※		
B_LBA1350	化学実験			○	◎			45		1	1	※	※	※			
B_LBA1360	生物学実験			◎				45		1	1	※	※	※			
言語・表現・運動	B_LBA1402	英語演習A					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1402	英語演習B					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1402	英語演習C					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1402	英語演習D					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	中国語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	中国語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	コリア語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	コリア語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	フランス語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	フランス語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	スペイン語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	スペイン語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1400	手話						◎		30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1400	日本語表現法			○			◎		30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1430	人間関係とコミュニケーション	○		○			◎		30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1402	海外英語研修						◎		30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1490	芸術活動A*					○	◎		30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1490	芸術活動B*					◎	○		30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1490	社会参加活動	○					◎	○	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1490	スポーツ実技 I						◎	○	30		1	1	※	※	※	
B_LBA1490	スポーツ実技 II						◎	○	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490	スポーツと人間						◎	○	30		2	2	※	※	※		
総合力養成	B_LBA2580	総合文化研究A*		○			◎	○	15		1		1	※	※	発展階層の2領域 （「総合力養成」、 「人間性涵養」）から 各1単位以上選択 計4単位以上選択 ※ただし教養ゼミナール はどちらの領域にも 適用可とする。 ※授業科目の名称の末 尾に「*」が付記され ているの科目の講義内 容については、シラバ ス及び時間割を確認す ること。	
	B_LBA2580	総合文化研究B*		○			◎	○	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	総合文化研究C*		○			◎	○	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	国際関係研究		○			◎	○	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	国際協力研究						◎	○	15		1		1	※		
	B_LBA2580	地球環境論			○			◎	○	15		1		1	※		
	B_LBA2580	埼玉研究					◎	○	15		1		1	※			
	B_LBA2680	比較文化研究		◎				○	15		1		1	※			
	B_LBA2680	生命の意味			◎	○			15		1		1	※			
	B_LBA2680	生命倫理の諸問題		◎	○	○			15		1		1	※			
人間性涵養	B_LBA2680	人間関係論		◎	○				15		1		1	※			
	B_LBA2680	人間の探求			◎	○	○		15		1		1	※			
※	B_LBA2780	教養ゼミナール*			◎	○		○	30		2		2	※			
初年次科目	B_FYE1100	スタートアップセミナー	○				◎		30	2		2					
IPE科目	B_IPE1100	ヒューマンケア論	○	○			◎		30	2		2					
	B_IPE1300	ヒューマンケア体験実習	○	○			◎		45	1		1					
	B_IPE2100	I PW論	○	○			◎		15	1			1				
	B_IPE3200	I PW演習	○	○			◎		15	1				1			
	B_IPE4300	I PW実習	○	○			◎		45	1					1		

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門基礎科目	B_NRS1010	解剖学	○	◎				30	2		2				学校看護系必修	
	B_NRS1010	生理学	○	○	◎			30	2		2					
	B_NRS1010	生化学概論	○	◎		○		15	1		1					
	B_NRS1010	人間発達学		◎	○			30		2	2					
	B_NRS1010	心の健康		◎	○			30		2	2					
	B_NRS1010	病理学	○		○	◎	○	15	1		1					
	B_NRS1010	栄養学・食生活論	○		◎			30	1		1					
	B_NRS1010	リハビリテーション医学概論	○	○	○	◎	○	15	1		1					
	B_NRS1010	家庭支援論		○		◎		30		2	2					
	B_NRS1010	臨床心理学		◎	○	○	○	30		2	2					
	B_NRS1010	カウンセリング技法		◎			○	30		1	1					
	B_NRS2010	看護薬理学	○	○		◎		30	2			2				
	B_NRS2010	内科学	○		○	◎		30	2			2				
	B_NRS2010	外科学	○		◎	○		30	2			2				
	B_NRS2010	小児科学	○	◎		○		15	1			1				
	B_NRS2010	精神医学	○	◎		○		30	2			2				
	B_NRS2010	社会保障概論	○		○	◎		30	2			2				
	B_NRS2010	衛生学・公衆衛生学	○		○	◎		30	2			2				
	B_NRS2010	保健福祉統計	○		◎	○		15	1			1				
	B_NRS2010	疫学			◎	○		15		1		1				
B_NRS2010	認知行動科学		◎		○		15		1		1					
看護専門基礎科目	B_NRS1110	感染と防御	○		◎	○		15	1		1					
	B_NRS2110	性と生殖	○		◎	○		15	1			1				
専門科目	B_NRS1210	看護学原論	○		◎		○	30	2		2					
	B_NRS1210	看護過程論	○		○	◎		30	1		1					
	B_NRS1210	看護方法Ⅰ(看護の基本技術)	○		○	◎		30	1		1					
	B_NRS2210	看護方法Ⅱ(日常生活援助技術A)	○		○	◎		30	1			1				
	B_NRS2210	看護方法Ⅲ(日常生活援助技術B)	○		○	◎		30	1			1				
	B_NRS2210	看護方法Ⅳ(診断治療の援助技術)	○		○	◎		30	1			1				
	B_NRS2210	看護方法Ⅴ(実践的看護展開)	○		○	◎		30	1			1				
	B_NRS3210	看護倫理	○	◎			○	15	1				1			
	B_NRS1210	成人看護学Ⅰ(総論)	○		○		◎	15	1		1					
	B_NRS2210	成人看護学Ⅱ(方法論)	○		◎	○		15	1			1				
	B_NRS2210	成人看護学Ⅲ(周術期看護)	○		○	◎		30	1			1				
	B_NRS2210	成人看護学Ⅳ(クリティカルケア)	○			◎	○	30	1			1				
	B_NRS2210	成人看護学Ⅴ(慢性看護)	○			◎	○	60	2			2				
	B_NRS1210	老年看護学Ⅰ(総論)	○	◎			○	15	1		1					
	B_NRS3210	老年看護学Ⅱ(援助技術)	○		◎	○		30	1				1			
	B_NRS3210	老年看護学Ⅲ(看護過程)	○		◎	○		30	1				1			
	B_NRS3210	老年看護学Ⅳ(地域とケアシステム)	○				◎	○	15	1				1		
	B_NRS1210	小児看護学Ⅰ(総論)	○	○		◎		15	1		1					
	B_NRS2210	小児看護学Ⅱ(対象論)	○		○	◎		15	1			1				
	B_NRS2210	小児看護学Ⅲ(看護過程)	○	○	◎			30	1			1				
	B_NRS3210	小児看護学Ⅳ(援助技術)	○		○	◎		30	1				1			
	B_NRS1210	母性看護学Ⅰ(総論)	○	◎	○			15	1		1					
	B_NRS2210	母性看護学Ⅱ(方法論)	○		○	◎		60	2			2				
	B_NRS2210	精神看護学Ⅰ(総論)	○	◎	○			30	2			2				
	B_NRS3210	精神看護学Ⅱ(方法論)	○	○	◎			30	2				2			
	B_NRS2210	家族看護学	○	◎			○	15	1			1				
	B_NRS1210	地域看護学Ⅰ(総論)	○	◎	○			15	1		1					
	B_NRS2210	地域看護学Ⅱ(対象論)	○		◎	○		15	1			1				
	B_NRS3210	地域看護学Ⅲ(方法論)	○			◎	○	30	2				2			
	B_NRS4210	グローバルヘルスと看護	○			○	◎	30	2					2		
	B_NRS4210	看護管理	○			○	◎	15	1					1		
	B_NRS3210	看護研究	○		◎		○	30	1				1			
	B_NRS4210	卒業研究	○	○	◎		○	-	2					2		
	B_NRS3210	感染管理				○	◎	15		1			1			
	B_NRS3210	リハビリテーション看護				◎	○	15		1			1			
	B_NRS3210	リプロダクティブヘルスと看護		○			◎	30		2			2			
	B_NRS4210	ハイリスク周産期		○		◎	○	15		1				1		
	B_NRS4210	がん看護		○		◎		15		1				1		
	B_NRS4210	子どもと家族のヘルスプロモーション					○	◎	15		1			1		
	B_NRS4210	メンタルヘルス論		○			◎	15		1				1		
B_NRS4210	認知症看護		◎		○		15		1				1			
B_NRS4210	遺伝と看護	○	◎			○	15		1				1			
B_NRS4210	臨床実践看護			○	◎		30		2				2			
B_NRS4210	看護教育学			◎	○		15		1				1			
B_NRS2210	公衆衛生看護展開論Ⅰ(母子保健)				○	◎	15		1		1					
B_NRS2210	公衆衛生看護展開論Ⅱ(精神保健)				○	◎	15		1		1					
B_NRS2210	公衆衛生看護展開論Ⅲ(成人・高齢者保健)				◎	○	15		1		1					
B_NRS3210	公衆衛生看護展開論Ⅳ(感染症保健)				○	◎	○	15		1		1				
B_NRS3210	公衆衛生看護展開論Ⅴ(学校・産業保健)				○	○	◎	15		1		1				

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
専門科目	看護学専門科目	B_NRS2210	学校保健			◎	○			30		2		2			学校看護系必修
		B_NRS1220	基礎看護学実習 I	○			◎	○		45	1		1				
		B_NRS2220	基礎看護学実習 II	○		○	◎			90	2			2			
		B_NRS3220	成人看護学実習 I	○			◎	○		90	2				2		
		B_NRS3220	成人看護学実習 II	○			◎	○		90	2				2		
		B_NRS2220	老年看護学実習 I	○			◎		○	45	1			1			
		B_NRS3220	老年看護学実習 II	○			◎	○		90	2				2		
		B_NRS3220	小児看護学実習	○	○		◎			90	2				2		
		B_NRS3220	母性看護学実習	○	○		◎		○	90	2				2		
		B_NRS3220	精神看護学実習	○	○		◎			90	2				2		
	B_NRS3220	地域看護学実習	○			◎	○		90	2				2			
	B_NRS4220	総合実習	○			◎	○	○	135	3						3	
	公衆衛生 履修者限定 看護系	B_NRS3A10	公衆衛生看護学	○			◎	○	○	30		2				2	
		B_NRS3A10	地区診断論	○		○	◎	○		30		2				2	
		B_NRS3A10	保健医療福祉行政論	○			◎	○	○	15		1				1	
		B_NRS4A10	公衆衛生看護技術 I (個人/家族への支援)	○			◎	○		15		1					1
		B_NRS4A10	公衆衛生看護技術 II (集団/組織への支援)	○			◎	○		15		1					1
		B_NRS4A10	公衆衛生看護技術 III (事業評価)	○			◎	○		15		1					1
		B_NRS4A10	公衆衛生看護管理論	○		○	◎	○	○	15		1					1
	B_NRS4A20	公衆衛生看護学実習	○			◎	○		135		3					3	
	履修者 限定 産系	B_NRS3B10	産期のケア	○			◎	○	○	60		2				2	
		B_NRS4B10	分娩期のケア	○		○	◎			90		3					3
		B_NRS4B10	助産業務管理	○			◎	○	○	15		1					1
		B_NRS4B20	助産学実習 I	○			○	○	◎	45		1					1
		B_NRS4B20	助産学実習 II	○		○	◎	○		315		7					7
	履修者 限定 学系	B_NRS2C10	養護概説	○	◎		○			30		2		2			
		B_NRS3C10	学校臨床相談の実際	○			○	◎		15		1				1	
		B_NRS3C20	養護実習 I	○	○		◎			30		1				1	
		B_NRS4C20	養護実習 II	○	○		◎			120		4					4
		B_NRS4C10	教職実践演習 (養護教諭)	○	○		◎			30		2					2
	卒業要件 (単位数)	区分								必修	選択	計					
		共通科目	教養科目							5	20以上	25以上					
			初年次科目							2	-	2					
			IPE科目							6	-	6					
		専門科目	専門基礎科目							22	1以上	23以上					
			看護専門基礎科目							2	-	2					
	看護学専門科目							62	8以上	70以上							
	計								99	29以上	128以上						

*履修者限定科目は、各履修モデルを選考する者における主要授業科目とする。

6. 理学療法学科

1. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学保健医療福祉学部理学療法学科は、人々の健康と生活を統合的に支え共生社会に貢献できる人材（社会参加者、市民、理学療法士国家資格者、研究者）を育成するために、所定の課程を修め、単位取得等の条件を満たしたうえで、次のような目標を達成した者に学位を授与します。

1. 理学療法士国家資格に準拠する専門的知識と技術を有していること。
2. 理学療法士としての志向性を忘れず、対象者主体の理念に基づく、自己評価とリフレクション、そして自己啓発（生涯学習）に努めることができること。
3. 理学療法とそれに関連する領域の知識を統合・解釈して、対象者の生活を重視した最適な治療計画を策定する能力を備えていること。
4. 臨床において多様な課題を発見・抽出・分析し解決できる高い問題解決能力と関連専門職種との連携・協働力を備えていること。
5. 保健医療福祉分野および理学療法の専門的領域における研究の意義を理解し、倫理観と批判的思考および科学的論理性を持って、課題解決に向けた研究等に取り組めること。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学科では、本学の学位授与方針に基づいた学科学位授与方針にて掲げる目標を達成するために必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目を学修の段階や順序等を表す番号（ナンバリング）にて標示し、教育課程の構造を体系図（カリキュラム・マップ）としてわかりやすく明示します。

1：科目編成の指針

- 1) 理学療法の基盤となる人体構造、精神・心理、疾患・障害について円滑に理解できるよう1・2・3年次に順次性を持って「専門基盤科目」を配置します。
- 2) 理学療法士への高い志向性と動機付け、社会貢献意欲を持って学修できるよう「理学療法専門科目」の基礎的科目を初年次に配置します。
- 3) 理学療法士国家資格に準拠した理学療法の専門を効率的に学修できるよう理学療法専門科目を「理学療法基礎科目」・「理学療法評価学科目」・「理学療法治療学科目」・「地域理学療法学科目」・「理学療法総合科目」・「臨床教育実習科目」に分類して、年次進行に合わせて段階的に必修科目として配置します。
- 4) 理学療法のより専門領域に精通した知識・技術の修得および科学的論理性の修得を目的として「理学療法応用技術学科目」および「理学療法専門コース科目」を学生の主体的学習意欲に合わせて選択できる科目として配置します。

2：教育方法の指針

- 1) 理学療法士国家資格および卒後の理学療法実践能力の修得に向けて、専門的知識・技術を効率的に学修できるよう講義、演習、実習の授業形態を適切に組み合わせて設定します。
- 2) 論理的思考、批判的思考を持って他者と協働した課題解決能力を育成するために、小グループによる課題基盤型学習形態を提供します。
- 3) 理学療法技術を修得するために、理学療法の実技実践ができる臨床教育実習環境、および学生同士がお互いに実技実習できるグループ自習環境を提供します。
- 4) 学生が能動的、主体的に学習テーマや学習内容を選択して、より専門的知識を深化させることができるよう多くの選択科目を設定します。
- 5) 卒業研究等によって自らの学習成果を表現できる機会を提供するとともに、学生自身が決めた目標に向かって学習ができているか振り返りを行います。

6. 理学療法学科

3：教育評価の指針

- 1) 科目の到達目標の達成度は、各科目の授業特性に合わせて、試験（筆記、口頭試問、実技）、レポート、授業への取組状況等によって評価します。
- 2) 各年次の学修状況について、定期的な面談を行うことで学修を支援します。
- 3) 理学療法実践に関する学修成果は臨床教育実習によって、研究実践に関する学修成果は卒業研究によって、医療人としての学修成果はIPW実習によってそれぞれ4年間の学修成果を総合的に評価します。

3. 卒業単位

理学療法学科における卒業に必要な修得単位は128単位であり、内容は以下のとおりです。

区分		必修	選択	計
共通科目	教養科目	5	20以上	25以上
	初年次科目	2	—	2
	IPE科目	6	—	6
専門科目	専門基盤科目	26	3以上	29以上
	理学療法学専門科目	61	5以上	66以上
計		100	28以上	128以上

以上の単位を修得し卒業見込みまたは卒業すると、理学療法士の国家試験受験資格が得られます。

なお、理学療法学科の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は33ページ～35ページの一覧表のとおりです。

4. 先修条件

1. 教養科目について

自然科学実験を除く実験科目（物理学実験、化学実験、生物学実験）の履修は、関連する科目（物理学、化学、生物学）の単位を修得済み、または修得見込みであること。ただし、令和6年度以降の入学生については、上記実験科目の科目責任者が履修を認める場合は、先修条件が免除される。

なお、単位修得見込みとは、単位修得のための受験資格を得ていることをいう。（以下の先修条件でも同じ）

2. 専門基盤科目について

- 1) 解剖学実習を履修するには、解剖学及び解剖学特論の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。
- 2) 生理学実習を履修するには、生理学及び生理学特論の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。

3. 理学療法学専門科目について

- 1) 臨床教育実習Ⅱを履修するためには、理学療法セミナーⅠ(OSCE1)の単位を修得済み、または修得見込みであること。
- 2) 臨床教育実習Ⅲ及びⅣを履修するためには、専門基盤科目及び理学療法学専門科目のうち、3年次までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。

5. 理学療法士作業療法士養成施設専任教員資格について

大学在学中に教育学に関する科目を4単位以上修め、卒業後5年以上の臨床経験を経たものは、理学療法士作業療法士養成施設専任教員講習会修了者と同等の資格を得ることができます。なお、教育学に関する科目とは、教育学、人間発達学、教育心理学*を示します。

*教育心理学は教職関連科目のため、卒業認定単位には含まれません。

理学療法学科カリキュラム

区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
共通科目	リテラシー	必修 英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ演習	英語Ⅲ 英語Ⅳ			
	主幹階層	人文社会科学	選択 哲学 倫理学 宗教学 文学A 文学B 歴史学A 歴史学B 文化人類学 民俗学 法学(日本国憲法を含む) 政治学 経済学 社会学 教育学 心理学			
		自然科学	選択 コンピュータ科学入門 基本統計学 科学史 数理学 物質の科学 物理学 化学 生物学 自然科学実験 物理学実験 化学実験 生物学実験			
		言語・表現・運動	選択 英語演習A 英語演習B 英語演習C 英語演習D 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 手話 日本語表現法 人間関係とコミュニケーション 海外英語研修 芸術活動A 芸術活動B 社会参加活動 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツと人間			
	発展階層	総合力養成	選択	総合文化研究A 総合文化研究B 総合文化研究C 国際関係研究 国際協力研究 地球環境論 埼玉研究		
		人間性涵養※	選択	比較文化研究 生命の意味 生命倫理の諸問題 人間関係論 人間の探求 教養ゼミナール		
	初年次科目	必修	スタートアップセミナー			
	IPE科目	必修	ヒューマンケア論 ヒューマンケア体験実習	IPW論	IPW演習	IPW実習
	専門科目	専門基礎科目	必修	解剖学 解剖学特論 解剖学実習 生理学 生理学特論 臨床心理学 病理学 救命救急法とファーストエイド 栄養学概論 人間発達学	生理学実習 リハビリテーション医学 内科学 整形外科 脳神経内科学	臨床薬学 精神医学概論 臨床画像診断演習A
			選択	生化学概論 カウンセリング技法 家庭支援論 心の健康	小児科学 老年医学 内科学臨床講義 衛生学・公衆衛生学 保健福祉統計 疫学 外科学 認知行動科学 社会保障概論	
専門導入科目		必修	理学療法概論 運動学入門 理学療法人間関係論			
理学療法基礎科目		必修	身体構造運動学	身体機能運動学 運動学実習 理学療法学研究法演習		
理学療法評価学科目		必修	理学療法評価学	理学療法評価学実習 神経診断学実習	機能診断学実習 臨床運動学演習	
理学療法治療学科目		必修	基礎運動療法学演習	物理療法学 義肢装具学 運動器障害理学療法学 運動器障害理学療法学実習 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学実習 内部障害理学療法学 内部障害理学療法学実習 日常生活活動分析学 日常生活活動指導実習	応用運動療法学実習 物理療法学実習 義肢装具学実習 発達障害理学療法学 発達障害理学療法学実習 臨床推論実習	
地域理学療法学科目		必修		生活環境学	地域理学療法学 地域理学療法実習	
理学療法技術学科目		応用地域理学療法技術学	選択		理学療法応用技術学A(予防・老年) 理学療法応用技術学B(予防・産業) 理学療法応用技術学C(生活環境支援)	
		応用治療理学療法技術学	選択		理学療法応用技術学D(小児) 理学療法応用技術学E(スポーツ) 理学療法応用技術学F(特殊アスリート) 理学療法応用技術学G(神経筋特殊疾患) 理学療法応用技術学H(内部新領域)	
理学療法専門コース科目		基礎理学療法学コース	選択		神経運動器機能学 記録データ解析 理学療法応用解析学 理学療法基礎解析学	
	臨床理学療法学コース	選択		臨床バイオメカニクス 徒手理学療法学 運動制御と運動学習 神経疾患理学療法効果検証学 循環系理学療法の臨床実践 呼吸理学療法学 理学療法診断学		
	地域・生活支援理学療法学コース	選択		老年期障害理学療法技術学 生活環境支援理学療法学 健康増進障害予防支援学 ウイメンズヘルス理学療法学 義肢装具適合支援学		
理学療法総合科目	必修		理学療法セミナーⅠ(OSCE1) 理学療法セミナーⅡ(OSCE2) 理学療法管理学	理学療法特別演習 卒業研究		
臨床教育実習科目	必修		臨床教育実習Ⅰ(検査測定)	臨床教育実習Ⅱ(評価)	臨床教育実習Ⅲ(総合) 臨床教育実習Ⅳ(地域)	

ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。履修登録等の際にカリキュラムマップと合わせて参照してください。

ナンバリングコードの読み方



ナンバリングコード表

大分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(理学)
大分類	B_LBA	B_FYE	B_IPE	B_PHT

レベルコード

レベルコード	
1	1年次より履修可能な科目
2	2年次より履修可能な科目
3	3年次より履修可能な科目
4	4年次より履修可能な科目

中分類・小分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(理学)	
中分類	0	-	-	専門基盤科目	
	1	リテラシー	全科目	講義	理学療法導入・基礎科目
	2	人文社会科学	-	演習	理学療法評価学科目
	3	自然科学	-	実習	理学療法治療学科目
	4	言語・表現・運動	-	-	地域理学療法学科目
	5	総合力養成	-	-	理学療法応用技術学科目
	6	人間性涵養	-	-	理学療法専門コース科目
	7	教養ゼミナール	-	-	理学療法総合科目
	8	-	-	-	臨床教育実習科目
	9	-	-	-	-
	限定科目	A	-	-	-
		B	-	-	-
		C	-	-	-
		D	-	-	-
		E	-	-	-
		F	-	-	-
小分類	0	言語・文学	分類無しのためすべて「0」	分類無しのためすべて「0」	-
	1	哲学・倫理学・宗教学・歴史学・文化人類学・民俗学			基礎
	2	政治・経済・法学・社会学			展開
	3	心理学・教育学			応用
	4	物理学			臨床
	5	化学			-
	6	生物学			-
	7	情報科学			-
	8	複合・学際・国際関係			-
	9	スポーツ・芸術・社会活動			-

言語コード

言語コード	
0	日本語
1	英語
2	日本語および英語
3	日本語および英語以外の外国語
4	-
5	-
6	-
7	-
8	-
9	その他言語

理学療法学科 開設科目と配当年次

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
リテラシー	B_LBA1102	英語 I				○	◎	30	1		1					
	B_LBA1102	英語 II					○	◎	30	1		1				
	B_LBA2102	英語 III						◎	30	1			1			
	B_LBA2102	英語 IV						◎	30	1			1			
	B_LBA1170	コンピュータ演習	○			◎	○	30	1		1					
人文社会科学	B_LBA1210	哲学			◎	○		30		2	2	※	※	※	主幹階層の3領域 （「人文社会科学」、 「自然科学」、 「言語・表現・運動」）から各 2単位以上選択 計6単位以上選択 ※授業科目の名称の 末尾に「*」が付記 されているの科目の 講義内容については、シラバス及び時 間割を確認すること。	
	B_LBA1210	倫理学		◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	宗教学		◎	○		○	30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1200	文学A*		◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1200	文学B*		◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	歴史学A*		○	◎	○		30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	歴史学B*		○	◎	○		30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	文化人類学		○	○			◎	30		2	2	※	※		※
	B_LBA1210	民俗学		○	◎			○	30		2	2	※	※		※
	B_LBA1220	法学（日本国憲法を含む）		○	○	◎			30		2	2	※	※		※
	B_LBA1220	政治学		○	○	◎			30		2	2	※	※		※
	B_LBA1220	経済学		○	○	◎			30		2	2	※	※		※
	B_LBA1220	社会学		○	○	◎			30		2	2	※	※		※
	B_LBA1230	教育学		○	○	◎			30		2	2	※	※		※
	B_LBA1230	心理学		◎	○	○			30		2	2	※	※		※
自然科学	B_LBA1370	コンピュータ科学入門			◎	○		30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1370	基本統計学			◎	◎		30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	科学史			◎	○		30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	数理学			◎	○		30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	物質の科学			◎	○		30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1340	物理学			◎	○		30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1350	化学			○	◎		30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1360	生物学			◎	○		30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	自然科学実験			◎	○		30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1340	物理学実験			◎	○		45		1	1	※	※	※		
	B_LBA1350	化学実験			○	◎		45		1	1	※	※	※		
	B_LBA1360	生物学実験			◎			45		1	1	※	※	※		
	言語・表現・運動	B_LBA1402	英語演習A					○	◎	30	1	1	※	※	※	
		B_LBA1402	英語演習B					○	◎	30	1	1	※	※	※	
		B_LBA1402	英語演習C					○	◎	30	1	1	※	※	※	
B_LBA1402		英語演習D					○	◎	30	1	1	※	※	※		
B_LBA1403		中国語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1403		中国語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1403		コリア語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1403		コリア語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1403		フランス語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1403		フランス語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1403		スペイン語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1403		スペイン語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1400		手話				◎			30		1	1	※	※	※	
B_LBA1400		日本語表現法			○		◎		30		2	2	※	※	※	
B_LBA1430		人間関係とコミュニケーション	○		○		◎		30		2	2	※	※	※	
B_LBA1402	海外英語研修			○		◎		30		2	2	※	※	※		
B_LBA1490	芸術活動A*				○	◎		30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490	芸術活動B*				◎	○		30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490	社会参加活動		○			◎	○	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490	スポーツ実技 I					◎	○	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490	スポーツ実技 II					◎	○	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490	スポーツと人間					◎	○	30		2	2	※	※	※		
総合力養成	B_LBA2580	総合文化研究A*		○		◎		○	15		1		1	※	発展階層の2領域 （「総合力養成」、 「人間性涵養」）から 各1単位以上選択 計4単位以上選択 ※ただし教養ゼミ ナールはどちらの領 域にも適用可とする。	
	B_LBA2580	総合文化研究B*		○		○		◎	15		1		1	※		
	B_LBA2580	総合文化研究C*		○		○		◎	15		1		1	※		
	B_LBA2580	国際関係研究		○		○		◎	15		1		1	※		
	B_LBA2580	国際協力研究					○	◎	15		1		1	※		
	B_LBA2580	地球環境論			○	○		◎	15		1		1	※		
	B_LBA2580	埼玉研究				◎		○	15		1		1	※		
	B_LBA2680	比較文化研究			◎			○	15		1		1	※		
	B_LBA2680	生命の意味			◎	○			15		1		1	※		
	B_LBA2680	生命倫理の諸問題		◎	○	○			15		1		1	※		
人間性涵養	B_LBA2680	人間関係論		◎	○				15		1		1	※		
	B_LBA2680	人間の探求			◎	○	○		15		1		1	※		
	※ B_LBA2780	教養ゼミナール*			◎	○		○	30		2		2	※		

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要授業科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考		
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	初年次科目	B_FYE1100	スタートアップセミナー	○				◎		30	2		2					
	I P E 科目	B_IPE1100	ヒューマンケア論	○	○			◎		30	2		2					
		B_IPE1300	ヒューマンケア体験実習	○	○			◎		45	1		1					
		B_IPE2100	I P W論	○	○		○	◎		15	1			1				
		B_IPE3200	I P W演習	○	○		○	◎		15	1				1			
B_IPE4300	I P W実習	○	○		○	◎		45	1						1			
専門基盤科目	B_PHT1010	解剖学	○	◎					30	2		2						
	B_PHT1020	解剖学特論	○	◎					30	1		1						
	B_PHT1020	解剖学実習	○	◎					45	1		1						
	B_PHT1010	生理学	○	○	◎				30	2		2						
	B_PHT1020	生理学特論	○	○		◎			30	1		1						
	B_PHT2020	生理学実習	○		○	◎			45	1			1					
	B_PHT1010	臨床心理学		◎	○	○	○		30	2		2						
	B_PHT3010	臨床薬学	○	○		◎			15	1					1			
	B_PHT2010	リハビリテーション医学	○	○	○	◎		○	30	2			2					
	B_PHT1010	病理学	○		○	◎	○		15	1		1						
	B_PHT2010	内科学	○		○	◎			30	2			2					
	B_PHT2010	整形外科	○	○	○	◎		○	30	2			2					
	B_PHT3010	精神医学概論	○	◎		○			15	1					1			
	B_PHT2010	脳神経内科学	○		○	◎			30	2			2					
	B_PHT1010	救命救急法とファーストエイド	○	◎	○				15	1		1						
	B_PHT3020	臨床画像診断演習A	○		○	◎			15	1					1			
	B_PHT1010	栄養学概論	○		◎				15	1		1						
	B_PHT1010	人間発達学	○	◎	○				30	2		2						
	B_PHT2020	小児科学		◎		○			15	1			1				「小児科学」「老年医学」「内科学臨床講義」「衛生学・公衆衛生学」「保健福祉統計」「疫学」「外科学」から3単位以上選択	
	B_PHT2020	老年医学			○	◎			15	1			1					
	B_PHT2020	内科学臨床講義			○	◎			15	1			1					
	B_PHT2020	衛生学・公衆衛生学			○	◎			30	2			2					
	B_PHT2020	保健福祉統計			◎	○			15	1			1					
	B_PHT2020	疫学		◎	○				15	1			1					
	B_PHT2020	外科学			◎	○			30	2			2					
	B_PHT1020	生化学概論			◎		○		15	1	1						自由選択	
	B_PHT2020	認知行動科学		◎					15	1			1					
	B_PHT2020	社会保障概論			○	◎			30	2			2					
	B_PHT1020	カウンセリング技法			◎			○	30	1	1							
	B_PHT1020	家庭支援論			○		◎		30	2	2							
	B_PHT1020	心の健康			◎	○			30	2	2							
	専門科目	専門導入科目	B_PHT1110	理学療法学概論	○	◎	○			15	1		1					
			B_PHT1110	運動学入門	○	◎			○	30	1		1					
			B_PHT1110	理学療法人間関係論	○	◎	○			15	1		1					
		基礎学療科目	B_PHT1110	身体構造運動学	○	◎	○	○		30	2		2					
			B_PHT2110	身体機能運動学	○			◎	○	15	1			1				
			B_PHT2120	運動学実習	○			◎	○	45	1			1				
		B_PHT2120	理学療法学研究法演習	○	○	○		◎	30	1			1					
		評価学療科目	B_PHT1210	理学療法評価学	○	◎	○	○		30	2		2					
			B_PHT2220	理学療法評価学実習	○	◎	○	○		45	1			1				
			B_PHT2320	機能診断学実習	○			◎	○	45	1				1			
			B_PHT2230	神経診断学実習	○	◎	○	○		45	1			1				
B_PHT3230			臨床運動学演習	○	○			◎	30	1				1				
理学療法学		理学療法治療学	B_PHT1310	基礎運動療法学演習	○	○	○	◎		30	1		1					
			B_PHT3330	応用運動療法学実習	○	○	○	◎		45	1				1			
			B_PHT2310	物理療法学	○		○	◎	○	15	1				1			
			B_PHT3320	物理療法学実習	○		○	◎	○	45	1					1		
			B_PHT2310	義肢装具学	○	◎		○	○	15	1				1			
			B_PHT3320	義肢装具学実習	○	○		◎	○	45	1					1		
			B_PHT2310	運動器障害理学療法学	○	◎	○	○		15	1				1			
			B_PHT2320	運動器障害理学療法学実習	○	◎	○	◎		45	1				1			
			B_PHT2310	神経障害理学療法学	○	◎		○		15	1				1			
			B_PHT2320	神経障害理学療法学実習	○	◎		○		45	1				1			
			B_PHT2310	内部障害理学療法学	○		○	◎	○	15	1				1			
			B_PHT2320	内部障害理学療法学実習	○		○	◎	○	45	1				1			
			B_PHT3310	発達障害理学療法学	○	◎		○		15	1					1		
			B_PHT3320	発達障害理学療法学実習	○	○		◎	○	45	1						1	
			B_PHT2310	日常生活活動分析学	○	◎		○		15	1				1			
			B_PHT2320	日常生活活動指導実習	○	◎		○		45	1				1			
			B_PHT3330	臨床推論実習	○		○		◎	45	1						1	
地域理学療法学		地域理学療法学	B_PHT2410	生活環境学	○	◎	○		○	15	1			1				
			B_PHT3410	地域理学療法学	○	◎	○		◎	15	1					1		
			B_PHT3420	地域理学療法学実習	○		○		◎	45	1					1		

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(○)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要授業科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考			
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次				
				科目/領域		ナンバリング		授業科目の名称		主要授業科目		科目とDPとの対応		時間数			単位数		配当年次
専門科目	理学療法学	応用技術学	B_PHT3530	理学療法応用技術学A (予防・老年)	◎		○				15	1				1		応用地域理学療法技術学、応用治療理学療法技術学から各1単位以上選択 計3単位以上選択	
			B_PHT3530	理学療法応用技術学B (予防・産業)				◎			15	1				1			
			B_PHT3530	理学療法応用技術学C (生活環境支援)		○	◎	○			15	1				1			
			B_PHT3530	理学療法応用技術学D (小児)		○		◎			15	1				1			
		療法学	B_PHT3530	理学療法応用技術学E (スポーツ)			◎				15	1				1			
			B_PHT3530	理学療法応用技術学F (特殊ニーズ)			◎		○		15	1				1			
			B_PHT3530	理学療法応用技術学G (神経筋特殊疾患)		○	○	◎			15	1				1			
			B_PHT3530	理学療法応用技術学H (内部新領域)		○	◎				15	1				1			
	理学療法学	基礎理学療法学	B_PHT3630	神経運動器機能学		○	◎	◎			15	1				1	理学療法専門コース科目から計2単位以上選択		
			B_PHT3630	記録データ解析		○	◎	○			15	1				1			
			B_PHT3630	理学療法応用解析学				○	◎		15	1				1			
			B_PHT3630	理学療法基礎解析学			◎		○		15	1				1			
		臨床理学療法学	B_PHT3630	臨床バイオメカニクス		○			◎		15	1				1			
			B_PHT3630	徒手理学療法学				◎	○		15	1				1			
			B_PHT3630	運動制御と運動学習				○	◎	○	15	1				1			
			B_PHT3630	神経疾患理学療法効果検証学				○	◎		15	1				1			
			B_PHT3630	循環系理学療法の臨床実践				○	◎	○	15	1				1			
			B_PHT3630	呼吸理学療法学			◎	○			15	1				1			
			B_PHT3630	理学療法診断学		◎		◎			15	1				1			
			地域・生活支援理学療法学	B_PHT3630	老年期障害理学療法技術学				◎	○	○	15	1					1	
	B_PHT3630	生活環境支援理学療法学				◎	○			15	1				1				
	B_PHT3630	健康増進障害予防支援学				◎	○			15	1				1				
	B_PHT3630	ウィメンズヘルス理学療法学							◎	15	1				1				
	総合療法学	B_PHT3630	義肢装具適合支援学		○		◎	○		15	1				1				
		B_PHT3710	理学療法セミナー I (OSCE1)				○	◎	○	15	1				1				
		B_PHT3720	理学療法セミナー II (OSCE2)				○	◎	○	15	1				1				
		B_PHT4720	理学療法特別演習		◎					30	1				1				
		B_PHT3720	理学療法管理学	○	○	◎				30	2				2				
	実習科目	B_PHT4730	卒業研究	○		○		○	◎	-	2					2			
		B_PHT2840	臨床教育実習 I (検査測定)	○	○	◎	○			90	2			2					
B_PHT3840		臨床教育実習 II (評価)	○	○	○	◎			225	5				5					
B_PHT4840		臨床教育実習 III (総合)	○	○	○	◎			360	8				8					
B_PHT4840	臨床教育実習 IV (地域)	○			○	◎	○		225	5				5					
卒業要件 (単位数)	区分									必修	選択	計							
	共通科目	教養科目								5	20以上	25以上							
		初年次科目								2	-	2							
		IPE科目								6	-	6							
	専門科目	専門基盤科目								26	3以上	29以上							
理学療法学専門科目									61	5以上	66以上								
計									100	28以上	128以上								

7. 作業療法学科

1. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学保健医療福祉学部作業療法学科は、人々の健康と生活を統合的に支え共生社会に貢献できる人材（社会参加者、市民、作業療法士国家資格者、研究者）を育成するために、所定の課程を修め、単位取得等の条件を充たしたうえで、次のような目標を達成した者に学位を授与します。

1. 高い倫理観を身につけていること
人々の健康や社会参加を促進するために、対象者の価値観を重視した作業療法の目標を設定できる。
2. 人々の生活上の行為を理解する能力を身につけていること
幅広い視野と客観的かつ批判的な思考（critical thinking）を通し、人—生活行為—環境の関係を解釈できる。
3. 人々の生活上の行為の改善、維持、向上に働きかける力を身につけていること
人々の生活上の行為の課題について、関係する人々と連携を図りながら、作業療法の専門的な知識と技術を活かし、創造的に解決できる。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学科では、本学の学位授与方針に基づいた目標を達成するために必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目を科目間の関連や科目内容の難易度を表現する番号（ナンバリング）にて標示し、教育課程の構造を体系図（カリキュラム・マップ）としてわかりやすく明示します。

1：科目編成の指針

- 1) 作業療法の実践に必要な豊かな人間性と倫理性などの基盤となる資質や能力を身につけるための科目を、各年次の「共通科目」「専門科目」に広く配置します。
- 2) 作業療法の思考・知識・技術・態度を段階的に身につけるために、1～2年次に主に講義や演習形式の基礎的な科目を配置し、3～4年次に実践的な科目、専門性の高い科目、作業療法の研究に関連する科目、進路に考慮した発展的・応用的な科目を演習や実習形式で配置します。
- 3) 様々な環境、文化的背景やライフステージを踏まえて人々の地域生活を考える機会を複数の科目に含めて各年次に配置します。
- 4) 実践的な科目や難易度の高い科目を履修するための条件として、その基礎となる科目を「先修条件」にすることがあります。

2：教育方法の指針

- 1) 能動的な学修の充実を図るために、外部協力者との意見交換、事前事後の学修課題の実施、少人数のグループ活動、他学科学生や他大学学生とのグループ活動などの機会を設けます。
- 2) 主体的な学修を促すための動画やe-learningの教材を開発していきます。また、ディプロマポリシーを基にした毎年の学修成果の省察を促していきます。

3：教育評価の指針

- 1) 学修成果を具体的に把握・評価するために、ルーブリック、テスト（記述試験、口頭試問試験、客観的臨床能力試験）のような直接的な方法や、学修行動の観察や面接のような間接的な方法を用います。
- 2) 質の高い教育に取り組むために、作業療法学科の教員は、連携して学修の状況や成果を毎週行われる作業療法学専門科目担当者会で共有し検討します。

7. 作業療法学科

3. 卒業単位

作業療法学科における卒業に必要な修得単位は128単位であり、内容は以下のとおりです。

区分		必修	選択	計
共通科目	教養科目	5	20以上	25以上
	初年次科目	2	—	2
	IPE科目	6	—	6
専門科目	専門基盤科目	27	3以上	30以上
	作業療法学専門科目	62	3以上	65以上
計		102	26以上	128以上

以上の単位を修得し、卒業見込みとなるまたは卒業すると、作業療法士の国家試験受験資格が得られます。

なお、作業療法学科の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は40ページ～42ページの一覧表のとおりです。

4. 先修条件

1. 教養科目について

自然科学実験を除く実験科目（物理学実験、化学実験、生物学実験）の履修は、関連する科目（物理学、化学、生物学）の単位を修得済み、または修得見込みであること。ただし、令和6年度以降の入学生については、上記実験科目の科目責任者が履修を認める場合は、先修条件が免除される。

なお、単位修得見込みとは、単位修得のための受験資格を得ていることをいう。（以下の先修条件でも同じ）

2. 専門基盤科目について

- 1) 解剖学実習を履修するには、解剖学及び解剖学特論の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。
- 2) 生理学実習を履修するには、生理学及び生理学特論の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。

3. 作業療法学専門科目について

- 1) 臨地体験実習（身体機能）について
臨地体験実習（身体機能）を履修するには、作業療法学専門科目のうち、2年次後期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。
- 2) 臨地体験実習（精神機能）について
臨地体験実習（精神機能）を履修するには、作業療法学専門科目のうち、3年次前期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。
- 3) 臨地体験実習（高齢期・発達期）について
臨地体験実習（高齢期・発達期）を履修するには、作業療法学専門科目のうち、3年次後期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。
- 4) 臨地総合実習（身体機能）及び臨地総合実習（精神機能）について
臨地総合実習（身体機能）及び臨地総合実習（精神機能）を履修するには、専門基盤科目および作業療法学専門科目のうち、3年次後期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。

5. 理学療法士作業療法士養成施設専任教員資格について

大学在学中に教育学に関する科目を4単位以上修め、卒業後5年以上の臨床経験を経たものは、理学療法士作業療法士養成施設専任教員講習会修了者と同等の資格を得ることができます。なお、教育学に関する科目とは、教育学、人間発達学、教育心理学*を示します。

*教育心理学は教職関連科目のため、卒業認定単位には含まれません。

作業療法学科カリキュラム

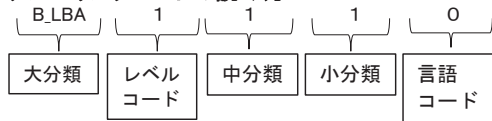
区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次		
共通科目	リテラシー	必修	英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ演習	英語Ⅲ 英語Ⅳ			
	主幹階層	人文社会科学	選択	哲学 倫理学 宗教学 文学A 文学B 歴史学A 歴史学B 文化人類学 民俗学 法学(日本国憲法を含む) 政治学 経済学 社会学 教育学 心理学			
		自然科学	選択	コンピュータ科学入門 基本統計学 科学史 数理科学 物質の科学 物理学 化学 生物学 自然科学実験 物理学実験 化学実験 生物学実験			
		言語・表現・運動	選択	英語演習A 英語演習B 英語演習C 英語演習D 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 手話 日本語表現法 人間関係とコミュニケーション 海外英語研修 芸術活動A 芸術活動B 社会参加活動 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツと人間			
	発展階層	総合力養成	選択		総合文化研究A 総合文化研究B 総合文化研究C 国際関係研究 国際協力研究 地球環境論 埼玉研究		
		人間性涵養※	選択		比較文化研究 生命の意味 生命倫理の諸問題 人間関係論 人間の探求		
	初年次科目	必修	スタートアップセミナー				
	IPE科目	必修	ヒューマンケア論 ヒューマンケア体験実習	IPW論	IPW演習	IPW実習	
	専門科目	専門基礎科目	必修	解剖学 生理学 人間発達学 救命救急法とファーストエイド 解剖学特論 臨床心理学 カウンセリング技法 解剖学実習 生理学特論 病理学	内科学 整形外科 脳神経内科学 精神医学 小児科学 生理学実習 リハビリテーション医学	臨床薬学	
			選択	心の健康 生化学概論 家庭支援論 認知行動科学 栄養学概論	臨床画像診断演習B 老年医学 社会保障概論 衛生学・公衆衛生学 保健福祉統計 疫学 内科学臨床講義		
作業療法学専門科目		必修	生活と障害 作業療法学概論 作業療法マネジメント論 作業療法運動学	基礎作業学 作業療法運動学実習 身体機能作業療法学 身体機能作業療法評価学 身体機能作業療法評価学演習 身体機能作業療法評価学実習 日常生活活動学 日常生活活動学 日常生活活動評価学 高次脳機能作業療法学 高次脳機能作業療法評価学 作業分析学実習 作業療法情報管理論 臨床作業療法技能実習 臨地体験実習(身体機能) 精神機能作業療法学	精神機能作業療法評価学 臨地体験実習(精神機能) 作業治療学 身体機能作業療法学実習(運動器) 身体機能作業療法学実習(中枢神経) 日常生活活動学実習 生活環境技術学 生活環境技術学演習 精神機能作業療法学実習 高次脳機能作業療法学演習 義肢・装具学 義肢・装具学実習 地域作業療法学 高齢期作業療法学 高齢期作業療法学実習 発達期作業療法学演習 発達期作業療法学実習 臨地体験実習(高齢期・発達期) 職業関連技術学 作業療法研究法	臨地総合実習(身体機能) 臨地総合実習(精神機能) 作業療法総合演習	
	選択			職業関連技術学実習 基礎作業学実習 作業療法安全管理学	作業療法研究A ※ 作業療法研究B ※ 身体機能作業療法学特講 精神機能作業療法学特講 高齢期作業療法学特講 発達期作業療法学特講 生活機能作業療法学特講 高次脳機能作業療法学特講		

※作業療法研究A、または作業療法研究Bのいずれかを必ず履修すること

ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。履修登録等の際にカリキュラムマップと合わせて参照してください。

ナンバリングコードの読み方



ナンバリングコード表

大分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(作業)
大分類	B_LBA	B_FYE	B_IPE	B_OCT

レベルコード

レベルコード	
1	(共通科目)1年次より履修可能な科目 (専門科目)導入的な内容の科目
2	(共通科目)2年次より履修可能な科目 (専門科目)基礎的な内容の科目
3	(共通科目)3年次より履修可能な科目 (専門科目)応用的な内容の科目
4	(共通科目)4年次より履修可能な科目 (専門科目)学士論文科目、卒業研究関連科目

中分類・小分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(作業)	
中分類	0	-	-	専門基盤科目	
	1	リテラシー	全科目	作業療法学の導入	
	2	人文社会科学	-	演習	成人期(身体機能)
	3	自然科学	-	実習	成人期(精神機能)
	4	言語・表現・運動	-	-	高齢期
	5	総合力養成	-	-	発達期
	6	人間性涵養	-	-	複合
	7	教養ゼミナール	-	-	-
	8	-	-	-	-
	9	-	-	-	-
	限定科目	A	-	-	-
		B	-	-	-
		C	-	-	-
		D	-	-	-
		E	-	-	-
		F	-	-	-
小分類	0	言語・文学	-	基礎	
	1	哲学・倫理学・宗教学・歴史学・文化人類学・民俗学	分類無しのためすべて「0」	評価	
	2	政治・経済・法学・社会学		治療・指導・援助	
	3	心理学・教育学		臨地実習	
	4	物理学		発展・その他	
	5	化学		-	
	6	生物学		-	
	7	情報科学		-	
	8	複合・学際・国際関係		-	
	9	スポーツ・芸術・社会活動		-	

言語コード

言語コード	
0	日本語
1	英語
2	日本語および英語
3	日本語および英語以外の外国語
4	-
5	-
6	-
7	-
8	-
9	その他言語

作業療法学科 開設科目と配当年次

DPの達成に、密接に関連している (◎)、関連している (○)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
教養科目	リテラシー	B_LBA1102	英語 I				○	◎	30	1		1				
		B_LBA1102	英語 II				○	◎	30	1		1				
		B_LBA2102	英語 III				○	◎	30	1			1			
		B_LBA2102	英語 IV				○	◎	30	1			1			
		B_LBA1170	コンピュータ演習	○			◎	○	30	1		1				
	人文社会科学	B_LBA1210	哲学			◎	○			30	2	2	※	※	※	主幹階層の3領域 （「人文社会科学」、 「自然科学」、 「言語・表現・運動」）から各 2単位以上選択 計6単位以上選択 ※授業科目の名称の 末尾に「*」が付記 されているの科目の 講義内容については、 シラバス及び時間 割を確認すること。
		B_LBA1210	倫理学	◎	○				30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	宗教学	◎	○			○	30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1200	文学 A*	◎	○				30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1200	文学 B*	◎	○				30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	歴史学 A*	○	◎	○			30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	歴史学 B*	○	◎	○			30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	文化人類学	○	○			◎	30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	民俗学	○	◎			○	30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1220	法学（日本国憲法を含む）	○	○	◎			30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1220	政治学	○	○	◎			30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1220	経済学	○	○	◎			30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1220	社会学	○	○	◎			30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1230	教育学	○	○	◎			30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1230	心理学	◎	○	○			30	2	2	※	※	※		
		自然科学	B_LBA1370	コンピュータ科学入門		◎	○			30	2	2	※	※	※	
			B_LBA1370	基本統計学		○	◎			30	2	2	※	※	※	
			B_LBA1380	科学史		◎	○			30	2	2	※	※	※	
			B_LBA1380	数理科学		◎	○			30	2	2	※	※	※	
			B_LBA1380	物質の科学		◎	○			30	2	2	※	※	※	
	B_LBA1340		物理学		◎	○			30	2	2	※	※	※		
	B_LBA1350		化学		○	◎			30	2	2	※	※	※		
	B_LBA1360		生物学		◎				30	2	2	※	※	※		
	B_LBA1380		自然科学実験		◎	○			30	1	1	※	※	※		
	B_LBA1340		物理学実験		◎	○			45	1	1	※	※	※		
	B_LBA1350		化学実験		◎	◎			45	1	1	※	※	※		
	B_LBA1360		生物学実験		◎				45	1	1	※	※	※		
	言語・表現・運動		B_LBA1402	英語演習 A				○	◎	30	1	1	※	※	※	
			B_LBA1402	英語演習 B				○	◎	30	1	1	※	※	※	
			B_LBA1402	英語演習 C				○	◎	30	1	1	※	※	※	
		B_LBA1402	英語演習 D				○	◎	30	1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	中国語 I				○	◎	30	1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	中国語 II				○	◎	30	1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	ロシア語 I				○	◎	30	1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	ロシア語 II				○	◎	30	1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	フランス語 I				○	◎	30	1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	フランス語 II				○	◎	30	1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	スペイン語 I				○	◎	30	1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	スペイン語 II				○	◎	30	1	1	※	※	※		
		B_LBA1400	手話			◎			30	1	1	※	※	※		
		B_LBA1400	日本語表現法	○	○		◎		30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1430	人間関係とコミュニケーション	○		○	◎		30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1402	海外英語研修				○	◎	30	2	2	※	※	※		
		B_LBA1490	芸術活動 A*				○	◎	30	1	1	※	※	※		
		B_LBA1490	芸術活動 B*				◎	○	30	1	1	※	※	※		
B_LBA1490		社会参加活動	○			◎	○	30	1	1	※	※	※			
B_LBA1490		スポーツ実技 I				◎	○	30	1	1	※	※	※			
B_LBA1490	スポーツ実技 II				◎	○	30	1	1	※	※	※				
B_LBA1490	スポーツと人間				◎	○	30	2	2	※	※	※				
発展階層	総合力養成	B_LBA2580	総合文化研究 A*	○		◎		○	15	1	1	※	※	発展階層の2領域 （「総合力養成」、 「人間性涵養」）か ら各1単位以上選択 計4単位以上選択		
		B_LBA2580	総合文化研究 B*	○		○		◎	15	1	1	※	※			
		B_LBA2580	総合文化研究 C*	○		○		◎	15	1	1	※	※			
		B_LBA2580	国際関係研究	○		○		◎	15	1	1	※	※			
		B_LBA2580	国際協力研究				○	◎	15	1	1	※	※			
		B_LBA2580	地球環境論		○	○		◎	15	1	1	※	※			
	B_LBA2580	埼玉研究			◎			○	15	1	1	※	※			
	人間性涵養	B_LBA2680	比較文化研究	◎				○	15	1	1	※	※	※ただし教養ゼミ ナールはどちらの領 域にも適用可とする。 ※授業科目の名称の 末尾に「*」が付記 されているの科目の 講義内容については、 シラバス及び時間 割を確認すること。		
		B_LBA2680	生命の意味		◎	○			15	1	1	※	※			
		B_LBA2680	生命倫理の諸問題	◎	○	○			15	1	1	※	※			
B_LBA2680		人間関係論	◎	○				15	1	1	※	※				
B_LBA2680	人間の探求		◎	○	○		15	1	1	※	※					
※	B_LBA2780	教養ゼミナール*			◎	○	○	30	2	2	※	※				
初年次科目	B_FYE1100	スタートアップセミナー	○				◎	30	2		2					
	IPE科目	B_IPE1100	ヒューマンケア論	○	○			◎	30	2		2				
		B_IPE1300	ヒューマンケア体験実習	○	○			◎	45	1		1				
		B_IPE2100	I P W論	○	○		○	◎	15	1			1			
		B_IPE3200	I P W演習	○	○		○	◎	15	1				1		
B_IPE4300		I P W実習	○	○		○	◎	45	1				1			

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門 基盤 科目	B_OCT1000	解剖学	○	◎					30	2		2				「栄養学概論」「臨床画像診断演習B」から1科目以上選択すること 専門基盤科目から計3単位以上選択すること
	B_OCT1000	生理学	○	○	◎				30	2		2				
	B_OCT1000	人間発達学	○	◎	○				30	2		2				
	B_OCT1000	心の健康		◎	○				30		2	2				
	B_OCT1000	救命救急法とファーストエイド	○	◎	○				15	1		1				
	B_OCT1000	解剖学特論	○	◎					30	1		1				
	B_OCT1000	生化学概論		◎		○			15		1	1				
	B_OCT1000	臨床心理学	○	◎	○	○	○		30	2		2				
	B_OCT1000	家庭支援論		○		◎			30		2	2				
	B_OCT1000	カウンセリング技法	○	◎			○		30	1		1				
	B_OCT1000	認知行動科学		◎		○			15		1	1				
	B_OCT1000	解剖学実習	○	◎					45	1		1				
	B_OCT1000	生理学特論	○	○		◎			30	1		1				
	B_OCT1000	病理学	○		○	◎	○		15	1		1				
	B_OCT1000	栄養学概論	○		◎				15		1	1				
	B_OCT2000	臨床画像診断演習B	○		○	◎	○		15		1	1				
	B_OCT2000	内科学	○		○	◎			30	2		2				
	B_OCT2000	整形外科学	○	○	○	◎		○	30	2		2				
	B_OCT2000	脳神経内科学	○	○	○	◎			30	2		2				
	B_OCT2000	精神医学	○	◎		○			30	2		2				
	B_OCT2000	小児科学	○	◎		○			15	1		1				
	B_OCT2000	老年医学			○	◎			15		1	1				
	B_OCT2000	社会保障概論			○	◎			30		2	2				
	B_OCT2000	衛生学・公衆衛生学			○	◎			30		2	2				
	B_OCT2000	保健福祉統計			◎	○			15		1	1				
	B_OCT2000	疫学			◎	○			15		1	1				
	B_OCT2000	生理学実習	○		○	◎			45	1		1				
	B_OCT2000	リハビリテーション医学	○	○	○	◎		○	30	2		2				
	B_OCT2000	内科学臨床講義			○	◎			15		1	1				
	B_OCT2000	臨床薬学	○	○		◎			15	1				1		
専門 科目	B_OCT1100	生活と障害	○	◎	○				15	1		1			「作業療法研究A」「作業療法研究B」から必ず1科目選択すること	
	B_OCT2600	作業療法学概論	○	◎	○				30	2		2				
	B_OCT2600	作業療法マネジメント論	○		○	◎			15	1		1				
	B_OCT1600	作業療法運動学	○		○	◎			30	2		2				
	B_OCT2600	基礎作業学	○	◎	○				15	1			1			
	B_OCT1600	作業療法運動学実習	○	○	○	◎			45	1		1				
	B_OCT2200	身体機能作業療法学	○	○		◎			15	1		1				
	B_OCT2210	身体機能作業療法評価学	○		○	◎			15	1		1				
	B_OCT2210	身体機能作業療法評価学演習	○		○	◎			15	1		1				
	B_OCT2210	身体機能作業療法評価学実習	○		○	◎			45	1		1				
	B_OCT2600	日常生活活動学	○		○	◎			15	1		1				
	B_OCT2610	日常生活活動評価学	○		○	◎			15	1		1				
	B_OCT2200	高次脳機能作業療法学	○		○	◎			15	1		1				
	B_OCT2210	高次脳機能作業療法評価学	○		○	◎			15	1		1				
	B_OCT2610	作業分析学実習	○		○	◎			45	1		1				
	B_OCT2600	作業療法情報管理論	○		○	◎			15	1		1				
	B_OCT2210	臨床作業療法技能実習	○	◎	○				45	1		1				
	B_OCT2230	臨地体験実習(身体機能)	○	◎	○				135	3		3				
	B_OCT2300	精神機能作業療法学	○	◎	○				15	1		1				
	B_OCT2310	精神機能作業療法評価学	○	◎	○				15	1			1			
	B_OCT2330	臨地体験実習(精神機能)	○	◎	○				135	3			3			
	B_OCT2620	作業治療学	○		○	◎			15	1			1			
	B_OCT2220	身体機能作業療法学実習(運動器)	○	○	○	◎		○	45	1			1	1		
	B_OCT2220	身体機能作業療法学実習(中枢神経)	○	○		◎			45	1			1			
	B_OCT2620	日常生活活動学実習	○		○	◎			45	1		1				
	B_OCT2600	生活環境技術学	○		○	◎			15	1			1			
	B_OCT2640	生活環境技術学演習	○		○	◎			30	1			1			
	B_OCT2320	精神機能作業療法学実習	○		○	◎			45	1			1			
	B_OCT2220	高次脳機能作業療法学演習	○		○	◎			30	1			1			
	B_OCT2200	義肢・装具学	○		○	◎			15	1			1			
	B_OCT2220	義肢・装具学実習	○		○	◎			45	1			1			
	B_OCT2600	地域作業療法学	○		○	◎			30	2			2			
	B_OCT2400	高齢期作業療法学	○	◎	○				15	1			1			
	B_OCT2420	高齢期作業療法学実習	○		○	◎		○	45	1			1	1		
	B_OCT2500	発達期作業療法学演習	○	○		◎			30	1			1			
	B_OCT2510	発達期作業療法学実習	○			◎	○		45	1			1			
	B_OCT2630	臨地体験実習(高齢期・発達期)	○			◎	○		90	2			2			
	B_OCT2600	職業関連技術学	○			◎	○		15	1			1			
	B_OCT2640	職業関連技術学実習		◎	○				45		1		1			
	B_OCT2620	基礎作業学実習		○		◎			30		1		1			
B_OCT2600	作業療法安全管理学			○	◎			15		1		1				
B_OCT4600	作業療法研究法	○		◎	○			15	1			1				

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門科目 作業療法学	B_OCT4640	作業療法研究A	○		◎	○			—	3					3	
	B_OCT4640	作業療法研究B	○			○	◎		—	3					3	
	B_OCT2230	臨地総合実習(身体機能)	○			○	◎		315	7					7	
	B_OCT2330	臨地総合実習(精神機能)	○				◎	○	315	7					7	
	B_OCT2640	作業療法総合演習	○		○	◎			30	1					1	
	B_OCT3240	身体機能作業療法学特講			○	◎			30		1				1	
	B_OCT3340	精神機能作業療法学特講			◎			○	30		1				1	
	B_OCT3440	高齢期作業療法学特講					◎	○	30		1				1	
	B_OCT3540	発達期作業療法学特講				○	◎		30		1				1	
	B_OCT3640	生活機能作業療法学特講				○	◎		30		1				1	
B_OCT3240	高次脳機能作業療法学特講				○	◎		30		1				1		
卒業要件 (単位数)	区分								必修	選択	計					
	共通科目	教養科目							5	20以上	25以上					
		初年次科目							2	—	2					
		IPE科目							6	—	6					
	専門科目	専門基礎科目							27	3以上	30以上					
作業療法学専門科目							62	3以上	65以上							
計								102	26以上	128以上						

8. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 (Ver.2.0)

8-1 社会福祉学専攻 Ver. 2.0 (2021年度～2024年度入学生)

1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

本学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科 (社会福祉学専攻) は、人々の健康と生活を統合的に支え共生社会に貢献できる人材を育成するために、所定の課程を修め、単位取得等の条件を充たしたうえで、次のような目標を達成した者に学位を授与します。

1. 個人の尊厳と基本的な人権を尊重しつつ、人と社会の多角的な理解ができるとともに、社会福祉に関する多様な分野で活躍できる姿勢や態度、高い倫理観を備えていること。
2. 自立した市民として、社会の様々な課題を主体的に探究できる、客観的かつ批判的な思考 (critical thinking) を身に付けていること。
3. 様々な問題や困難を抱える人々の生活を支え、その自立と生活の質の向上を図るため、専門的かつ総合的な視点とそれに基づく適切な判断力を備えていること。
4. 多様な人々とコミュニケーションを図りながら連携し、ライフステージに応じた人々の健康と生活を統合的に支える活動に取り組めること。
5. 共生社会の実現に向け、国際的な視野を持ちながら、地域における社会福祉の諸課題への持続的な取り組みができること。

2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

本専攻では、本学の学位授与方針に基づいた専攻学位授与方針にて掲げる目標を達成するために必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目を科目間の関連や科目内容の難易度を表現する番号 (ナンバリング) にて標示し、教育課程の構造を体系図 (カリキュラム・マップ) としてわかりやすく明示します。

1. 科目編成の指針

- 1) 教養科目、初年次科目、IPE科目を配置します。
- 2) 人々の健康と生活を統合的に支え共生社会に貢献できる人材を育成するための専門科目を「専門基盤科目」と「専門科目」に大別して配置します。
- 3) 専門基盤科目については、保健医療福祉分野の学びのうち他学科・他専攻と共通する科目を配置します。
- 4) 専攻独自の「専門科目」については、以下のとおり体系的・段階的に配置します。
 - ①「社会福祉基幹科目」：社会福祉士関連講義科目を配置する。社会保障及び社会福祉の基礎知識、ソーシャルワークの理念・理論・方法、社会福祉の対象別・分野別の制度と福祉実践を学ぶ。
 - ②「共生社会科目」：共生社会の実現に向けたビジョンや実践活動に関する幅広い学問領域の知識と技術を身に付けることができる科目を配置する。対人援助、環境、公共、政策、国際などの分野から選択的に学ぶことができる。
 - ③「精神保健福祉科目」：精神保健福祉士関連講義科目を配置する。精神保健福祉領域に特化したソーシャルワークの知識と方法、政策、精神医学を学ぶ。
 - ④「子ども学科目」：保育士関連講義科目を配置する。乳幼児～児童期・青年期の発達や子育てをめぐる家庭福祉領域の諸課題の理解と解決、子育て支援に関する具体的実践手法を学ぶ。
 - ⑤「実習・演習科目」：ソーシャルワーク実践に必要な援助技術について体系的かつ実践的に演習する科目を配置する。社会福祉士・精神保健福祉士・保育士に必修の科目を含み、かつ資格にこだわらない多様な現場での共生社会実習を選択することもできる。
 - ⑥「社会福祉研究科目」：専門演習 (いわゆるゼミ) と卒業研究によって、学生自らの問題意識に立脚した課題抽出と科学的手法に基づく解決の探求を实践できることを目指す。

8. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 (Ver.2.0)

2. 教育方法の指針

- 1) 講義・演習・実習の科目ごとに、授業の形態や進め方についてシラバスを作成します。
- 2) 演習・実習科目だけでなく、必要に応じて講義科目にアクティブ・ラーニングを取り入れ、学生の能動的・主体的な学修を促します。
- 3) 資格にかかる演習科目には問題解決型学習方式である「テュートリアル」を採用し、主体的な学習を促します。
- 4) テキスト・参考書の他に、視聴覚教材の活用やフィールドワーク、ゲストスピーカーによる講義によって学生の学修を支援します。

3. 教育評価の指針

- 1) あらかじめシラバスに示した成績の評価方法にしたがい、公正かつ厳格な成績評価を行います。
- 2) 現場実習科目については、あらかじめシラバス等で公開した評価方法にしたがい、実習施設の実習指導者による評価、学生の自己評価を踏まえ、複数の教員による評価を行います。
- 3) 卒業研究については、主査と副査を置き、公正性を担保して評価を行います。

3. 卒業単位

社会福祉学専攻における卒業に必要な取得単位は128単位であり、内容は以下のとおりです。なお、各種の資格取得に必要な単位ではありませんので注意してください。

区分		必修	選択	計
共通科目	教養科目	5	20以上	25以上
	初年次科目	2	—	2
	IPE科目	6	—	6
専門科目	専門基盤科目	1	61以上	95以上
	社会福祉学専門科目	33		
計		47	81以上	128以上

なお、社会福祉学専攻の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は51ページ～54ページの一覧表のとおりです。

4. 他学科等科目の卒業単位への算入

別に定める他学科等科目を履修し修得した単位を、卒業単位に算入することができます。

修得した単位は社会福祉学専門科目の選択科目の単位として算入され、算入することのできる単位数は4単位までです。

ただし、卒業単位として算入できるのは、3年次以降に履修したものに限ります。

なお、算入の対象となる他学科等科目は年度ごとに見直しますので、年度当初のガイダンス等でお知らせします。履修を希望する場合は、「他学科等科目履修申請書」を事務局教務・入試担当に提出してください。

5. 先修条件

1. 教養科目について

自然科学実験を除く実験科目（物理学実験、化学実験、生物学実験）の履修は、関連する科目（物理学、化学、生物学）の単位を修得済み、または修得見込みであること。ただし、令和6年度以降の入学生（3年次編入生の場合は令和8年度以降）については、上記実験科目の科目責任者が履修を認める場合は、先修条件が免除される。

なお、単位修得見込みとは、単位修得のための受験資格を得ていることをいいます。（以下の先修条件でも同じ）

2. 社会福祉学専門科目について

1) 社会福祉士国家試験受験資格取得

ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・ソーシャルワーク実習Ⅰ・ソーシャルワーク実習Ⅱ・ソーシャルワーク実習Ⅲを履修するには、社会福祉の原理と政策Ⅰ、ソーシャルワーク概論Ⅰ、ソーシャルワーク概論Ⅱ、社会福祉演習、ソーシャルワーク演習Ⅰの単位を修得済みか修得見込みであること。

2) 保育士資格取得

保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲを履修するには、保育実習ⅠAおよび保育実習ⅠBの単位を修得済みか修得見込みであること。

8. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 (Ver.2.0)

6. 社会福祉士関連科目の履修について

以下の社会福祉士関連科目の単位を修得することにより、社会福祉士国家試験受験資格が得られます。

科目を定める省令による指定科目	本学で開講している社会福祉士関連科目		
	対応教科目	単位	配当年次
医学概論	医学概論	2	1年
心理学と心理的支援	心理学	2	1~4年
社会学と社会システム	社会学	2	1~4年
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	1年
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	2年
社会福祉調査の基礎	社会調査の基礎	2	2年
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワーク概論Ⅰ	2	1年
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワーク概論Ⅱ	2	1年
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2年
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2年
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	2	3年
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	2	3年
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	3年
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	3年
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2	2年
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	2年
	社会保障論Ⅱ	2	3年
高齢者福祉	高齢者福祉論	2	2年
障害者福祉	障害者福祉論	2	2年
児童・家庭福祉	子ども家庭福祉論	2	1年
貧困に対する支援	公的扶助論	2	2年
保健医療と福祉	医療福祉論	2	3年
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	3年
刑事司法と福祉	司法福祉論	2	3年
ソーシャルワーク演習	社会福祉演習	1	1年
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	1年
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	1	2年
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	1	2年
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	1	3年
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	2年
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	3年
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	3年
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	4	2年
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2	3年
	ソーシャルワーク実習Ⅲ	2	3年

計

64単位

(1) 受験資格取得に向けて

資格取得を希望する場合は、上記の表を参考に各自で必要科目の履修登録を行ってください。履修が必要な科目の多くは選択科目となっていますので、履修登録の際には登録漏れのないよう十分気をつけてください。

8. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 (Ver.2.0)

7. 精神保健福祉士関連科目の履修について

(1) 指定科目の履修

社会福祉学専攻の学生は、本学で開講している以下の精神保健福祉士関連科目の単位を修得し卒業することにより、精神保健福祉士国家試験受験資格が得られます。

科目を定める省令による指定科目		本学で開講している精神保健福祉士関連科目			
区分	教科目	左に対応して開設されている教科目	単位数	配当年次	
共通科目 (社会福祉士と共通)	医学概論	医学概論	2	1年	
	心理学と心理的支援	心理学	2	1~4年	
	社会学と社会システム	社会学	2	1~4年	
	社会福祉の原理と政策		社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	1年
			社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	2年
	地域福祉と包括的支援体制		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	3年
			地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	3年
	社会保障		社会保障論Ⅰ	2	2年
			社会保障論Ⅱ	2	3年
	障害者福祉	障害者福祉論	2	2年	
	ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワーク概論Ⅰ	2	1年	
	ソーシャルワークの理論と方法		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2年
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2年
	刑事司法と福祉	司法福祉論	2	3年	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	3年		
社会福祉調査の基礎	社会調査の基礎	2	2年		
ソーシャルワーク演習	社会福祉演習	1	1年		
専門科目	精神医学と精神医療	精神医学	2	2年	
		精神医学Ⅱ	2	2年	
	現代の精神保健の課題と支援	心の健康	2	1年	
		精神保健学	2	3年	
	精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	2年	
		精神保健福祉の原理Ⅱ	2	2年	
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅲ	2	3年	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅳ		2	3年		
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	2	2年		
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	2	2年		
演習・実習科目	ソーシャルワーク演習(専門)	☆精神保健福祉援助演習Ⅰ	1	3年	
		☆精神保健福祉援助演習Ⅱ	1	4年	
		☆精神保健福祉援助演習Ⅲ	1	4年	
	ソーシャルワーク実習指導	☆精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	3年	
		☆精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1	4年	
		☆精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1	4年	
ソーシャルワーク実習	☆精神保健福祉援助実習Ⅰ	3	4年		
	☆精神保健福祉援助実習Ⅱ	3	4年		

計 65 単位

(2) 選考

別表のうち、☆印のある科目には履修定員があり、履修者は選考により決定します。選考の方法、出願手続き等については、専攻のガイダンス及び掲示によりお知らせします。

(3) 出願要件等

選考に出願するためには次の1)~2)のすべての要件を満たしていなければなりません。

- 1) 精神保健福祉士関連科目のうち、☆印を付していない科目の単位を修得済みか修得見込みであること。
- 2) 社会福祉士関連科目の単位を修得済みか修得見込みであること。

8. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 (Ver.2.0)

8. 保育士関連科目の履修について

以下の保育士関連科目の単位を修得し卒業することにより、保育士の資格が得られます。保育士関連科目については、社会福祉子ども学科として30名の履修定員が設けられています。社会福祉学専攻の学生は10名程度の履修になります。

保育士の資格を取得するためには必修科目と選択科目があります。

保育士資格取得に係る関連科目は公欠の対象外です。

(1) 必修科目

下記別表第1の本学開講科目を70単位すべて修得しなければなりません。

注：☆の科目については履修定員があります。次頁「選考」を参照のこと。

(別表第1)

厚生労働省の告示による教科目			本学開講科目		
系 列	教科目	単位数	左に対応して開設されている授業科目	単位数	配当年次
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	保育原理	2	2
	教育原理	2	教育原理(幼)	2	1
			教育行政(幼)	2	2
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉論	2	1
	社会福祉	2	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	1
	子ども家庭支援論	2	家庭支援論	2	1
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護	2	2
保育者論	2	保育者論	2	1	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	保育の心理学Ⅰ	2	1
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	3
	子どもの理解と援助	1	保育の心理学Ⅱ	2	1
	子どもの保健	2	☆子どもの保健	2	3
	子どもの食と栄養	2	☆子どもの食と栄養	4	3
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	保育・教育課程論	2	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	3
	保育内容演習	5	保育内容「健康」の指導法	2	2
			保育内容「人間関係」の指導法	2	2
			保育内容「環境」の指導法	2	2
			保育内容「言葉」の指導法	2	2
			保育内容「表現」の指導法Ⅰ	2	2
	保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	2	1		
	保育内容の理解と方法	4	幼児と表現(音楽表現)Ⅰ	2	2
			幼児と表現(造形表現)Ⅰ	2	2
			幼児と表現(身体表現)	2	2
	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2	3
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	2	3
	子どもの健康と安全	1	幼児と健康	2	2
	障害児保育	2	特別な教育・保育ニーズの理解とその支援	2	3
社会的養護Ⅱ	1	社会的養護内容	2	3	
子育て支援	1	保育相談支援	2	3	
保育実習	保育実習Ⅰ	4	☆保育実習ⅠA	2	3
			☆保育実習ⅠB	2	3
	保育実習指導Ⅰ	2	☆保育実習事前事後指導ⅠA	1	3
			☆保育実習事前事後指導ⅠB	1	3
総合演習	保育実践演習	2	☆保育・教職実践演習(幼)	2	4
合 計		51		70	

8. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 (Ver.2.0)

(2) 選択科目

下記の別表第2の本学開講科目から選択必修科目の保育実習Ⅱ又はⅢの2単位及び保育実習事前事後指導ⅡまたはⅢの1単位計3単位を含み9単位以上を修得しなければなりません。(保育実習と保育実習事前事後指導は同じローマ数字のものを履修する必要があります。)

注：☆の科目については履修定員があります。下記の「選考」を参照のこと。

(別表第2 選択必修科目)

厚生労働省の告示による教科目		本学開講科目				
系 列	設置 単位数	左に対応して開設 されている授業科目	単位数	配当 年次	備 考	
保育の本質・目的 に関する科目	15 以上	ソーシャルワークの 理論と方法Ⅰ	2	2	6単位以上 選択必修	
保育の対象の理解 に関する科目		人間発達学	2	1		
		臨床心理学	2	1		
		心の健康	2	1		
保育の内容・方法 に関する科目		発達障害論	2	3		
		保育内容「表現」の指導法Ⅱ	2	2		
		幼児と表現(音楽表現)Ⅱ	2	3		
保育実習	2	☆保育実習Ⅱ	2	4	保育実習及び保育実 習事前事後指導につ いてⅡ又はⅢを選択 必修	
		☆保育実習Ⅲ	2	4		
	1	☆保育実習事前事後指導Ⅱ	1	4		
☆保育実習事前事後指導Ⅲ		1	4			
合 計	18以上		22			

(3) 教養科目

別表第1、別表第2の他に、下記の本学開講科目の単位を修得しなければなりません。

厚生労働省の 告示による教科目	設置 単位数	本学開講科目	履修 単位数
外国語、体育以外の科目	6以上	下記以外の教養科目	6以上
外国語	2以上	英語Ⅰ～Ⅳ、英語演習A～D、中国語Ⅰ～Ⅱ、ロシア語Ⅰ～Ⅱ、フランス語Ⅰ～Ⅱ、スペイン語Ⅰ～Ⅱ、海外英語研修	2以上
体育に関する講義	1	スポーツと人間	2
体育に関する実技	1	スポーツ実技Ⅰ・Ⅱ	1以上
合 計	10以上		11以上

[選考]

別表第1、別表第2のうち、☆印のある科目には履修定員があり、履修者は選考により決定します。選考の方法、出願手続き等については、学科・専攻ガイダンス及び掲示によりお知らせします。

[出願要件]

選考に出願するためには、1年次後期終了時までに次に掲げる科目を修得済みか修得見込みでなければなりません。

教育原理(幼)	2単位
保育者論	2単位
保育の心理学Ⅰ	2単位
保育の心理学Ⅱ	2単位
子ども家庭福祉論	2単位

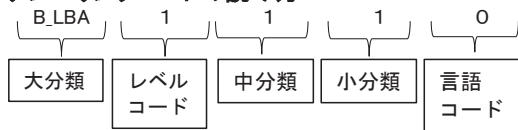
社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻カリキュラム Ver.2.0(2021年度～2024年度入学生)

区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
共通科目	リテラシー	必修 英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ演習	英語Ⅲ 英語Ⅳ			
	人文社会科学	選択 哲学 倫理学 宗教学 文学A 文学B 歴史学A 歴史学B 文化人類学 民俗学 法学(日本国憲法を含む) 政治学 経済学 社会学 教育学 心理学				
	自然科学	選択 コンピュータ科学入門 基本統計学 科学史 数理学 物質の科学 物理学 化学 生物学 自然科学実験 物理学実験 化学実験 生物学実験				
	言語・表現・運動	選択 英語演習A 英語演習B 英語演習C 英語演習D 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 手話 日本語表現法 人間関係とコミュニケーション 海外英語研修 芸術活動A 芸術活動B 社会参加活動 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツと人間				
	総合力養成	選択	総合文化研究A 総合文化研究B 総合文化研究C 国際関係研究 国際協力研究 地球環境論 埼玉研究			
	人間性涵養	選択	比較文化研究 生命の意味 生命倫理の諸問題 人間関係論 人間の探求			
	※	選択	教養ゼミナール			
	初年次科目	必修	スタートアップセミナー			
	IPE科目	必修	ヒューマンケア論 ヒューマンケア体験実習	IPW論	IPW演習	IPW実習
	専門科目	専門基礎科目	必修		保健福祉統計	
		選択	栄養学概論 人間発達学 臨床心理学 認知行動科学 リハビリテーション医学概論 カウンセリング技法 家庭支援論 心の健康 救命救急法とファーストエイド 医学概論 生理学 解剖学	精神医学 精神医学概論 小児科学 衛生学・公衆衛生学 内科学 老年医学		
社会福祉基幹		必修	ソーシャルワーク概論Ⅰ ソーシャルワーク概論Ⅱ 子ども家庭福祉論 社会福祉の原理と政策Ⅰ	障害者福祉論 高齢者福祉論 社会調査の基礎 社会福祉の原理と政策Ⅱ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		
		選択		社会保障論Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ 福祉サービスの組織と経営 公的扶助論	社会保障論Ⅱ 医療福祉論 司法福祉論 ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 権利擁護を支える法制度	
共生社会		選択		福祉社会特講Ⅲ ケアと環境Ⅰ ケアと環境Ⅱ ケアと環境Ⅲ	ソーシャルワーク特論Ⅰ ソーシャルワーク特論Ⅱ ソーシャルワーク特論Ⅲ ソーシャルワーク特論Ⅳ 福祉社会特講Ⅰ 福祉社会特講Ⅱ 福祉社会特講Ⅳ ケアと環境Ⅳ	
精神保健福祉		選択		精神医学Ⅱ 精神保健福祉の原理Ⅰ 精神保健福祉の原理Ⅱ 精神障害リハビリテーション論 精神保健福祉制度論	精神保健学 ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅲ ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅳ	
子ども学		選択	保育者論 教育原理(幼) 保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ 保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	保育原理 教育行政(幼) 保育・教育課程論 社会的養護 保育内容「健康」の指導法 保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法 保育内容「言葉」の指導法 保育内容「表現」の指導法Ⅰ 保育内容「表現」の指導法Ⅱ 幼児と健康 幼児と表現(音楽表現)Ⅰ 幼児と表現(造形表現)Ⅰ 幼児と表現(身体表現)	特別な教育・保育ニーズの理解とその支援 子ども家庭支援の心理学 発達障害論 保育相談支援 社会的養護内容 子どもの保健 子どもの食と栄養 保育内容総論 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 幼児と表現(音楽表現)Ⅱ 幼児と表現(造形表現)Ⅱ	
実習・演習		必修	社会福祉演習 ソーシャルワーク演習Ⅰ	ソーシャルワーク演習Ⅱ		
		選択		ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅲ	ソーシャルワーク実習Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ 共生社会実習Ⅰ 共生社会実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習(幼)	共生社会実習Ⅲ 共生社会実習Ⅳ 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 精神保健福祉援助演習Ⅲ 保育・教職実践演習(幼)
社会福祉研究		必修			社会福祉専門演習Ⅰ 社会福祉専門演習Ⅱ	社会福祉専門演習Ⅲ 社会福祉専門演習Ⅳ 卒業研究

ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。履修登録等の際にカリキュラムマップと合わせて参照してください。

ナンバリングコードの読み方



ナンバリングコード表

大分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(社会福祉)
大分類	B_LBA	B_FYE	B_IPE	B_SSW

レベルコード

レベルコード	
1	1年次より履修可能な科目
2	2年次より履修可能な科目
3	3年次より履修可能な科目
4	4年次より履修可能な科目

中分類・小分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(社会福祉)	
中分類	0	-	-	専門基盤科目	
	1	リテラシー	全科目	社会福祉基幹	
	2	人文社会科学	-	演習	共生社会
	3	自然科学	-	実習	精神保健福祉
	4	言語・表現・運動	-	-	子ども学
	5	総合力養成	-	-	実習・実習指導
	6	人間性涵養	-	-	社会福祉・ソーシャルワーク演習
	7	教養ゼミナール	-	-	社会福祉研究
	8	-	-	-	-
	9	-	-	-	その他
	限定科目	A	-	-	精神保健福祉士課程限定
		B	-	-	保育士課程限定
		C	-	-	-
		D	-	-	-
		E	-	-	-
F		-	-	-	
小分類	0	言語・文学	分類無しのためすべて「0」	分類無しのためすべて「0」	理論・思想
	1	哲学・倫理学・宗教学・歴史学・文化人類学・民俗学			制度・政策
	2	政治・経済・法学・社会学			実践技術・方法
	3	心理学・教育学			実践領域
	4	物理学			基礎
	5	化学			応用
	6	生物学			実習・実習指導
	7	情報科学			卒業研究
	8	複合・学際・国際関係			その他
	9	スポーツ・芸術・社会活動			-

言語コード

言語コード	
0	日本語
1	英語
2	日本語および英語
3	日本語および英語以外の外国語
4	-
5	-
6	-
7	-
8	-
9	その他言語

社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 開設科目と配当年次 (Ver2.0)

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(○) ※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
共通科目 教養科目 主幹階層	リテラシー	B_LBA1102	英語 I				○	◎	30	1		1					
		B_LBA1102	英語 II				○	◎	30	1		1					
		B_LBA2102	英語 III				○	◎	30	1			1				
		B_LBA2102	英語 IV				○	◎	30	1			1				
		B_LBA1170	コンピュータ演習	○			◎	○	30	1		1					
	人文社会科学	B_LBA1210	哲学			◎	○			30		2	2	※	※	※	主幹階層の3領域 (「人文社会科学」 、「自然科学」 、「言語・表現・運動」)から 各2単位以上選択 計6単位以上選択 ※授業科目の名称 の末尾に「*」が付 記されているの科 目の講義内容につ いては、シラバス 及び時間割を確認 すること。
		B_LBA1210	倫理学	◎	○				30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	宗教学	◎	○			○	30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1200	文学A*	◎	○				30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1200	文学B*	◎	○				30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	歴史学A*	○	◎	○			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	歴史学B*	○	◎	○			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	文化人類学	○	○			◎	30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	民俗学	○	◎			○	30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1220	法学(日本国憲法を含む)	○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1220	政治学	○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1220	経済学	○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1220	社会学	○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1230	教育学	○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1230	心理学	◎	○	○			30		2	2	※	※	※		
	自然科学	B_LBA1370	コンピュータ科学入門			◎	○		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1370	基本統計学			○	◎		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1380	科学史			◎	○		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1380	数理科学			◎	○		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1380	物質の科学			◎	○		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1340	物理学			◎	○		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1350	化学			○	◎		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1360	生物学			◎			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1380	自然科学実験			◎	○		30	1	1	※	※	※			
		B_LBA1340	物理学実験			◎	○		45	1	1	※	※	※			
		B_LBA1350	化学実験			○	◎		45	1	1	※	※	※			
		B_LBA1360	生物学実験			◎			45	1	1	※	※	※			
	言語・表現・運動	B_LBA1402	英語演習A				○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1402	英語演習B				○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1402	英語演習C				○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1402	英語演習D				○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	中国語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	中国語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	コリア語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	コリア語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	フランス語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	フランス語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	スペイン語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1403	スペイン語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1400	手話				◎		30		1	1	※	※	※		
B_LBA1400		日本語表現法			○		◎	30		2	2	※	※	※			
B_LBA1430		人間関係とコミュニケーション	○		○	◎		30		2	2	※	※	※			
B_LBA1402		海外英語研修				○	◎	30		2	2	※	※	※			
B_LBA1490		芸術活動A*			○	◎		30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490		芸術活動B*			◎	○		30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490		社会参加活動	○			◎	○	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490		スポーツ実技 I				◎	○	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490	スポーツ実技 II				◎	○	30		1	1	※	※	※				
B_LBA1490	スポーツと人間				◎	○	30		2	2	※	※	※				

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考		
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	教養科目	発展階層	総合力養成	B_LBA2580	総合文化研究A*	○				○	15		1		1	※	※	発展階層の2領域 （「総合力養成」、 「人間性涵養」）か ら各1単位以上選択 計4単位以上選択 ※ただし教養ゼミ ナールはどちらの領 域にも適用可とす る。 ※授業科目の名称の 末尾に「*」が付記 されているの科目の 講義内容については、 シラバス及び時間 割を確認すること。 ※
				B_LBA2580	総合文化研究B*	○				◎	15		1		1	※	※	
				B_LBA2580	総合文化研究C*	○				◎	15		1		1	※	※	
				B_LBA2580	国際関係研究	○				◎	15		1		1	※	※	
				B_LBA2580	国際協力研究					◎	15		1		1	※	※	
		B_LBA2580	地球環境論			○		◎	15		1		1	※	※			
		B_LBA2580	埼玉研究					◎	15		1		1	※	※			
		B_LBA2680	比較文化研究	◎				○	15		1		1	※	※			
		B_LBA2680	生命の意味			◎	○		15		1		1	※	※			
		B_LBA2680	生命倫理の諸問題	◎	○	○			15		1		1	※	※			
	B_LBA2680	人間関係論	◎	○				15		1		1	※	※				
	B_LBA2680	人間の探求			◎	○	○	15		1		1	※	※				
	B_LBA2780	教養ゼミナール*			◎	○		○	30		2		2	※	※			
	初年次科目	B_FYE1100	スタートアップセミナー	○				◎	30	2		2						
	I P E 科目	B_IPE1100	ヒューマンケア論	○	○			◎	30	2		2						
		B_IPE1300	ヒューマンケア体験実習	○	○			◎	45	1		1						
		B_IPE2100	I PW論	○	○		○	◎	15	1			1					
		B_IPE3200	I PW演習	○	○		○	◎	15	1				1				
		B_IPE4300	I PW実習	○	○		○	◎	45	1					1			
	専門科目	専門基盤科目	B_SSW1080	栄養学概論			◎			15		1	1					「精神医学」「精神 医学概論」は、 どちらか一方の科 目のみ履修するこ とができる。
			B_SSW1080	人間発達学		◎	○			30		2	2					
			B_SSW1080	臨床心理学		◎	○	○	○	30		2	2					
			B_SSW1080	認知行動科学		◎		○		15		1	1					
			B_SSW1080	リハビリテーション医学概論		○	○	◎	○	15		1	1					
			B_SSW2080	精神医学		◎		○		30		2		2				
			B_SSW2080	精神医学概論		◎		○		15		1		1				
			B_SSW2080	小児科学		◎		○		15		1		1				
B_SSW1080			カウンセリング技法		◎			○	30		1	1						
B_SSW1080			家庭支援論		○			◎	30		2	2						
B_SSW1080			心の健康		◎	○			30		2	2						
B_SSW1080			救命救急法とファーストエイド		◎	○			15		1	1						
B_SSW2080			衛生学・公衆衛生学			○	◎		30		2			2				
B_SSW2080			保健福祉統計	○		◎	○		15	1			1					
B_SSW1080			医学概論			◎	○		30		2	2						
B_SSW1080			生理学			○	◎		30		2	2						
B_SSW1080			解剖学			◎			30		2	2						
B_SSW2080			内科学				○	◎	30		2		2					
B_SSW2080			老年医学			○	◎		15		1		1					
社会福祉学専門科目			B_SSW1100	社会福祉の原理と政策 I	○		◎	○		30	2		2					
		B_SSW2110	社会福祉の原理と政策 II	○		◎	○	○	30	2			2					
		B_SSW2120	社会調査の基礎			◎	○		30	2			2					
		B_SSW1120	ソーシャルワーク概論 I	○	◎	○	○		30	2		2						
		B_SSW1120	ソーシャルワーク概論 II	○	◎	○	○		30	2		2						
		B_SSW2120	ソーシャルワークの理論と方法 I	○	○		◎	○	30	2			2					
		B_SSW2120	ソーシャルワークの理論と方法 II	○	○		◎		○	30	2			2				
		B_SSW3120	ソーシャルワークの理論と方法(専門) I		○		◎	○		30	2				2			
		B_SSW3120	ソーシャルワークの理論と方法(専門) II		○		◎	○		30	2				2			
		B_SSW3110	地域福祉と包括的支援体制 I		○	◎			○	30	2				2			
B_SSW3130		地域福祉と包括的支援体制 II		○	◎			○	30	2				2				
B_SSW2120	福祉サービスの組織と経営		○	◎			30	2			2							
B_SSW2110	社会保障論 I			◎		○	30	2			2							
B_SSW3110	社会保障論 II			◎		○	30	2				2						
B_SSW2130	高齢者福祉論	○	○	○	◎		30	2			2							
B_SSW2130	障害者福祉論	○	○		◎	○	30	2				2						
B_SSW1130	子ども家庭福祉論	○	◎		○	○	30	2		2								
B_SSW2130	公的扶助論		○		◎		○	30		2		2						
B_SSW3130	医療福祉論		◎		○	○	30		2				2					
B_SSW3130	権利擁護を支える法制度		○	◎			30		2					2				
B_SSW3130	司法福祉論		○		◎		30		2					2				

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
専 門 科 目 社 会 福 祉 学 専 門 科 目 子 ど も 学 実 習 ・ 演 習	共 生 社 会	B_SSW3210			◎	○		○	30	2			2	※		
		B_SSW3230			◎	○			30	2			2	※		
		B_SSW2200			○	○	◎			30	2		2	※	※	
		B_SSW3230		○	○				◎	30	2			2	※	
		B_SSW3220		○		◎	○			30	2			2	※	
		B_SSW3220								30	2			2	※	
		B_SSW3230				○	◎	○		30	2			2	※	
		B_SSW3220		◎			○	○		30	2			2	※	
		B_SSW2230			○	◎	○			30	2	2		2	※	※
		B_SSW2230			○	◎	○			30	2	2		2	※	※
		B_SSW2230				◎	○			30	2		2	※	※	
		B_SSW3230					○	◎		30	2			2	※	
	精 神 保 健 福 祉	B_SSW2380			◎	○	○			30	2		2			
		B_SSW3380					◎	○	○	30	2			2		
		B_SSW2310			◎	○			○	30	2		2			
		B_SSW2320			○	○	◎			30	2		2			
		B_SSW3390			◎			○	○	30	2			2		
		B_SSW3310		○		◎	○			30	2			2		
	子 ど も 学	B_SSW2320		○		◎	○			30	2		2			
		B_SSW2330		◎	○	○				30	2		2			
		B_SSW1400				◎	○			30	2	2				
		B_SSW1400			◎	○				30	2	2				
		B_SSW2400		○	◎					30	2		2			
		B_SSW1400		◎		○				30	2	2				
		B_SSW1400		◎		○				30	2	2				
		B_SSW3420		◎		◎				30	2			2		
		B_SSW3400				○		◎		30	2			2		
		B_SSW3400				○	◎			30	2			2		
		B_SSW2410		○	◎					30	2		2			
		B_SSW2400		○		◎				30	2		2			
		B_SSW3420				◎	○			30	2			2		
		B_SSW2410		◎		○				30	2		2			
		B_SSW3420		○		◎				30	2			2		
B_SSW3420			○		◎				30	2			2			
B_SSW3420			◎						60	4			4			
B_SSW3420					○	◎			30	2			2			
B_SSW2420					◎	○			30	2		2				
B_SSW2420			○	◎					30	2		2				
B_SSW2420					○	◎			30	2		2				
B_SSW2420					○		◎		30	2		2				
B_SSW2420						○	◎		30	2		2				
B_SSW2420						○	◎		30	2		2				
B_SSW1420									30	2	2					
B_SSW3420			○		◎				30	2			2			
B_SSW3420		○		◎				30	2			2				
B_SSW2420				◎	○			30	2		2					
B_SSW2420				◎	○			30	2			2				
B_SSW2420				◎	○			30	2		2					
B_SSW2420		○		◎				30	2		2					
B_SSW2420		○		◎				30	2		2					
B_SSW2560		○		◎	○			120	4		4					
B_SSW3560		○		○	◎			60	2			2				
B_SSW3560		○		○	◎			60	2			2				

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考		
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次			
		B_SSW2560	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		○		◎	○		30		1						
		B_SSW3560	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		○		◎	◎		30		1					1	
		B_SSW3560	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		○			◎	○	30		1					1	
		B_SSW1620	社会福祉演習	○	◎	○		○		30	1		1					
		B_SSW1620	ソーシャルワーク演習Ⅰ	○		◎	○	○		30	1		1					
		B_SSW2620	ソーシャルワーク演習Ⅱ	○	○	○	◎			30	1			1				
		B_SSW2620	ソーシャルワーク演習Ⅲ	○	○		○	◎		30		1		1				
		B_SSW3620	ソーシャルワーク演習Ⅳ	○			○	○	◎	30		1				1		
		B_SSW3560	共生社会実習Ⅰ		○		◎			45	1					1		
		B_SSW3560	共生社会実習Ⅱ		○		◎			45	1					1		
		B_SSW4560	共生社会実習Ⅲ		○		◎			45	1						1	
		B_SSW4560	共生社会実習Ⅳ		○		◎			45	1						1	
		B_SSW4A60	精神保健福祉援助実習Ⅰ		○	○		◎		90	3						3	
		B_SSW4A60	精神保健福祉援助実習Ⅱ		○		○	◎		90	3						3	
		B_SSW3A60	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		◎	○	○			30	1					1		
		B_SSW4A60	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ			○	◎	○		30	1						1	
		B_SSW4A60	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ			○	○	◎		30	1						1	
		B_SSW3A20	精神保健福祉援助演習Ⅰ		◎		○		○	30	1					1		
		B_SSW4A20	精神保健福祉援助演習Ⅱ			○	◎		○	30	1						1	
		B_SSW4A20	精神保健福祉援助演習Ⅲ		◎		○	○		30	1						1	
		B_SSW4B20	保育・教職実践演習(幼)				○	◎		30	2						2	
		B_SSW3B60	保育実習ⅠA		○		◎			90	2						2	
		B_SSW3B60	保育実習ⅠB		○		◎			90	2						2	
		B_SSW3B60	保育実習事前事後指導ⅠA		○		◎			30	1					1		
		B_SSW3B60	保育実習事前事後指導ⅠB		○		◎			30	1					1		
		B_SSW4B60	保育実習Ⅱ		◎		○			90	2						2	
		B_SSW4B60	保育実習Ⅲ		◎		○			90	2						2	
		B_SSW4B60	保育実習事前事後指導Ⅱ		◎		○			30	1						1	
		B_SSW4B60	保育実習事前事後指導Ⅲ		◎		○			30	1						1	
	社会 研究 福祉	B_SSW3740	社会福祉専門演習Ⅰ	○		◎	○			30	2					2		
		B_SSW3740	社会福祉専門演習Ⅱ	○		◎	○			30	2					2		
		B_SSW4750	社会福祉専門演習Ⅲ	○		◎	○			30	2						2	
		B_SSW4750	社会福祉専門演習Ⅳ	○		◎	○			30	2						2	
		B_SSW4770	卒業研究	○		◎	○			-	4							4
卒業要件 (単位数)		区分								必修	選択	計						
	共通科目	教養科目								5	20以上	25以上						
		初年次科目								2	-	2						
		IPE科目								6	-	6						
	専門科目	専門基盤科目								1	61以上	95以上						
社会福祉学専門科目									33									
		計								47	81以上	128以上						

8. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 (Ver.3.0)

8-2 社会福祉学専攻 Ver. 3.0 (2025年度以降入学生)

1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

本学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科 (社会福祉学専攻) は、人々の健康と生活を統合的に支え共生社会に貢献できる人材を育成するために、所定の課程を修め、単位取得等の条件を充たしたうえで、次のような目標を達成した者に学位を授与します。

1. 個人の尊厳と基本的な人権を尊重しつつ、人と社会の多角的な理解ができるとともに、社会福祉に関する多様な分野で活躍できる姿勢や態度、高い倫理観を備えていること。
2. 自立した市民として、社会の様々な課題を主体的に探究できる、客観的かつ批判的な思考 (critical thinking) を身に付けていること。
3. 様々な問題や困難を抱える人々の生活を支え、その自立と生活の質の向上を図るため、専門的かつ総合的な視点とそれに基づく適切な判断力を備えていること。
4. 多様な人々とコミュニケーションを図りながら連携し、ライフステージに応じた人々の健康と生活を統合的に支える活動に取り組めること。
5. 共生社会の実現に向け、国際的な視野を持ちながら、地域における社会福祉の諸課題への持続的な取り組みができること。

2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

本専攻では、本学の学位授与方針に基づいた専攻学位授与方針にて掲げる目標を達成するために必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目を科目間の関連や科目内容の難易度を表現する番号 (ナンバリング) にて標示し、教育課程の構造を体系図 (カリキュラム・マップ) としてわかりやすく明示します。

1. 科目編成の指針

- 1) 教養科目、初年次科目、IPE科目を配置します。
- 2) 人々の健康と生活を統合的に支え共生社会に貢献できる人材を育成するための専門科目を「専門基盤科目」と「専門科目」に大別して配置します。
- 3) 専門基盤科目については、保健医療福祉分野の学びのうち他学科・他専攻と共通する科目を配置します。
- 4) 専攻独自の「専門科目」については、以下のとおり体系的・段階的に配置します。
 - ①「社会福祉基幹科目」：社会福祉士関連講義科目を配置する。社会保障及び社会福祉の基礎知識、ソーシャルワークの理念・理論・方法、社会福祉の対象別・分野別の制度と福祉実践を学ぶ。
 - ②「共生社会科目」：共生社会の実現に向けたビジョンや実践活動に関する幅広い学問領域の知識と技術を身に付けることができる科目を配置する。対人援助、環境、公共、政策、国際などの分野から選択的に学ぶことができる。
 - ③「精神保健福祉科目」：精神保健福祉士関連講義科目を配置する。精神保健福祉領域に特化したソーシャルワークの知識と方法、政策、精神医学を学ぶ。
 - ④「子ども学科目」：保育士関連講義科目を配置する。乳幼児～児童期・青年期の発達や子育てをめぐる家庭福祉領域の諸課題の理解と解決、子育て支援に関する具体的実践手法を学ぶ。
 - ⑤「実習・演習科目」：ソーシャルワーク実践に必要な援助技術について体系的かつ実践的に演習する科目を配置する。社会福祉士・精神保健福祉士・保育士に必修の科目を含み、かつ資格にこだわらない多様な現場での共生社会実習を選択することもできる。
 - ⑥「社会福祉研究科目」：専門演習 (いわゆるゼミ) と卒業研究によって、学生自らの問題意識に立脚した課題抽出と科学的手法に基づく解決の探求を实践できることを目指す。

8. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 (Ver.3.0)

2. 教育方法の指針

- 1) 講義・演習・実習の科目ごとに、授業の形態や進め方についてシラバスを作成します。
- 2) 演習・実習科目だけでなく、必要に応じて講義科目にアクティブ・ラーニングを取り入れ、学生の能動的・主体的な学修を促します。
- 3) 資格にかかる演習科目には問題解決型学習方式である「テュートリアル」を採用し、主体的な学習を促します。
- 4) テキスト・参考書の他に、視聴覚教材の活用やフィールドワーク、ゲストスピーカーによる講義によって学生の学修を支援します。

3. 教育評価の指針

- 1) あらかじめシラバスに示した成績の評価方法にしたがい、公正かつ厳格な成績評価を行います。
- 2) 現場実習科目については、あらかじめシラバス等で公開した評価方法にしたがい、実習施設の実習指導者による評価、学生の自己評価を踏まえ、複数の教員による評価を行います。
- 3) 卒業研究については、主査と副査を置き、公正性を担保して評価を行います。

3. 卒業単位

社会福祉学専攻における卒業に必要な取得単位は128単位であり、内容は以下のとおりです。なお、各種の資格取得に必要な単位ではありませんので注意してください。

区分		必修	選択	計
共通科目	教養科目	5	20以上	25以上
	初年次科目	2	—	2
	IPE科目	6	—	6
専門科目	専門基盤科目	1	61以上	95以上
	社会福祉学専門科目	33		
計		47	81以上	128以上

なお、社会福祉学専攻の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は63ページ～66ページの一覧表のとおりです。

4. 他学科等科目の卒業単位への算入

別に定める他学科等科目を履修し修得した単位を、卒業単位に算入することができます。

修得した単位は社会福祉学専門科目の選択科目の単位として算入され、算入することのできる単位数は4単位までです。

ただし、卒業単位として算入できるのは、3年次以降に履修したものに限ります。

なお、算入の対象となる他学科等科目は年度ごとに見直しますので、年度当初のガイダンス等でお知らせします。履修を希望する場合は、「他学科等科目履修申請書」を事務局教務・入試担当に提出してください。

5. 先修条件

1. 教養科目について

自然科学実験を除く実験科目（物理学実験、化学実験、生物学実験）の履修は、関連する科目（物理学、化学、生物学）の単位を修得済み、または修得見込みであること。ただし、令和6年度以降の入学生については、上記実験科目の科目責任者が履修を認める場合は、先修条件が免除される。

なお、単位修得見込みとは、単位修得のための受験資格を得ていることをいいます。（以下の先修条件でも同じ）

2. 社会福祉学専門科目について

1) 社会福祉士国家試験受験資格取得

ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・ソーシャルワーク実習Ⅰ・ソーシャルワーク実習Ⅱ・ソーシャルワーク実習Ⅲを履修するには、社会福祉の原理と政策Ⅰ、ソーシャルワーク概論Ⅰ、ソーシャルワーク概論Ⅱ、社会福祉演習、ソーシャルワーク演習Ⅰの単位を修得済みか修得見込みであること。

2) 保育士資格取得

保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲを履修するには、保育実習ⅠAおよび保育実習ⅠBの単位を修得済みか修得見込みであること。

8. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 (Ver.3.0)

6. 社会福祉士関連科目の履修について

以下の社会福祉士関連科目の単位を修得することにより、社会福祉士国家試験受験資格が得られます。

科目を定める省令による指定科目	本学で開講している社会福祉士関連科目		
	対応教科目	単位	配当年次
医学概論	医学概論	2	1年
心理学と心理的支援	心理学	2	1~4年
社会学と社会システム	社会学	2	1~4年
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	1年
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	2年
社会福祉調査の基礎	社会調査の基礎	2	2年
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワーク概論Ⅰ	2	1年
ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)	ソーシャルワーク概論Ⅱ	2	1年
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2年
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2年
ソーシャルワークの理論と方法 (専門)	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	2	3年
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	2	3年
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	3年
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	3年
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2	2年
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	2年
	社会保障論Ⅱ	2	3年
高齢者福祉	高齢者福祉論	2	2年
障害者福祉	障害者福祉論	2	2年
児童・家庭福祉	子ども家庭福祉論	2	1年
貧困に対する支援	公的扶助論	2	2年
保健医療と福祉	医療福祉論	2	3年
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	3年
刑事司法と福祉	司法福祉論	2	3年
ソーシャルワーク演習	社会福祉演習	1	1年
ソーシャルワーク演習 (専門)	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	1年
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	1	2年
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	1	2年
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	1	3年
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	2年
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	3年
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	3年
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	4	2年
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2	3年
	ソーシャルワーク実習Ⅲ	2	3年

計

64単位

(1) 受験資格取得に向けて

資格取得を希望する場合は、上記の表を参考に各自で必要科目の履修登録を行ってください。履修が必要な科目の多くは選択科目となっていますので、履修登録の際には登録漏れのないよう十分気をつけてください。

8. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 (Ver.3.0)

7. 精神保健福祉士関連科目の履修について

(1) 指定科目の履修

社会福祉学専攻の学生は、本学で開講している以下の精神保健福祉士関連科目の単位を修得し卒業することにより、精神保健福祉士国家試験受験資格が得られます。

科目を定める省令による指定科目		本学で開講している精神保健福祉士関連科目			
区分	教科目	左に対応して開設されている教科目	単位数	配当年次	
共通科目 (社会福祉士と共通)	医学概論	医学概論	2	1年	
	心理学と心理的支援	心理学	2	1~4年	
	社会学と社会システム	社会学	2	1~4年	
	社会福祉の原理と政策		社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	1年
			社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	2年
	地域福祉と包括的支援体制		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	3年
			地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	3年
	社会保障		社会保障論Ⅰ	2	2年
			社会保障論Ⅱ	2	3年
	障害者福祉	障害者福祉論	2	2年	
	ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワーク概論Ⅰ	2	1年	
	ソーシャルワークの理論と方法		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2年
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	2年
	刑事司法と福祉	司法福祉論	2	3年	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	3年		
社会福祉調査の基礎	社会調査の基礎	2	2年		
ソーシャルワーク演習	社会福祉演習	1	1年		
専門科目	精神医学と精神医療	精神医学	2	2年	
		精神医学Ⅱ	2	2年	
	現代の精神保健の課題と支援	心の健康	2	1年	
		精神保健学	2	3年	
	精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理Ⅰ	2	2年	
		精神保健福祉の原理Ⅱ	2	2年	
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅲ	2	3年	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅳ		2	3年		
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	2	2年		
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	2	2年		
演習・実習科目	ソーシャルワーク演習(専門)	☆精神保健福祉援助演習Ⅰ	1	3年	
		☆精神保健福祉援助演習Ⅱ	1	4年	
		☆精神保健福祉援助演習Ⅲ	1	4年	
	ソーシャルワーク実習指導	☆精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	3年	
		☆精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1	4年	
		☆精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1	4年	
ソーシャルワーク実習	☆精神保健福祉援助実習Ⅰ	3	4年		
	☆精神保健福祉援助実習Ⅱ	3	4年		

計 65 単位

(2) 選考

別表のうち、☆印のある科目には履修定員があり、履修者は選考により決定します。選考の方法、出願手続き等については、専攻のガイダンス及び掲示によりお知らせします。

(3) 出願要件等

選考に出願するためには次の1)~2)のすべての要件を満たしていなければなりません。

- 1) 精神保健福祉士関連科目のうち、☆印を付していない科目の単位を修得済みか修得見込みであること。
- 2) 社会福祉士関連科目の単位を修得済みか修得見込みであること。

8. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 (Ver.3.0)

8. 保育士関連科目の履修について

以下の保育士関連科目の単位を修得し卒業することにより、保育士の資格が得られます。保育士関連科目については、社会福祉子ども学科として30名の履修定員が設けられています。社会福祉学専攻の学生は10名程度の履修になります。

保育士の資格を取得するためには必修科目と選択科目があります。

保育士資格取得に係る関連科目は公欠の対象外です。

(1) 必修科目

下記別表第1の本学開講科目を70単位すべて修得しなければなりません。

注：☆の科目については履修定員があります。次頁「選考」を参照のこと。

(別表第1)

厚生労働省の告示による教科目			本学開講科目		
系 列	教科目	単位数	左に対応して開設されている授業科目	単位数	配当年次
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	保育原理	2	2
	教育原理	2	教育原理 (幼)	2	1
			教育行政 (幼)	2	2
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉論	2	1
	社会福祉	2	社会福祉の原理と政策 I	2	1
	子ども家庭支援論	2	家庭支援論	2	1
	社会的養護 I	2	社会的養護	2	2
保育者論	2	保育者論	2	1	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	保育の心理学 I	2	1
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	3
	子どもの理解と援助	1	保育の心理学 II	2	1
	子どもの保健	2	☆子どもの保健	2	3
	子どもの食と栄養	2	☆子どもの食と栄養	4	3
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	保育・教育課程論	2	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	3
	保育内容演習	5	保育内容「健康」の指導法	2	2
			保育内容「人間関係」の指導法	2	2
			保育内容「環境」の指導法	2	2
			保育内容「言葉」の指導法	2	2
			保育内容「表現」の指導法 I	2	2
	保育内容「音楽表現」の指導法 I	2	1		
	保育内容の理解と方法	4	幼児と表現 (音楽表現) I	2	2
			幼児と表現 (造形表現) I	2	2
			幼児と表現 (身体表現)	2	2
	乳児保育 I	2	乳児保育 I	2	3
	乳児保育 II	1	乳児保育 II	2	3
	子どもの健康と安全	1	幼児と健康	2	2
	障害児保育	2	特別な教育・保育ニーズの理解とその支援	2	3
社会的養護 II	1	社会的養護内容	2	3	
子育て支援	1	保育相談支援	2	3	
保育実習	保育実習 I	4	☆保育実習 I A	2	3
			☆保育実習 I B	2	3
	保育実習指導 I	2	☆保育実習事前事後指導 I A	1	3
			☆保育実習事前事後指導 I B	1	3
総合演習	保育実践演習	2	☆保育・教職実践演習 (幼)	2	4
合 計		51		70	

8. 社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 (Ver.3.0)

(2) 選択科目

下記の別表第2の本学開講科目から選択必修科目の保育実習Ⅱ又はⅢの2単位及び保育実習事前事後指導ⅡまたはⅢの1単位計3単位を含み9単位以上を修得しなければなりません。(保育実習と保育実習事前事後指導は同じローマ数字のものを履修する必要があります。)

注：☆の科目については履修定員があります。下記の「選考」を参照のこと。

(別表第2 選択必修科目)

厚生労働省の告示による教科目		本学開講科目			
系 列	設置 単位数	左に対応して開設 されている授業科目	単位数	配当 年次	備 考
保育の本質・目的 に関する科目	15 以上	ソーシャルワークの 理論と方法Ⅰ	2	2	6単位以上 選択必修
保育の対象の理解 に関する科目		人間発達学	2	1	
		臨床心理学	2	1	
		心の健康	2	1	
保育の内容・方法 に関する科目		発達障害論	2	3	
		保育内容「表現」の指導法Ⅱ	2	2	
		幼児と表現(音楽表現)Ⅱ	2	3	
保育実習	2	☆保育実習Ⅱ	2	4	保育実習及び保育実 習事前事後指導につ いてⅡ又はⅢを選択 必修
		☆保育実習Ⅲ	2	4	
	1	☆保育実習事前事後指導Ⅱ	1	4	
		☆保育実習事前事後指導Ⅲ	1	4	
合 計	18以上		22		

(3) 教養科目

別表第1、別表第2の他に、下記の本学開講科目の単位を修得しなければなりません。

厚生労働省の 告示による教科目	設置 単位数	本学開講科目	履修 単位数
外国語、体育以外の科目	6以上	下記以外の教養科目	6以上
外国語	2以上	英語Ⅰ～Ⅳ、英語演習A～D、中国語Ⅰ～Ⅱ、ロシア語Ⅰ～Ⅱ、フランス語Ⅰ～Ⅱ、スペイン語Ⅰ～Ⅱ、海外英語研修	2以上
体育に関する講義	1	スポーツと人間	2
体育に関する実技	1	スポーツ実技Ⅰ・Ⅱ	1以上
合 計	10以上		11以上

[選考]

別表第1、別表第2のうち、☆印のある科目には履修定員があり、履修者は選考により決定します。選考の方法、出願手続き等については、学科・専攻ガイダンス及び掲示によりお知らせします。

[出願要件]

選考に出願するためには、1年次後期終了時までに次に掲げる科目を修得済みか修得見込みでなければなりません。

教育原理(幼)	2単位
保育者論	2単位
保育の心理学Ⅰ	2単位
保育の心理学Ⅱ	2単位
子ども家庭福祉論	2単位

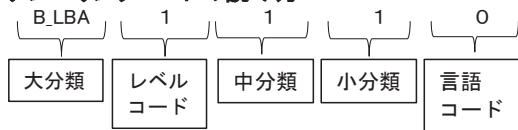
社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻カリキュラム Ver.3.0(2025年度以降入学生)

区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
共通科目	リテラシー	必修 英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ演習	英語Ⅲ 英語Ⅳ			
	人文社会科学	選択 哲学 倫理学 宗教学 文学A 文学B 歴史学A 歴史学B 文化人類学 民俗学 法学(日本国憲法を含む) 政治学 経済学 社会学 教育学 心理学				
	自然科学	選択 コンピュータ科学入門 基本統計学 科学史 数理学 物質の科学 物理学 化学 生物学 自然科学実験 物理学実験 化学実験 生物学実験				
	言語・表現・運動	選択 英語演習A 英語演習B 英語演習C 英語演習D 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 手話 日本語表現法 人間関係とコミュニケーション 海外英語研修 芸術活動A 芸術活動B 社会参加活動 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツと人間				
	総合力養成	選択	総合文化研究A 総合文化研究B 総合文化研究C 国際関係研究 国際協力研究 地球環境論 埼玉研究			
	人間性涵養	選択	比較文化研究 生命の意味 生命倫理の諸問題 人間関係論 人間の探求			
	※	選択	教養ゼミナール			
	初年次科目	必修	スタートアップセミナー			
	IPE科目	必修	ヒューマンケア論 ヒューマンケア体験実習	IPW論	IPW演習	IPW実習
	専門科目	専門基礎科目	必修		保健福祉統計	
		選択	栄養学概論 人間発達学 臨床心理学 認知行動科学 リハビリテーション医学概論 カウンセリング技法 家庭支援論 心の健康 救命救急法とファーストエイド 医学概論 生理学 解剖学	精神医学 精神医学概論 小児科学 衛生学・公衆衛生学 内科学 老年医学		
社会福祉基幹		必修	ソーシャルワーク概論Ⅰ ソーシャルワーク概論Ⅱ 子ども家庭福祉論 社会福祉の原理と政策Ⅰ	障害者福祉論 高齢者福祉論 社会調査の基礎 社会福祉の原理と政策Ⅱ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		
		選択		社会保障論Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ 福祉サービスの組織と経営 公的扶助論	社会保障論Ⅱ 医療福祉論 司法福祉論 ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 権利擁護を支える法制度	
共生社会		選択		福祉社会特講Ⅲ ケアと環境Ⅰ ケアと環境Ⅱ ケアと環境Ⅲ	ソーシャルワーク特論Ⅰ ソーシャルワーク特論Ⅱ ソーシャルワーク特論Ⅲ ソーシャルワーク特論Ⅳ 福祉社会特講Ⅰ 福祉社会特講Ⅱ 福祉社会特講Ⅳ ケアと環境Ⅳ	
精神保健福祉		選択		精神医学Ⅱ 精神保健福祉の原理Ⅰ 精神保健福祉の原理Ⅱ 精神障害リハビリテーション論 精神保健福祉制度論	精神保健学 ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅲ ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅳ	
子ども学		選択	保育者論 教育原理(幼) 保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ 保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	保育原理 教育行政(幼) 保育・教育課程論 社会的養護 保育内容「健康」の指導法 保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法 保育内容「言葉」の指導法 保育内容「表現」の指導法Ⅰ 保育内容「表現」の指導法Ⅱ 幼児と健康 幼児と表現(音楽表現)Ⅰ 幼児と表現(造形表現)Ⅰ 幼児と表現(身体表現)	特別な教育・保育ニーズの理解とその支援 子ども家庭支援の心理学 発達障害論 保育相談支援 社会的養護内容 子どもの保健 子どもの食と栄養 保育内容総論 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 幼児と表現(音楽表現)Ⅱ 幼児と表現(造形表現)Ⅱ	
実習・演習		必修	社会福祉演習 ソーシャルワーク演習Ⅰ	ソーシャルワーク演習Ⅱ		
		選択		ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅲ	ソーシャルワーク実習Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ 共生社会実習Ⅰ 共生社会実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅳ 保育・教職実践演習(幼) 保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習事前事後指導ⅠA 保育実習事前事後指導ⅠB 保育実習事前事後指導Ⅱ 保育実習事前事後指導Ⅲ	共生社会実習Ⅲ 共生社会実習Ⅳ 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 精神保健福祉援助演習Ⅲ 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習事前事後指導Ⅱ 保育実習事前事後指導Ⅲ
社会福祉研究		必修	社会福祉演習 ソーシャルワーク演習Ⅰ	ソーシャルワーク演習Ⅱ	社会福祉専門演習Ⅰ 社会福祉専門演習Ⅱ	社会福祉専門演習Ⅲ 社会福祉専門演習Ⅳ 卒業研究

ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。履修登録等の際にカリキュラムマップと合わせて参照してください。

ナンバリングコードの読み方



ナンバリングコード表

大分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(社会福祉)
大分類	B_LBA	B_FYE	B_IPE	B_SSW

レベルコード

レベルコード	
1	1年次より履修可能な科目
2	2年次より履修可能な科目
3	3年次より履修可能な科目
4	4年次より履修可能な科目

中分類・小分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(社会福祉)	
中分類	0	-	-	専門基盤科目	
	1	リテラシー	全科目	社会福祉基幹	
	2	人文社会科学	-	演習	共生社会
	3	自然科学	-	実習	精神保健福祉
	4	言語・表現・運動	-	-	子ども学
	5	総合力養成	-	-	実習・実習指導
	6	人間性涵養	-	-	社会福祉・ソーシャルワーク演習
	7	教養ゼミナール	-	-	社会福祉研究
	8	-	-	-	-
	9	-	-	-	その他
	限定科目	A	-	-	精神保健福祉士課程限定
		B	-	-	保育士課程限定
		C	-	-	-
		D	-	-	-
		E	-	-	-
F		-	-	-	
小分類	0	言語・文学	分類無しのためすべて「0」	分類無しのためすべて「0」	理論・思想
	1	哲学・倫理学・宗教学・歴史学・文化人類学・民俗学			制度・政策
	2	政治・経済・法学・社会学			実践技術・方法
	3	心理学・教育学			実践領域
	4	物理学			基礎
	5	化学			応用
	6	生物学			実習・実習指導
	7	情報科学			卒業研究
	8	複合・学際・国際関係			その他
	9	スポーツ・芸術・社会活動			-

言語コード

言語コード	
0	日本語
1	英語
2	日本語および英語
3	日本語および英語以外の外国語
4	-
5	-
6	-
7	-
8	-
9	その他言語

社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻 開設科目と配当年次 (Ver3.0)

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要授業科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
リテラシー	B_LBA1102	英語Ⅰ					○	◎	30	1		1					
	B_LBA1102	英語Ⅱ					○	◎	30	1		1					
	B_LBA2102	英語Ⅲ					○	◎	30	1			1				
	B_LBA2102	英語Ⅳ					○	◎	30	1			1				
	B_LBA1170	コンピュータ演習	○			◎	○		30	1		1					
人文社会科学	B_LBA1210	哲学			◎	○			30		2	2	※	※	※		主幹階層の3領域（「人文社会科学」、「自然科学」、「言語・表現・運動」）から各2単位以上選択計6単位以上選択 ※授業科目の名称の末尾に「*」が付記されている科目の講義内容については、シラバス及び時間割を確認すること。
	B_LBA1210	倫理学		◎	○				30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	宗教学		◎	○			○	30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1200	文学A*		◎	○				30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1200	文学B*		◎	○				30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	歴史学A*		○	◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	歴史学B*		○	◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	文化人類学		○	○			◎	30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	民俗学		○	◎			○	30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1220	法学（日本国憲法を含む）		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1220	政治学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1220	経済学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1220	社会学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1230	教育学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1230	心理学		◎	○	○			30		2	2	※	※	※		
自然科学	B_LBA1370	コンピュータ科学入門			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1370	基本統計学			○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	科学史			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	数理科学			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	物質の科学			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1340	物理学			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1350	化学			○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1360	生物学			◎				30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	自然科学実験			◎	○			30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1340	物理学実験			◎	○			45		1	1	※	※	※		
B_LBA1350	化学実験			○	◎			45		1	1	※	※	※			
B_LBA1360	生物学実験			◎				45		1	1	※	※	※			
言語・表現・運動	B_LBA1402	英語演習A					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1402	英語演習B					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1402	英語演習C					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1402	英語演習D					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	中国語Ⅰ					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	中国語Ⅱ					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	コリア語Ⅰ					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	コリア語Ⅱ					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	フランス語Ⅰ					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	フランス語Ⅱ					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	スペイン語Ⅰ					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1403	スペイン語Ⅱ					○	◎	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1400	手話				◎			30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1400	日本語表現法			○		◎		30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1430	人間関係とコミュニケーション		○		○	◎		30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1402	海外英語研修					○	◎	30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1490	芸術活動A*				○	◎		30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1490	芸術活動B*				◎	○		30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1490	社会参加活動		○			◎	○	30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1490	スポーツ実技Ⅰ					◎	○	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490	スポーツ実技Ⅱ					◎	○	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490	スポーツと人間					◎	○	30		2	2	※	※	※			

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考		
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	教養科目	発展階層	総合力養成	B_LBA2580	総合文化研究A*	○		◎		○	15	1		1	※	※	発展階層の2領域 （「総合力養成」、 「人間性涵養」）か ら各1単位以上選択 計4単位以上選択 ※ただし教養ゼミ ナールはどちらの領 域にも適用可とする。 ※授業科目の名称の 末尾に「*」が付記 されているの科目の 講義内容については、 シラバス及び時間割 を確認すること。	
				B_LBA2580	総合文化研究B*	○		○		◎	15	1		1	※	※		
				B_LBA2580	総合文化研究C*	○		○		◎	15	1		1	※	※		
				B_LBA2580	国際関係研究	○		○		◎	15	1		1	※	※		
				B_LBA2580	国際協力研究					○	◎	15	1		1	※		※
				B_LBA2580	地球環境論		○	○			◎	15	1		1	※		※
		B_LBA2580	埼玉研究				◎		○	15	1		1	※	※			
		人間性涵養	B_LBA2680	比較文化研究		◎				○	15	1		1	※	※		
			B_LBA2680	生命の意味			◎				15	1		1	※	※		
			B_LBA2680	生命倫理の諸問題		◎	○				15	1		1	※	※		
	B_LBA2680		人間関係論		◎	○				15	1		1	※	※			
	※	B_LBA2680	人間の探求			◎	○	○		15	1		1	※	※			
	B_LBA2780	教養ゼミナール*			◎	○		○	30	2		2	※	※				
	初年次科目	B_FYE1100	スタートアップセミナー	○				◎		30	2		2					
I P E 科 目	B_IPE1100	ヒューマンケア論	○	○			◎		30	2		2						
	B_IPE1300	ヒューマンケア体験実習	○	○			◎		45	1		1						
	B_IPE2100	I P W論	○	○			◎		15	1			1					
	B_IPE3200	I P W演習	○	○			◎		15	1				1				
	B_IPE4300	I P W実習	○	○			◎		45	1				1				
専門科目	専門基盤科目	B_SSW1080	栄養学概論			◎			15	1	1				「精神医学」「精神医学概論」は、 どちらか一方の科 目のみ履修するこ とができる。			
		B_SSW1080	人間発達学		◎	○			30	2	2							
		B_SSW1080	臨床心理学		◎	○	○			30	2	2						
		B_SSW1080	認知行動科学		◎		○			15	1	1						
		B_SSW1080	リハビリテーション医学概論		○	○	◎	○		15	1	1						
		B_SSW2080	精神医学		◎		○			30	2		2					
		B_SSW2080	精神医学概論		◎		○			15	1		1					
		B_SSW2080	小児科学		◎		○			15	1		1					
		B_SSW1080	カウンセリング技法		◎			○		30	1	1						
		B_SSW1080	家庭支援論		○		◎			30	2	2						
		B_SSW1080	心の健康		◎	○				30	2	2						
		B_SSW1080	救命救急法とファーストエイド		◎	○				15	1	1						
		B_SSW2080	衛生学・公衆衛生学			○	◎			30	2		2					
		B_SSW2080	保健福祉統計	○		◎	○			15	1			1				
		B_SSW1080	医学概論		◎	○				30	2	2						
		B_SSW1080	生理学		○	◎				30	2	2						
		B_SSW1080	解剖学		◎					30	2	2						
		B_SSW2080	内科学			○	◎			30	2		2					
	B_SSW2080	老年医学			○	◎			15	1		1						
	社会福祉学専門科目	社会福祉基幹	B_SSW1100	社会福祉の原理と政策 I	○		◎	○		30	2		2					
			B_SSW2110	社会福祉の原理と政策 II	○		◎	○	○	30	2			2				
			B_SSW2120	社会調査の基礎			◎	○			30	2			2			
			B_SSW1120	ソーシャルワーク概論 I	○	◎	○	○			30	2		2				
			B_SSW1120	ソーシャルワーク概論 II	○	◎	○	○			30	2		2				
			B_SSW2120	ソーシャルワークの理論と方法 I	○	○		◎	○		30	2		2				
			B_SSW2120	ソーシャルワークの理論と方法 II	○	○		◎	○		30	2		2				
B_SSW3120			ソーシャルワークの理論と方法(専門) I	○		◎	○			30	2			2				
B_SSW3120			ソーシャルワークの理論と方法(専門) II	○		◎	○			30	2			2				
B_SSW3110			地域福祉と包括的支援体制 I	○	◎			○		30	2			2				
B_SSW3130			地域福祉と包括的支援体制 II	○	◎			○		30	2			2				
B_SSW2120			福祉サービスの組織と経営	○	◎					30	2		2					
B_SSW2110			社会保障論 I			◎		○		30	2		2					
B_SSW3110			社会保障論 II			◎		○		30	2		2	2				
B_SSW2130			高齢者福祉論	○	○	○	◎			30	2			2				
B_SSW2130			障害者福祉論	○	○		◎	○		30	2			2				
B_SSW1130			子ども家庭福祉論	○	◎		○	○		30	2		2					
B_SSW2130			公的扶助論		○		◎		○	30	2		2					
B_SSW3130	医療福祉論		◎		○	○		30	2			2						
B_SSW3130	権利擁護を支える法制度		○	◎				30	2			2						
B_SSW3130	司法福祉論		○		◎			30	2			2						

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
共生社会	B_SSW3210	福祉社会特講 I			◎	○		○	30		2			2	※		
	B_SSW3230	福祉社会特講 II			◎	○			30		2			2	※		
	B_SSW2200	福祉社会特講 III			○	○	◎		30		2		2	※	※		
	B_SSW3230	福祉社会特講 IV	○	○	○			◎	30		2			2	※		
	B_SSW3220	ソーシャルワーク特論 I		○		◎	○		30		2			2	※		
	B_SSW3220	ソーシャルワーク特論 II							30		2				2	※	
	B_SSW3230	ソーシャルワーク特論 III			○	◎	○		30		2			2	※		
	B_SSW3220	ソーシャルワーク特論 IV		◎		○	○		30		2			2	※		
	B_SSW2230	ケアと環境 I			○	◎	○		30		2		2	※	※		
	B_SSW2230	ケアと環境 II			○	◎	○		30		2		2	※	※		
	B_SSW2230	ケアと環境 III				◎	○		30		2		2	※	※		
B_SSW3230	ケアと環境 IV				○	◎		30		2			2	※			
精神保健福祉	B_SSW2380	精神医学 II		◎	○	○			30		2		2				
	B_SSW3380	精神保健学				◎	○	○	30		2			2			
	B_SSW2310	精神保健福祉の原理 I		◎	○			○	30		2		2				
	B_SSW2320	精神保健福祉の原理 II		○	○	◎			30		2		2				
	B_SSW3390	ソーシャルワークの理論と方法(専門) III		◎			○	○	30		2			2			
	B_SSW3310	ソーシャルワークの理論と方法(専門) IV		○		◎	○		30		2			2			
	B_SSW2320	精神障害リハビリテーション論		○		◎	○		30		2		2				
B_SSW2330	精神保健福祉制度論		◎	○	○			30		2		2					
社会福祉学専門科目	B_SSW1400	保育者論				◎	○		30		2	2					
	B_SSW1400	教育原理(幼)			◎	○			30		2	2					
	B_SSW2400	保育原理		○	◎				30		2		2				
	B_SSW1400	保育の心理学 I		◎		○			30		2	2					
	B_SSW1400	保育の心理学 II		◎		○			30		2	2					
	B_SSW3420	特別な教育・保育ニーズの理解とその支援		○		◎			30		2			2			
	B_SSW3400	子ども家庭支援の心理学				○		◎	30		2			2			
	B_SSW3400	発達障害論				○	◎		30		2			2			
	B_SSW2410	教育行政(幼)		○	◎				30		2		2				
	B_SSW2400	保育・教育課程論		○		◎			30		2		2				
	B_SSW3420	保育相談支援				◎	○		30		2			2			
	B_SSW2410	社会的養護			◎	○			30		2		2				
	B_SSW3420	社会的養護内容		○		◎			30		2			2			
	B_SSW3420	子どもの保健		○		◎			30		2			2			
	B_SSW3420	子どもの食と栄養		◎		○			60		4			4			
	B_SSW3420	保育内容総論			○	◎			30		2			2			
	B_SSW2420	保育内容「健康」の指導演法			◎	○			30		2		2				
	B_SSW2420	保育内容「人間関係」の指導演法		○	◎				30		2		2				
	B_SSW2420	保育内容「環境」の指導演法				○	◎		30		2		2				
	B_SSW2420	保育内容「言葉」の指導演法			○	◎			30		2		2				
	B_SSW2420	保育内容「表現」の指導演法 I		○		◎			30		2		2				
	B_SSW2420	保育内容「表現」の指導演法 II			○	◎			30		2		2				
	B_SSW1420	保育内容「音楽表現」の指導演法 I							30		2	2					
	B_SSW3420	乳児保育 I		○		◎			30		2			2			
	B_SSW3420	乳児保育 II		○		◎			30		2			2			
	B_SSW2420	幼児と健康			◎	○			30		2		2				
	B_SSW2420	幼児と表現(音楽表現) I		○		◎			30		2		2				
	B_SSW3420	幼児と表現(音楽表現) II			◎	○			30		2			2			
	B_SSW2420	幼児と表現(造形表現) I			◎	○			30		2		2				
	B_SSW3420	幼児と表現(造形表現) II		○		◎			30		2			2			
	B_SSW2420	幼児と表現(身体表現)		○		◎			30		2		2				
	実習・演習	B_SSW2560	ソーシャルワーク実習 I		○		◎	○		120		4		4			
		B_SSW3560	ソーシャルワーク実習 II		○		○	◎		60		2			2		
B_SSW3560		ソーシャルワーク実習 III		○		○	◎		60		2			2			

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
	B_SSW2560	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		○		◎	○		30		1		1			
	B_SSW3560	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		○		○	◎		30		1			1		
	B_SSW3560	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		○			◎	○	30		1				1	
	B_SSW1620	社会福祉演習	○	◎	○		○		30	1		1				
	B_SSW1620	ソーシャルワーク演習Ⅰ	○		◎	○	○		30	1		1				
	B_SSW2620	ソーシャルワーク演習Ⅱ	○	○	○	◎			30	1			1			
	B_SSW2620	ソーシャルワーク演習Ⅲ	○	○		○	◎		30		1		1			
	B_SSW3620	ソーシャルワーク演習Ⅳ	○			○	○	◎	30		1				1	
	B_SSW3560	共生社会実習Ⅰ		○		◎			45		1			1		
	B_SSW3560	共生社会実習Ⅱ		○		◎			45		1			1		
	B_SSW4560	共生社会実習Ⅲ		○		◎			45		1				1	
	B_SSW4560	共生社会実習Ⅳ		○		◎			45		1				1	
	B_SSW4A60	精神保健福祉援助実習Ⅰ		○	○		◎		90		3					3
	B_SSW4A60	精神保健福祉援助実習Ⅱ		○	○	○	◎		90		3					3
	B_SSW3A60	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		◎	○	○			30		1			1		
	B_SSW4A60	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ			○	◎	○		30		1				1	
	B_SSW4A60	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ			○	○	◎		30		1				1	
	B_SSW3A20	精神保健福祉援助演習Ⅰ			◎		○	○	30		1				1	
	B_SSW4A20	精神保健福祉援助演習Ⅱ				○	◎	○	30		1				1	
	B_SSW4A20	精神保健福祉援助演習Ⅲ			◎		○	○	30		1				1	
	B_SSW4B20	保育・教職実践演習(幼)					○	◎	30		2					2
	B_SSW3B60	保育実習ⅠA		○		◎			90		2				2	
	B_SSW3B60	保育実習ⅠB		○		◎			90		2				2	
	B_SSW3B60	保育実習事前事後指導ⅠA		○		◎			15		1			1		
	B_SSW3B60	保育実習事前事後指導ⅠB		○		◎			15		1			1		
	B_SSW4B60	保育実習Ⅱ		◎		○			90		2					2
	B_SSW4B60	保育実習Ⅲ		◎		○			90		2					2
	B_SSW4B60	保育実習事前事後指導Ⅱ		◎		○			15		1				1	
	B_SSW4B60	保育実習事前事後指導Ⅲ		◎		○			15		1				1	
社会福祉 研究	B_SSW3740	社会福祉専門演習Ⅰ	○		◎	○			30	2					2	
	B_SSW3740	社会福祉専門演習Ⅱ	○		◎	○			30	2					2	
	B_SSW4750	社会福祉専門演習Ⅲ	○		◎	○			30	2					2	
	B_SSW4750	社会福祉専門演習Ⅳ	○		◎	○			30	2					2	
	B_SSW4770	卒業研究	○		◎	○			—	4						4
卒業要件 (単位数)		区分								必修	選択			計		
	共通科目	教養科目								5	20以上			25以上		
		初年次科目								2	—			2		
		IPE科目								6	—			6		
	専門科目	専門基盤科目								1	61以上			95以上		
社会福祉学専門科目								33								
		計							47	81以上			128以上			

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.2.0)

9-1 福祉子ども学専攻 Ver. 2.0 (2021年度～2024年度入学生)

1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

本学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科 (福祉子ども学専攻) は、子どもと家族の健康と生活を統合的に支え、社会に貢献できる人材を育成するために所定の課程を修め、単位取得等の条件を充たしたうえで、次のような目標を達成した者に学位を授与します。

1. 教育・保育の分野において重要である、子どもや家族の多角的な理解ができるとともに、高い倫理観を備えていること。
2. 教育・保育の専門職者を目指すものとして、客観的かつ批判的な思考 (critical thinking) を身に付けていること。
3. 様々な育ちや社会的背景のある子どもや家族を支援するために、様々な課題に対応することができる専門的かつ総合的な視点を備えていること。
4. 多様な人々とコミュニケーションを図りながら連携し、子どもと家族の健康と生活を統合的に支える活動に取り組めること。
5. 多文化を背景にする子どもと家族の生活を理解し、地域生活における諸問題への持続的な取り組みができること。

2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

本専攻では、本学の学位授与方針に基づいた専攻学位授与方針にて掲げる目標を達成するために必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目を科目間の関連や科目内容の難易度を表現する番号 (ナンバリング) にて標示し、教育課程の構造を体系図 (カリキュラム・マップ) としてわかりやすく明示します。

1: 科目編成の指針

「福祉子ども学専門科目」は、以下に示すとおり「社会福祉」と「子ども学」「実習」「子ども学研究」で構成します。

- ①「社会福祉」は、社会保障及び社会福祉の基礎知識、ソーシャルワークの理念・理論・方法、社会福祉の対象別・分野別の制度と福祉実践を学ぶ。
- ②「子ども学」は、乳幼児～児童期・青年期の発達や子育てをめぐる家庭福祉領域の諸課題の理解と解決、子育て支援に関する具体的実践手法を学ぶ科目とし、幼稚園教諭一種免許と保育士資格取得に向けた科目を配置する。主体的な学び・学びの充実を保障する観点から、必修科目のほか選択科目を置く。
- ③「実習」は、保育現場における実習科目と実習事前事後の学内における指導科目とする。学内指導と学外実習を有機的に結びつけ、実習準備から実習、振り返りを一貫的に行えるようにする。幼稚園教諭一種免許と保育士資格取得に向けた必修と選択の科目を配置する。
- ④「子ども学研究」は、「保育・教職実践演習」および「卒業研究」で構成する。「保育・教職実践演習」では、4年間の学びの集大成として自らの保育者としての学びを点検して改善を図るものとします。「卒業研究」は、専門職に必要な研究的態度と方法を身に付けることを目指すものである。

2: 教育方法の指針

- 1) 講義・演習・実習の科目ごとに、授業の形態や進め方についてシラバスを作成します。
- 2) 演習・実習科目だけでなく、必要に応じて講義科目にアクティブ・ラーニングを取り入れ、学生の能動的・主体的な学修を促します。
- 3) テキスト・参考書の他に、視聴覚教材の開発によって学生の学修を支援します。
- 4) 1年次～4年次各学年 (20名) ごとに指導教員1名を配置します。さらに、3年次後期からは、指導教員1名に対して学生3名程度を上限とし、細やかな履修指導や学習支援を行います。

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.2.0)

3: 教育評価の指針

- 1) あらかじめシラバスに示した成績の評価方法にしたがい、公正かつ厳格な成績評価を行います。
- 2) 実習については、あらかじめシラバス等で示した評価方法にしたがい、実習施設の実習指導者による評価を踏まえ、複数の教員による評価を行います。
- 3) 卒業研究については、主査と副査を置き、公正性を担保して評価を行います。

3. 卒業単位

福祉子ども学専攻における卒業に必要な修得単位は128単位であり、内容は以下のとおりです。なお、各種の資格取得に必要な単位ではありませんので注意してください。

区分		必修	選択	計
共通科目	教養科目	11	14以上	25以上
	初年次科目	2	—	2
	IPE科目	6	—	6
専門科目	専門基盤科目	—	16以上	95以上
	福祉子ども学専門科目	79		
計		98	30以上	128以上

なお、福祉子ども学専攻の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は77ページ～79ページの一覧表のとおりです。

4. 先修条件

1. 教養科目について

自然科学実験を除く実験科目（物理学実験、化学実験、生物学実験）の履修は、関連する科目（物理学、化学、生物学）の単位を修得済み、または修得見込みであること。ただし、令和6年度以降の入学生については、上記実験科目の科目責任者が履修を認める場合は、先修条件が免除される。

なお、単位修得見込みとは、単位修得のための受験資格を得ていることをいう。（以下の先修条件でも同じ）

2. 福祉子ども学専門科目について

1) <教育実習（幼）>

「教育実習（幼）Ⅱ」を履修するには、「教育実習（幼）Ⅰ」の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。

また「教育実習（幼）Ⅰ」「教育実習（幼）Ⅱ」を履修するには、実習配当年次までの専攻必修科目を全科目履修済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。

2) <保育実習>

保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲを履修するには、保育実習ⅠAおよび保育実習ⅠBの単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。

3) 社会福祉士国家試験受験資格取得を希望する場合

ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・ソーシャルワーク実習Ⅰ・ソーシャルワーク実習Ⅱ・ソーシャルワーク実習Ⅲを履修するには、社会福祉の原理と政策Ⅰ、ソーシャルワーク概論Ⅰ、ソーシャルワーク概論Ⅱ、社会福祉演習、ソーシャルワーク演習Ⅰの単位を修得済みであること。ただし単位修得見込みでも履修を認める。

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.2.0)

5. 幼稚園教諭一種免許科目の履修について

福祉子ども学専攻では、幼稚園の教育職員免許状（教員免許状）を取得することが卒業要件になっています。教員免許状の取得のためには1年次前期から開講している指定の科目を履修する必要があります。

履修すべき科目には、特定の教養科目が含まれています。また、専門基盤科目の中にも履修すべき科目が含まれています。履修が必要な科目及び以下の項目をよく理解し、学修計画を立てることが必要です。

(1) 教員免許状の授与制度

教員免許状は、大学で修得した単位に関する証明をもって、卒業後、都道府県の教育委員会に申請し（本学では事務局でまとめて一括申請する）、教育職員免許法及び同法施行規則に定められた科目の単位を、すべて修得していることが認められた場合に、都道府県教育委員会から授与されます。

(2) 必要最低単位数

教員免許状を取得するためには、以下の表に従って、必要な科目の単位を修得しなければなりません。

区分等	必要最低単位数	注意事項
教養科目	9	次の①から⑤の教養科目を履修する必要があります。1年次に配当されていますので、2年次以降の履修が難しい科目については、1年次に単位を修得するよう心がけてください。 ①「法学(日本国憲法を含む)」(2単位) ②「スポーツ実技Ⅰ」・「スポーツ実技Ⅱ」のうち1単位 ③「スポーツと人間」(2単位) ④「英語Ⅰ」・「英語Ⅱ」(2単位) ⑤「コンピュータ科学入門」(2単位)
領域及び保育内容の指導法に関する科目—領域に関する専門的事項	16	(科目については次のページを参照してください。)
領域及び保育内容の指導法に関する科目—保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	22	(科目については次のページを参照してください。)
教育の基礎的理解に関する科目	10	(科目については次のページを参照してください。)
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	4	(科目については次のページを参照してください。)
教育実践に関する科目	7	(科目については次のページを参照してください。)
卒業要件	128	合計の履修単位数は、選択科目として履修する科目の単位数や科目数によって増加します。

(3) 履修上の注意

福祉子ども学専攻在籍学生は、一定の時期ごとに、履修カルテへの必要事項の記入、提出が必要となります。また、教育実習の履修にあたっては、履修要件を満たしていることを確認するための審査が行われます。詳しいことは、各種ガイダンス等で説明する予定です。

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.2.0)

(4) 幼稚園教諭一種免許状取得のための科目

施行規則に定める科目区分等			本学開講科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	左に対して開設されている授業科目名	単位数	専攻必修	配当年次
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	16	幼児と健康	2	◎	2
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	22	幼児と人間関係	2	◎	2
幼児と環境			2	◎	2	
幼児と言葉			2	◎	2	
幼児と表現(音楽表現)Ⅰ			2	◎	2	
幼児と表現(音楽表現)Ⅱ			2	◎	3	
幼児と表現(造形表現)Ⅰ			2	◎	2	
幼児と表現(造形表現)Ⅱ			2		3	
幼児と表現(身体表現)			2	◎	2	
保育内容総論			2	◎	3	
保育内容「健康」の指導法			2	◎	2	
保育内容「人間関係」の指導法			2	◎	2	
保育内容「環境」の指導法			2	◎	2	
保育内容「言葉」の指導法			2	◎	2	
保育内容「表現」の指導法Ⅰ	2	◎	2			
保育内容「表現」の指導法Ⅱ	2	◎	2			
保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	2	◎	1			
保育内容「音楽表現」の指導法Ⅱ	2	◎	3			
保育内容「造形表現」の指導法	2	◎	3			
保育内容「身体表現」の指導法	2	◎	3			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理(幼)	2	◎	1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者論	2	◎	1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政(幼)	2	◎	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学Ⅰ	2	◎	1
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		保育の心理学Ⅱ	2	◎	1
			発達障害論	2	◎	3
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		特別な教育・保育ニーズの理解とその支援	2	◎	3
保育・教育課程論	2	◎	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育方法論(幼)	2	◎	1
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解	2	◎	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		保育相談支援	2	◎	3
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習(幼)Ⅰ	2	◎	2
			教育実習(幼)Ⅱ	4	◎	4
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼）	2	◎	4

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.2.0)

6. 保育士関連科目の履修について

以下の保育士関連科目の単位を修得し卒業することにより、保育士の資格が得られます。保育士関連科目については、社会福祉子ども学科として30名の履修定員が設けられています。福祉子ども学専攻の学生は希望者すべて履修することができます。

保育士の資格を取得するためには必修科目と選択科目があります。

保育士資格取得に係る関連科目は公欠の対象外です。

(1) 必修科目

下記別表第1の本学開講科目を70単位すべて修得しなければなりません。

(別表第1)

厚生労働省の告示による教科目			本学開講科目			
系 列	教科目	単位数	左に対応して開設されている授業科目	単位数	専攻必修	配当年次
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	保育原理	2		2
	教育原理	2	教育原理(幼)	2	◎	1
			教育行政(幼)	2	◎	2
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉論	2	◎	1
	社会福祉	2	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	◎	1
	子ども家庭支援論	2	家庭支援論	2		1
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護	2		2
保育者論	2	保育者論	2	◎	1	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	保育の心理学Ⅰ	2	◎	1
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2		3
	子どもの理解と援助	1	保育の心理学Ⅱ	2	◎	1
	子どもの保健	2	子どもの保健	2		3
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	4		3
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	保育・教育課程論	2	◎	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	◎	3
	保育内容演習	5	保育内容「健康」の指導法	2	◎	2
			保育内容「人間関係」の指導法	2	◎	2
			保育内容「環境」の指導法	2	◎	2
			保育内容「言葉」の指導法	2	◎	2
			保育内容「表現」の指導法Ⅰ	2	◎	2
			保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	2	◎	1
	保育内容の理解と方法	4	幼児と表現(音楽表現)Ⅰ	2	◎	2
			幼児と表現(造形表現)Ⅰ	2	◎	2
			幼児と表現(身体表現)	2	◎	2
	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2		3
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	2		3
	子どもの健康と安全	1	幼児と健康	2	◎	2
	障害児保育	2	特別な教育・保育ニーズの理解とその支援	2	◎	3
社会的養護Ⅱ	1	社会的養護内容	2		3	
子育て支援	1	保育相談支援	2	◎	3	
保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習ⅠA	2		3
			保育実習ⅠB	2		3
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習事前事後指導ⅠA	1		3
			保育実習事前事後指導ⅠB	1		3
総合演習	保育実践演習	2	保育・教職実践演習(幼)	2	◎	4
合 計		51		70		

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.2.0)

(2) 選択科目

下記の別表第2の本学開講科目から選択必修科目の保育実習Ⅱ又はⅢの2単位及び保育実習事前事後指導ⅡまたはⅢの1単位計3単位を含み9単位以上を修得しなければなりません。(保育実習と保育実習事前事後指導は同じローマ数字のものを履修する必要があります。)

(別表第2 選択必修科目)

厚生労働省の告示による教科目		本学開講科目				備考
系 列	設置 単位数	左に対応して開設 されている授業科目	単位 数	専攻 必修	配当 年次	
保育の本質・目的 に関する科目	15 以上	ソーシャルワークの理論と 方法Ⅰ	2		2	6単位以上 選択必修
保育の対象の理解 に関する科目		人間発達学	2		1	
		臨床心理学	2		1	
保育の内容・方法 に関する科目		心の健康	2		1	
		発達障害論	2	◎	3	
		保育内容「表現」の指導法 Ⅱ	2	◎	2	
		幼児と表現(音楽表現)Ⅱ	2	◎	3	
保育実習	2	保育実習Ⅱ	2		4	保育実習及び保育実習 事前事後指導について Ⅱ又はⅢを選択必修
		保育実習Ⅲ	2		4	
	1	保育実習事前事後指導Ⅱ	1		4	
		保育実習事前事後指導Ⅲ	1		4	
合 計	18以上		22			

(3) 一般教養科目

別表第1、別表第2の他に、下記の本学開講科目の単位を修得しなければなりません。

厚生労働省の 告示による教科目	設置 単位数	本学開講科目	履修 単位数	専攻必修 ※
外国語、体育以外の科目	6以上	下記以外の教養科目	6以上	◎ (一部必修)
外国語	2以上	英語Ⅰ～Ⅳ(必修)、英語演習A～D、中国語Ⅰ～Ⅱ、韓国語Ⅰ～Ⅱ、フランス語Ⅰ～Ⅱ、スペイン語Ⅰ～Ⅱ、海外英語研修	2以上	◎ (一部必修)
体育に関する講義	1	スポーツと人間	2	◎
体育に関する実技	1	スポーツ実技Ⅰ・Ⅱ	1以上	○
合 計	10以上		11以上	

※ ◎は必修科目、○は選択必修科目を示す。

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.2.0)

7. 福祉子ども学専攻で社会福祉士の受験資格取得を希望する場合

福祉子ども学専攻の学生が、社会福祉士の受験資格取得を希望する場合、以下の表を参考に、必要科目の履修登録を行う必要があります。

ただし、履修が必要な科目の多くは、福祉子ども学専攻には配当されていないため、社会福祉学専攻で開設されている科目を他専攻履修することになります。

他専攻履修する場合は、通常の履修登録とは異なり、その科目の科目責任者の承認を得るとともに「他学科等科目履修申請書」を提出する必要があります。

なお、他専攻履修により修得した単位は、卒業に必要な単位数には算入されませんので注意してください。以下の社会福祉士関連科目の単位を修得することにより、社会福祉士国家試験受験資格が得られます。

科目を定める省令による指定科目	本学で開講している社会福祉士関連科目			
	対応教科目	単位数	配当年次	他専攻履修
医学概論	医学概論	2	1	
心理学と心理的支援	心理学	2	1~4	
社会学と社会システム	社会学	2	1~4	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	1	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	2	
社会福祉調査の基礎	社会調査の基礎	2	(2)	●
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワーク概論Ⅰ	2	1	
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワーク概論Ⅱ	2	(1)	●
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	(2)	●
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	2	(3)	●
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	2	(3)	●
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	(3)	●
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	(3)	●
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2	(2)	●
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	(2)	●
	社会保障論Ⅱ	2	(3)	●
高齢者福祉	高齢者福祉論	2	(2)	●
障害者福祉	障害者福祉論	2	2	
児童・家庭福祉	子ども家庭福祉論	2	1	
貧困に対する支援	公的扶助論	2	2	
保健医療と福祉	医療福祉論	2	(3)	●
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	(3)	●
刑事司法と福祉	司法福祉論	2	(3)	●
ソーシャルワーク演習	社会福祉演習	1	1	
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	(1)	●
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	1	(2)	●
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	1	(2)	●
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	1	(3)	●
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	(2)	●
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	(3)	●
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	(3)	●
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	4	(2)	●
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2	(3)	●
	ソーシャルワーク実習Ⅲ	2	(3)	●

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.2.0)

(1) 配当年次について

() で記載されているものは、社会福祉学専攻における配当年次です。

(2) 他専攻履修について

●のある科目を履修するには、科目責任者の承認を得るとともに「他学科等科目履修申請書」を提出する必要があります。

社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻カリキュラム Ver.2.0(2021年度～2024年度入学生)

区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
共通科目	リテラシー	必修 英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ演習	英語Ⅲ 英語Ⅳ			
	人文社会科学	必修	法学(日本国憲法を含む)			
		選択	哲学 倫理学 宗教学 文学A 文学B 歴史学A 歴史学B 文化人類学 民俗学 政治学 経済学 社会学 教育学 心理学			
	自然科学	必修	コンピュータ科学入門			
		選択	基本統計学 科学史 数理学 物質の科学 物理学 化学 生物学 自然科学実験 物理学実験 化学実験 生物学実験			
	言語・表現・運動	必修	スポーツと人間			
		選択	英語演習A 英語演習B 英語演習C 英語演習D 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 手話 日本語表現法 人間関係とコミュニケーション 海外英語研修 芸術活動A 芸術活動B 社会参加活動 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ			
	発展段階	総合力養成	選択	総合文化研究A 総合文化研究B 総合文化研究C 国際関係研究 国際協力研究 地球環境論 埼玉研究		
		人間性涵養※	選択	比較文化研究 生命の意味 生命倫理の諸問題 人間関係論 人間の探求		
	※	選択	教養ゼミナール			
初年次科目	必修	スタートアップセミナー				
IPE科目	必修	ヒューマンケア論 ヒューマンケア体験実習	IPW論	IPW演習	IPW実習	
専門科目	専門基礎科目	選択	人間発達学 臨床心理学 認知行動科学 リハビリテーション医学概論 医学概論 カウンセリング技法 家庭支援論 心の健康 救命救急法とファーストエイド	精神医学概論		
		必修	社会福祉演習 ソーシャルワーク概論Ⅰ 子ども家庭福祉論 社会福祉の原理と政策Ⅰ		発達障害論	
	社会福祉	選択		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ 公的扶助論 社会福祉の原理と政策Ⅱ 障害者福祉論		子ども家庭支援の心理学
		必修	保育者論 教育原理(幼) 保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ 教育方法論(幼) 保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	教育行政(幼) 保育・教育課程論 幼児理解 保育内容「健康」の指導法 保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法 保育内容「言葉」の指導法 保育内容「表現」の指導法Ⅰ 保育内容「表現」の指導法Ⅱ 幼児と健康 幼児と人間関係 幼児と環境 幼児と言葉 幼児と表現(音楽表現)Ⅰ 幼児と表現(造形表現)Ⅰ 幼児と表現(身体表現)	特別な教育・保育ニーズの理解とその支援 保育相談支援 保育内容総論 保育内容「音楽表現」の指導法Ⅱ 保育内容「造形表現」の指導法 保育内容「身体表現」の指導法 幼児と表現(音楽表現)Ⅱ	
	子ども学	選択		保育原理 社会的養護	社会的養護内容 子どもの保健 子どもの食と栄養 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 幼児と表現(造形表現)Ⅱ	
		必修		教育実習(幼)Ⅰ		教育実習(幼)Ⅱ
	実習	選択			保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習事前事後指導ⅠA 保育実習事前事後指導ⅠB	保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習事前事後指導Ⅱ 保育実習事前事後指導Ⅲ
		必修				保育・教職実践演習(幼) 卒業研究

ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。履修登録等の際にカリキュラムマップと合わせて参照してください。

ナンバリングコードの読み方



ナンバリングコード表

大分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(福祉子ども)
大分類	B_LBA	B_FYE	B_IPE	B_SCS

レベルコード

レベルコード	
1	1年次より履修可能な科目
2	2年次より履修可能な科目
3	3年次より履修可能な科目
4	4年次より履修可能な科目

中分類・小分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(福祉子ども)	
中分類	0	-	-	専門基盤科目	
	1	リテラシー	全科目	講義	領域に関する専門的事項
	2	人文社会科学	-	演習	保育内容の指導法
	3	自然科学	-	実習	教育の基礎的理解
	4	言語・表現・運動	-	-	教育方法と保育相談
	5	総合力養成	-	-	教育実践
	6	人間性涵養	-	-	子ども学研究
	7	教養ゼミナール	-	-	社会福祉・児童福祉
	8	-	-	-	-
	9	-	-	-	-
	限定科目	A	-	-	-
		B	-	-	-
		C	-	-	-
		D	-	-	-
		E	-	-	-
F		-	-	-	
小分類	0	言語・文学	分類無しのためすべて「0」	分類無しのためすべて「0」	-
	1	哲学・倫理学・宗教学・歴史学・文化人類学・民俗学			講義
	2	政治・経済・法学・社会学			演習
	3	心理学・教育学			実技
	4	物理学			実習
	5	化学			-
	6	生物学			-
	7	情報科学			-
	8	複合・学際・国際関係			-
	9	スポーツ・芸術・社会活動			-

言語コード

言語コード	
0	日本語
1	英語
2	日本語および英語
3	日本語および英語以外の外国語
4	-
5	-
6	-
7	-
8	-
9	その他言語

社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 開設科目と配当年次 (Ver.2.0)

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
共通科目 教養科目 主幹階層	リテラシー	B_LBA1102	英語 I				○	◎	30	1		1					
		B_LBA1102	英語 II				○	◎	30	1		1					
		B_LBA2102	英語 III				○	◎	30	1			1				
		B_LBA2102	英語 IV				○	◎	30	1			1				
		B_LBA1170	コンピュータ演習	○			◎	○	30	1		1					
	人文社会科学	B_LBA1210	哲学			◎	○			30		2	2	※	※	※	主幹階層の3領域 （「人文社会科学」、 「自然科学」、 「言語・表現・運動」）から 各2単位以上選択 計6単位以上選択 （ただし、必修科目 を除いた選択科目 から各2単位以上 選択すること） ※授業科目の名称 の末尾に「*」が付 記されているの科 目の講義内容につ いては、シラバス 及び時間割を確認 すること。
		B_LBA1210	倫理学		◎	○			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	宗教学		◎	○		○	30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1200	文学A*		◎	○			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1200	文学B*		◎	○			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	歴史学A*		○	◎	○		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	歴史学B*		○	◎	○		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	文化人類学		○	○			◎	30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1210	民俗学		○	◎			○	30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1220	法学（日本国憲法を含む）		○	○	◎			30	2		2	※	※	※	
		B_LBA1220	政治学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1220	経済学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1220	社会学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1230	教育学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1230	心理学		◎	○	○			30		2	2	※	※	※	
	自然科学	B_LBA1370	コンピュータ科学入門			◎	○			30	2		2	※	※	※	
		B_LBA1370	基本統計学			○	◎			30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1380	科学史			◎	○			30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1380	数理科学			◎	○			30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1380	物質の科学			◎	○			30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1340	物理学			◎	○			30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1350	化学			○	◎			30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1360	生物学			◎				30		2	2	※	※	※	
		B_LBA1380	自然科学実験			◎	○			30		1	1	※	※	※	
		B_LBA1340	物理学実験			◎	○			45		1	1	※	※	※	
	B_LBA1350	化学実験			○	◎			45		1	1	※	※	※		
	B_LBA1360	生物学実験			◎				45		1	1	※	※	※		
	言語・表現・運動	B_LBA1402	英語演習 A					○	◎	30		1	1	※	※	※	選択科目のうち 「スポーツ実技 I」、「スポーツ 実技II」から1単 位以上選択
		B_LBA1402	英語演習 B					○	◎	30		1	1	※	※	※	
		B_LBA1402	英語演習 C					○	◎	30		1	1	※	※	※	
		B_LBA1402	英語演習 D					○	◎	30		1	1	※	※	※	
		B_LBA1403	中国語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※	※授業科目の名称 の末尾に「*」が付 記されているの科 目の講義内容につ いては、シラバス 及び時間割を確認 すること。
		B_LBA1403	中国語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※	
		B_LBA1403	コリア語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※	
		B_LBA1403	コリア語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※	
B_LBA1403		フランス語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1403		フランス語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1403		スペイン語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1403		スペイン語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1400		手話					◎		30		1	1	※	※	※		
B_LBA1400		日本語表現法			○		◎		30		2	2	※	※	※		
B_LBA1430		人間関係とコミュニケーション		○		○	◎		30		2	2	※	※	※		
B_LBA1402		海外英語研修					○	◎	30		2	2	※	※	※		
B_LBA1490		芸術活動 A*				○	◎		30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490		芸術活動 B*				◎	○		30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490		社会参加活動		○			◎	○	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490		スポーツ実技 I					◎	○	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490	スポーツ実技 II					◎	○	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490	スポーツと人間					◎	○	30	2		2	※	※	※			

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目／領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
共通科目	教養科目	発展階層	B_LBA2580	総合文化研究A*		○		◎		○	15	1		1	※	※	発展階層の2領域 （「総合力養成」、 「人間性涵養」）か ら各1単位以上選択 計4単位以上選択 ※ただし教養ゼミ ナールはどちらの領 域にも適用可とする。 ※授業科目の名称の 末尾に「*」が付記 されている科目の 講義内容について は、シラバス及び時 間割を確認すること。
			B_LBA2580	総合文化研究B*		○		○		◎	15	1		1	※	※	
			B_LBA2580	総合文化研究C*		○		○		◎	15	1		1	※	※	
		B_LBA2580	国際関係研究		○		○		◎	15	1		1	※	※		
		B_LBA2580	国際協力研究					○	◎	15	1		1	※	※		
		B_LBA2580	地球環境論			○	○		◎	15	1		1	※	※		
	B_LBA2580	埼玉研究					◎		○	15	1		1	※	※		
	人間性涵養	B_LBA2680	比較文化研究		◎				○	15	1		1	※	※		
		B_LBA2680	生命の意味			◎	○			15	1		1	※	※		
		B_LBA2680	生命倫理の諸問題		◎	○	○			15	1		1	※	※		
		B_LBA2680	人間関係論		◎	○				15	1		1	※	※		
		B_LBA2680	人間の探求			◎	○	○		15	1		1	※	※		
		※	B_LBA2780	教養ゼミナール*			◎	○		○	30	2		2	※	※	
初年次科目		B_FYE1100	スタートアップセミナー		○				◎	30	2		2				
I P E 科目	B_IPE1100	ヒューマンケア論		○	○			◎	30	2		2					
	B_IPE1300	ヒューマンケア体験実習		○	○			◎	45	1		1					
	B_IPE2100	I P W論		○	○		○	◎	15	1			1				
	B_IPE3200	I P W演習		○	○		○	◎	15	1				1			
	B_IPE4300	I P W実習		○	○		○	◎	45	1				1			
専門基盤科目	B_SCS1010	人間発達学		○	◎	○			30		2	2					
	B_SCS1010	臨床心理学		○	◎	○	○	○	30		2	2					
	B_SCS1010	認知行動科学			◎		○		15		1	1					
	B_SCS1010	リハビリテーション医学概論		○	○	○	◎	○	15		1	1					
	B_SCS2010	精神医学概論		○	◎		○		15		1		1				
	B_SCS1010	医学概論		○	◎	○			30		2	2					
	B_SCS1030	カウンセリング技法			◎			○	30		1	1					
	B_SCS1010	家庭支援論		○	○		◎		30		2	2					
	B_SCS1010	心の健康		○	◎	○			30		2	2					
	B_SCS1010	救命救急法とファーストエイド			◎	○			15		1	1					
	専門科目	社会福祉	B_SCS1710	社会福祉の原理と政策 I		○		◎	○		30	2		2			
			B_SCS2710	社会福祉の原理と政策 II		○		◎	○	○	30		2		2		
			B_SCS1710	ソーシャルワーク概論 I		○	◎	○	○		30	2		2			
B_SCS2710			ソーシャルワークの理論と方法 I		○	○		◎	○	30		2		2			
B_SCS1720			社会福祉演習		○	◎	○		○	30	1		1				
B_SCS1710			子ども家庭福祉論		○	◎		○	○	30	2		2				
B_SCS2710			障害者福祉論		○	○		◎	○	30		2		2			
B_SCS2710			公的扶助論		○	○		◎	○	30		2		2			
B_SCS3710			子ども家庭支援の心理学		○		○		◎	30		2			2		
B_SCS3310			発達障害論		○			◎	○	30	2				2		
福祉子ども学専門科目		子ども学	B_SCS1310	保育者論		○			◎	○	30	2		2			
			B_SCS1310	教育原理 (幼)		○		◎	○		30	2		2			
			B_SCS2710	保育原理		○	○	◎			30		2		2		
			B_SCS1310	保育の心理学 I		○	◎		○		30	2		2			
			B_SCS1320	保育の心理学 II		○	◎		○		30	2		2			
			B_SCS3320	特別な教育・保育ニーズの理解とその支援		○	○		◎		30	2				2	
			B_SCS2310	教育行政 (幼)		○			○	◎	30	2			2		
			B_SCS2310	保育・教育課程論		○			○	◎	30	2			2		
			B_SCS1410	教育方法論 (幼)		○	○	◎			30	2		2			
			B_SCS2410	幼児理解		○	○		◎		30	2			2		
			B_SCS3420	保育相談支援		○			◎	○	30	2				2	
			B_SCS2710	社会的養護		○	◎		○		30		2		2		
			B_SCS3720	社会的養護内容		○	○		◎		30		2			2	
B_SCS3710	子どもの保健		○	○		◎		30		2			2				
B_SCS3720	子どもの食と栄養			◎		○		60		4			4				
B_SCS3220	保育内容総論		○		○	◎		30	2				2				
B_SCS2220	保育内容「健康」の指導法		○		◎	○		30	2			2					

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要授業科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考		
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次			
専門科目 福祉子ども学専門科目	子ども学	B_SCS2220	保育内容「人間関係」の指導法	○	○	◎			30	2			2					
		B_SCS2220	保育内容「環境」の指導法				○	◎	30	2			2					
		B_SCS2220	保育内容「言葉」の指導法	○		○	◎		30	2			2					
		B_SCS2220	保育内容「表現」の指導法Ⅰ		○		◎		30	2			2					
		B_SCS2220	保育内容「表現」の指導法Ⅱ	○		○	◎		30	2			2					
		B_SCS1220	保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	○		○	◎		30	2		2						
		B_SCS3220	保育内容「音楽表現」の指導法Ⅱ	○		○	◎		30	2					2			
		B_SCS3220	保育内容「造形表現」の指導法	○		◎		○	30	2					2			
		B_SCS3220	保育内容「身体表現」の指導法	○			○	◎	30	2					2			
		B_SCS3710	乳児保育Ⅰ	○	○		◎		30		2				2			
		B_SCS3720	乳児保育Ⅱ	○	○		◎		30		2				2			
		B_SCS2120	幼児と健康	○		◎	○		30	2			2					
		B_SCS2120	幼児と人間関係	○	○		◎		30	2			2					
		B_SCS2120	幼児と環境	○		◎	○		30	2			2					
		B_SCS2120	幼児と言葉	○		◎	○		30	2			2					
		B_SCS2120	幼児と表現(音楽表現)Ⅰ	○	○		◎		30	2			2					
		B_SCS3120	幼児と表現(音楽表現)Ⅱ	○	○		◎		30	2					2			
		B_SCS3120	幼児と表現(造形表現)Ⅰ	○	○	◎			30	2			2					
	B_SCS3120	幼児と表現(造形表現)Ⅱ	○	○	◎			30		2				2				
	B_SCS2120	幼児と表現(身体表現)	○		◎	○		30	2			2						
	実習	B_SCS2540	教育実習(幼)Ⅰ	○	○		◎		60	2			2					事前事後指導を含む
		B_SCS4540	教育実習(幼)Ⅱ	○	◎		○		120	4						4		事前事後指導を含む
		B_SCS3740	保育実習ⅠA	○	○		◎		90		2				2			
		B_SCS3740	保育実習ⅠB	○	○		◎		90		2				2			
		B_SCS3720	保育実習事前事後指導ⅠA	○	○		◎		30		1				1			
		B_SCS3720	保育実習事前事後指導ⅠB	○	○		◎		30		1				1			
		B_SCS4740	保育実習Ⅱ	○	◎		○		90		2						2	
		B_SCS4740	保育実習Ⅲ	○	◎		○		90		2						2	
B_SCS4720		保育実習事前事後指導Ⅱ	○	◎		○		30		1						1		
B_SCS4720		保育実習事前事後指導Ⅲ	○	◎		○		30		1						1		
子ども学研究	B_SCS4520	保育・教職実践演習(幼)	○			○	◎	30	2						2			
	B_SCS4620	卒業研究	○		○	◎		-	4						4			
卒業要件 (単位数)	区分								必修	選択	計							
	共通科目	教養科目							11	14以上	25以上							
		初年次科目							2	—	2							
		IPE科目							6	—	6							
	専門科目	専門基盤科目							—	16以上	95以上							
		福祉子ども学専門科目							79									
計								98	30以上	128以上								

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.3.0)

9-2 福祉子ども学専攻 Ver. 3.0 (2025年度以降入学生)

1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

本学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科 (福祉子ども学専攻) は、子どもと家族の健康と生活を統合的に支え、社会に貢献できる人材を育成するために所定の課程を修め、単位取得等の条件を充たしたうえで、次のような目標を達成した者に学位を授与します。

1. 教育・保育の分野において重要である、子どもや家族の多角的な理解ができるとともに、高い倫理観を備えていること。
2. 教育・保育の専門職者を目指すものとして、客観的かつ批判的な思考 (critical thinking) を身に付けていること。
3. 様々な育ちや社会的背景のある子どもや家族を支援するために、様々な課題に対応することができる専門的かつ総合的な視点を備えていること。
4. 多様な人々とコミュニケーションを図りながら連携し、子どもと家族の健康と生活を統合的に支える活動に取り組めること。
5. 多文化を背景にする子どもと家族の生活を理解し、地域生活における諸問題への持続的な取り組みができること。

2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

本専攻では、本学の学位授与方針に基づいた専攻学位授与方針にて掲げる目標を達成するために必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目を科目間の関連や科目内容の難易度を表現する番号 (ナンバリング) にて標示し、教育課程の構造を体系図 (カリキュラム・マップ) としてわかりやすく明示します。

1: 科目編成の指針

「福祉子ども学専門科目」は、以下に示すとおり「社会福祉」と「子ども学」「実習」「子ども学研究」で構成します。

- ①「社会福祉」は、社会保障及び社会福祉の基礎知識、ソーシャルワークの理念・理論・方法、社会福祉の対象別・分野別の制度と福祉実践を学ぶ。
- ②「子ども学」は、乳幼児～児童期・青年期の発達や子育てをめぐる家庭福祉領域の諸課題の理解と解決、子育て支援に関する具体的実践手法を学ぶ科目とし、幼稚園教諭一種免許と保育士資格取得に向けた科目を配置する。主体的な学び・学びの充実を保障する観点から、必修科目のほか選択科目を置く。
- ③「実習」は、保育現場における実習科目と実習事前事後の学内における指導科目とする。学内指導と学外実習を有機的に結びつけ、実習準備から実習、振り返りを一貫的に行えるようにする。幼稚園教諭一種免許と保育士資格取得に向けた必修と選択の科目を配置する。
- ④「子ども学研究」は、「保育・教職実践演習」および「卒業研究」で構成する。「保育・教職実践演習」では、4年間の学びの集大成として自らの保育者としての学びを点検して改善を図るものとします。「卒業研究」は、専門職に必要な研究的態度と方法を身に付けることを目指すものである。

2: 教育方法の指針

- 1) 講義・演習・実習の科目ごとに、授業の形態や進め方についてシラバスを作成します。
- 2) 演習・実習科目だけでなく、必要に応じて講義科目にアクティブ・ラーニングを取り入れ、学生の能動的・主体的な学修を促します。
- 3) テキスト・参考書の他に、視聴覚教材の開発によって学生の学修を支援します。
- 4) 1年次～4年次各学年 (20名) ごとに指導教員1名を配置します。さらに、3年次後期からは、指導教員1名に対して学生3名程度を上限とし、細やかな履修指導や学習支援を行います。

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.3.0)

3: 教育評価の指針

- 1) あらかじめシラバスに示した成績の評価方法にしたいが、公正かつ厳格な成績評価を行います。
- 2) 実習については、あらかじめシラバス等で示した評価方法にしたいが、実習施設の実習指導者による評価を踏まえ、複数の教員による評価を行います。
- 3) 卒業研究については、主査と副査を置き、公正性を担保して評価を行います。

3. 卒業単位

福祉子ども学専攻における卒業に必要な修得単位は128単位であり、内容は以下のとおりです。なお、各種の資格取得に必要な単位ではありませんので注意してください。

区分		必修	選択	計
共通科目	教養科目	11	14以上	25以上
	初年次科目	2	—	2
	IPE科目	6	—	6
専門科目	専門基盤科目	—	16以上	95以上
	福祉子ども学専門科目	79		
計		98	30以上	128以上

なお、福祉子ども学専攻の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は90ページ～92ページの一覧表のとおりです。

4. 先修条件

1. 教養科目について

自然科学実験を除く実験科目（物理学実験、化学実験、生物学実験）の履修は、関連する科目（物理学、化学、生物学）の単位を修得済み、または修得見込みであること。ただし、令和6年度以降の入学生については、上記実験科目の科目責任者が履修を認める場合は、先修条件が免除される。

なお、単位修得見込みとは、単位修得のための受験資格を得ていることをいう。（以下の先修条件でも同じ）

2. 福祉子ども学専門科目について

1) <教育実習（幼）>

「教育実習（幼）Ⅱ」を履修するには、「教育実習（幼）Ⅰ」の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。

また「教育実習（幼）Ⅰ」「教育実習（幼）Ⅱ」を履修するには、実習配当年次までの専攻必修科目を全科目履修済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。

2) <保育実習>

保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲを履修するには、保育実習ⅠAおよび保育実習ⅠBの単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。

3) 社会福祉士国家試験受験資格取得を希望する場合

ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・ソーシャルワーク実習Ⅰ・ソーシャルワーク実習Ⅱ・ソーシャルワーク実習Ⅲを履修するには、社会福祉の原理と政策Ⅰ、ソーシャルワーク概論Ⅰ、ソーシャルワーク概論Ⅱ、社会福祉演習、ソーシャルワーク演習Ⅰの単位を修得済みであること。ただし単位修得見込みでも履修を認める。

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.3.0)

5. 幼稚園教諭一種免許科目の履修について

福祉子ども学専攻では、幼稚園の教育職員免許状（教員免許状）を取得することが卒業要件になっています。教員免許状の取得のためには1年次前期から開講している指定の科目を履修する必要があります。

履修すべき科目には、特定の教養科目が含まれています。また、専門基盤科目の中にも履修すべき科目が含まれています。履修が必要な科目及び以下の項目をよく理解し、学修計画を立てることが必要です。

(1) 教員免許状の授与制度

教員免許状は、大学で修得した単位に関する証明をもって、卒業後、都道府県の教育委員会に申請し（本学では事務局でまとめて一括申請する）、教育職員免許法及び同法施行規則に定められた科目の単位を、すべて修得していることが認められた場合に、都道府県教育委員会から授与されます。

(2) 必要最低単位数

教員免許状を取得するためには、以下の表に従って、必要な科目の単位を修得しなければなりません。

区分等	必要最低単位数	注意事項
教養科目	9	次の①から⑤の教養科目を履修する必要があります。1年次に配当されていますので、2年次以降の履修が難しい科目については、1年次に単位を修得するよう心がけてください。 ①「法学(日本国憲法を含む)」(2単位) ②「スポーツ実技Ⅰ」・「スポーツ実技Ⅱ」のうち1単位 ③「スポーツと人間」(2単位) ④「英語Ⅰ」・「英語Ⅱ」(2単位) ⑤「コンピュータ科学入門」(2単位)
領域及び保育内容の指導法に関する科目—領域に関する専門的事項	16	(科目については次のページを参照してください。)
領域及び保育内容の指導法に関する科目—保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	22	(科目については次のページを参照してください。)
教育の基礎的理解に関する科目	10	(科目については次のページを参照してください。)
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	4	(科目については次のページを参照してください。)
教育実践に関する科目	7	(科目については次のページを参照してください。)
卒業要件	128	合計の履修単位数は、選択科目として履修する科目の単位数や科目数によって増加します。

(3) 履修上の注意

福祉子ども学専攻在籍学生は、一定の時期ごとに、履修カルテへの必要事項の記入、提出が必要となります。また、教育実習の履修にあたっては、履修要件を満たしていることを確認するための審査が行われます。詳しいことは、各種ガイダンス等で説明する予定です。

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.3.0)

(4) 幼稚園教諭一種免許状取得のための科目

施行規則に定める科目区分等			本学開講科目			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	左に対して開設されている授業科目名	単位数	専攻必修	配当年次
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	1 6	幼児と健康	2	◎	2
			幼児と人間関係	2	◎	2
			幼児と環境	2	◎	2
			幼児と言葉	2	◎	2
			幼児と表現(音楽表現)Ⅰ	2	◎	2
			幼児と表現(音楽表現)Ⅱ	2	◎	3
			幼児と表現(造形表現)Ⅰ	2	◎	2
			幼児と表現(造形表現)Ⅱ	2		3
			幼児と表現(身体表現)	2	◎	2
			保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	2 2	保育内容総論	2
	保育内容「健康」の指導法	2			◎	2
	保育内容「人間関係」の指導法	2			◎	2
	保育内容「環境」の指導法	2			◎	2
	保育内容「言葉」の指導法	2			◎	2
	保育内容「表現」の指導法Ⅰ	2			◎	2
	保育内容「表現」の指導法Ⅱ	2			◎	2
	保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	2			◎	1
	保育内容「音楽表現」の指導法Ⅱ	2			◎	3
	保育内容「造形表現」の指導法	2			◎	3
	保育内容「身体表現」の指導法	2	◎	3		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理(幼)	2	◎	1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		保育者論	2	◎	1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政(幼)	2	◎	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学Ⅰ	2	◎	1
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		保育の心理学Ⅱ	2	◎	1
			発達障害論	2	◎	3
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		特別な教育・保育ニーズの理解とその支援	2	◎	3
保育・教育課程論	2	◎	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法論(幼)	2	◎	1
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解	2	◎	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		保育相談支援	2	◎	3
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習(幼)Ⅰ	2	◎	2
			教育実習(幼)Ⅱ	4	◎	4
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼)	2	◎	4

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.3.0)

6. 保育士関連科目の履修について

以下の保育士関連科目の単位を修得し卒業することにより、保育士の資格が得られます。保育士関連科目については、社会福祉子ども学科として30名の履修定員が設けられています。福祉子ども学専攻の学生は希望者すべて履修することができます。

保育士の資格を取得するためには必修科目と選択科目があります。

保育士資格取得に係る関連科目は公欠の対象外です。

(1) 必修科目

下記別表第1の本学開講科目を70単位すべて修得しなければなりません。

(別表第1)

厚生労働省の告示による教科目			本学開講科目			
系 列	教科目	単位数	左に対応して開設されている授業科目	単位数	専攻必修	配当年次
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	保育原理	2		2
	教育原理	2	教育原理(幼)	2	◎	1
			教育行政(幼)	2	◎	2
	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉論	2	◎	1
	社会福祉	2	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	◎	1
	子ども家庭支援論	2	家庭支援論	2		1
	社会的養護Ⅰ	2	社会的養護	2		2
保育者論	2	保育者論	2	◎	1	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	保育の心理学Ⅰ	2	◎	1
	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2		3
	子どもの理解と援助	1	保育の心理学Ⅱ	2	◎	1
	子どもの保健	2	子どもの保健	2		3
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	4		3
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	保育・教育課程論	2	◎	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	◎	3
	保育内容演習	5	保育内容「健康」の指導法	2	◎	2
			保育内容「人間関係」の指導法	2	◎	2
			保育内容「環境」の指導法	2	◎	2
			保育内容「言葉」の指導法	2	◎	2
			保育内容「表現」の指導法Ⅰ	2	◎	2
			保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	2	◎	1
	保育内容の理解と方法	4	幼児と表現(音楽表現)Ⅰ	2	◎	2
			幼児と表現(造形表現)Ⅰ	2	◎	2
			幼児と表現(身体表現)	2	◎	2
	乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2		3
	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	2		3
	子どもの健康と安全	1	幼児と健康	2	◎	2
	障害児保育	2	特別な教育・保育ニーズの理解とその支援	2	◎	3
社会的養護Ⅱ	1	社会的養護内容	2		3	
子育て支援	1	保育相談支援	2	◎	3	
保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習ⅠA	2		3
			保育実習ⅠB	2		3
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習事前事後指導ⅠA	1		3
			保育実習事前事後指導ⅠB	1		3
総合演習	保育実践演習	2	保育・教職実践演習(幼)	2	◎	4
合 計		51		70		

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.3.0)

(2) 選択科目

下記の別表第2の本学開講科目から選択必修科目の保育実習Ⅱ又はⅢの2単位及び保育実習事前事後指導ⅡまたはⅢの1単位計3単位を含み9単位以上を修得しなければなりません。(保育実習と保育実習事前事後指導は同じローマ数字のものを履修する必要があります。)

(別表第2 選択必修科目)

厚生労働省の告示による教科目		本学開講科目				備考
系 列	設置 単位数	左に対応して開設 されている授業科目	単位 数	専攻 必修	配当 年次	
保育の本質・目的 に関する科目	15 以上	ソーシャルワークの理論と 方法Ⅰ	2		2	6単位以上 選択必修
保育の対象の理解 に関する科目		人間発達学	2		1	
		臨床心理学	2		1	
		心の健康	2		1	
保育の内容・方法 に関する科目		発達障害論	2	◎	3	
		保育内容「表現」の指導法 Ⅱ	2	◎	2	
		幼児と表現(音楽表現)Ⅱ	2	◎	3	
	幼児と表現(造形表現)Ⅱ	2		3		
保育実習	2	保育実習Ⅱ	2		4	保育実習及び保育実習 事前事後指導について Ⅱ又はⅢを選択必修
		保育実習Ⅲ	2		4	
	1	保育実習事前事後指導Ⅱ	1		4	
		保育実習事前事後指導Ⅲ	1		4	
合 計	18以上		22			

(3) 一般教養科目

別表第1、別表第2の他に、下記の本学開講科目の単位を修得しなければなりません。

厚生労働省の 告示による教科目	設置 単位数	本学開講科目	履修 単位数	専攻必修 ※
外国語、体育以外の科目	6以上	下記以外の教養科目	6以上	◎ (一部必修)
外国語	2以上	英語Ⅰ～Ⅳ(必修)、英語演習A～D、中国語Ⅰ～Ⅱ、韓国語Ⅰ～Ⅱ、フランス語Ⅰ～Ⅱ、スペイン語Ⅰ～Ⅱ、海外英語研修	2以上	◎ (一部必修)
体育に関する講義	1	スポーツと人間	2	◎
体育に関する実技	1	スポーツ実技Ⅰ・Ⅱ	1以上	○
合 計	10以上		11以上	

※ ◎は必修科目、○は選択必修科目を示す。

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.3.0)

7. 福祉子ども学専攻で社会福祉士の受験資格取得を希望する場合

福祉子ども学専攻の学生が、社会福祉士の受験資格取得を希望する場合、以下の表を参考に、必要科目の履修登録を行う必要があります。

ただし、履修が必要な科目の多くは、福祉子ども学専攻には配当されていないため、社会福祉学専攻で開設されている科目を他専攻履修することになります。

他専攻履修する場合は、通常の履修登録とは異なり、その科目の科目責任者の承認を得るとともに「他学科等科目履修申請書」を提出する必要があります。

なお、他専攻履修により修得した単位は、卒業に必要な単位数には算入されませんので注意してください。以下の社会福祉士関連科目の単位を修得することにより、社会福祉士国家試験受験資格が得られます。

科目を定める省令による指定科目	本学で開講している社会福祉士関連科目			
	対応教科目	単位数	配当年次	他専攻履修
医学概論	医学概論	2	1	
心理学と心理的支援	心理学	2	1~4	
社会学と社会システム	社会学	2	1~4	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	2	1	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	2	2	
社会福祉調査の基礎	社会調査の基礎	2	(2)	●
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワーク概論Ⅰ	2	1	
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワーク概論Ⅱ	2	(1)	●
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	(2)	●
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	2	(3)	●
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	2	(3)	●
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	(3)	●
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	(3)	●
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2	(2)	●
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	(2)	●
	社会保障論Ⅱ	2	(3)	●
高齢者福祉	高齢者福祉論	2	(2)	●
障害者福祉	障害者福祉論	2	2	
児童・家庭福祉	子ども家庭福祉論	2	1	
貧困に対する支援	公的扶助論	2	2	
保健医療と福祉	医療福祉論	2	(3)	●
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	(3)	●
刑事司法と福祉	司法福祉論	2	(3)	●
ソーシャルワーク演習	社会福祉演習	1	1	
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	(1)	●
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	1	(2)	●
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	1	(2)	●
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	1	(3)	●
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	(2)	●
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	(3)	●
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	(3)	●
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	4	(2)	●
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2	(3)	●
	ソーシャルワーク実習Ⅲ	2	(3)	●

9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 (Ver.3.0)

(1) 配当年次について

() で記載されているものは、社会福祉学専攻における配当年次です。

(2) 他専攻履修について

●のある科目を履修するには、科目責任者の承認を得るとともに「他学科等科目履修申請書」を提出する必要があります。

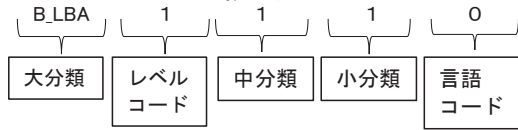
社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻カリキュラム Ver.3.0(2025年度以降入学生)

区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
共通科目	リテラシー	必修 英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ演習	英語Ⅲ 英語Ⅳ			
	人文社会科学	必修	法学(日本国憲法を含む)			
		選択	哲学 倫理学 宗教学 文学A 文学B 歴史学A 歴史学B 文化人類学 民俗学 政治学 経済学 社会学 教育学 心理学			
	自然科学	必修	コンピュータ科学入門			
		選択	基本統計学 科学史 数理科学 物質の科学 物理学 化学 生物学 自然科学実験 物理学実験 化学実験 生物学実験			
	言語・表現・運動	必修	スポーツと人間			
		選択	英語演習A 英語演習B 英語演習C 英語演習D 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 手話 日本語表現法 人間関係とコミュニケーション 海外英語研修 芸術活動A 芸術活動B 社会参加活動 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ			
	発展段階	総合力養成	選択	総合文化研究A 総合文化研究B 総合文化研究C 国際関係研究 国際協力研究 地球環境論 埼玉研究		
		人間性涵養※	選択	比較文化研究 生命の意味 生命倫理の諸問題 人間関係論 人間の探求		
	※	選択	教養ゼミナール			
初年次科目	必修	スタートアップセミナー				
IPE科目	必修	ヒューマンケア論 ヒューマンケア体験実習	IPW論	IPW演習	IPW実習	
専門科目	専門基盤科目	選択	人間発達学 臨床心理学 認知行動科学 リハビリテーション医学概論 医学概論 カウンセリング技法 家庭支援論 心の健康 救命救急法とファーストエイド	精神医学概論		
		必修	社会福祉演習 ソーシャルワーク概論Ⅰ 子ども家庭福祉論 社会福祉の原理と政策Ⅰ		発達障害論	
	社会福祉	選択		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ 公的扶助論 社会福祉の原理と政策Ⅱ 障害者福祉論		子ども家庭支援の心理学
		必修	保育者論 教育原理(幼) 保育の心理学Ⅰ 保育の心理学Ⅱ 教育方法論(幼) 保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	教育行政(幼) 保育・教育課程論 幼児理解 保育内容「健康」の指導法 保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法 保育内容「言葉」の指導法 保育内容「表現」の指導法Ⅰ 保育内容「表現」の指導法Ⅱ 幼児と健康 幼児と人間関係 幼児と環境 幼児と言葉 幼児と表現(音楽表現)Ⅰ 幼児と表現(造形表現)Ⅰ 幼児と表現(身体表現)	特別な教育・保育ニーズの理解とその支援 保育相談支援 保育内容総論 保育内容「音楽表現」の指導法Ⅱ 保育内容「造形表現」の指導法 保育内容「身体表現」の指導法 幼児と表現(音楽表現)Ⅱ	
	子ども学	選択		保育原理 社会的養護	社会的養護内容 子どもの保健 子どもの食と栄養 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 幼児と表現(造形表現)Ⅱ	
		必修		教育実習(幼)Ⅰ		教育実習(幼)Ⅱ
	実習	選択			保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習事前事後指導ⅠA 保育実習事前事後指導ⅠB	保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習事前事後指導Ⅱ 保育実習事前事後指導Ⅲ
		必修				保育・教職実践演習(幼) 卒業研究
	子ども学研究	必修				

ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。履修登録等の際にカリキュラムマップと合わせて参照してください。

ナンバリングコードの読み方



ナンバリングコード表

大分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(福祉子ども)
大分類	B_LBA	B_FYE	B_IPE	B_SCS

レベルコード

レベルコード	
1	1年次より履修可能な科目
2	2年次より履修可能な科目
3	3年次より履修可能な科目
4	4年次より履修可能な科目

中分類・小分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(福祉子ども)	
中分類	0	-	-	専門基盤科目	
	1	リテラシー	全科目	講義	
	2	人文社会科学	-	演習	領域に関する専門的事項
	3	自然科学	-	実習	保育内容の指導法
	4	言語・表現・運動	-	-	教育の基礎的理解
	5	総合力養成	-	-	教育方法と保育相談
	6	人間性涵養	-	-	教育実践
	7	教養ゼミナール	-	-	子ども学研究
	8	-	-	-	社会福祉・児童福祉
	9	-	-	-	-
	限定科目	A	-	-	-
		B	-	-	-
		C	-	-	-
		D	-	-	-
		E	-	-	-
F		-	-	-	
小分類	0	言語・文学	-	-	
	1	哲学・倫理学・宗教学・歴史学・文化人類学・民俗学	分類無しのためすべて「0」	分類無しのためすべて「0」	講義
	2	政治・経済・法学・社会学			演習
	3	心理学・教育学			実技
	4	物理学			実習
	5	化学			-
	6	生物学			-
	7	情報科学			-
	8	複合・学際・国際関係			-
	9	スポーツ・芸術・社会活動			-

言語コード

言語コード	
0	日本語
1	英語
2	日本語および英語
3	日本語および英語以外の外国語
4	-
5	-
6	-
7	-
8	-
9	その他言語

社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 開設科目と配当年次 (Ver3.0)

※印は複数年次開講

科目／領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要授業科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
リテラシー	B_LBA1102	英語 I					○	◎	30	1		1				
	B_LBA1102	英語 II					○	◎	30	1		1				
	B_LBA2102	英語 III					○	◎	30	1			1			
	B_LBA2102	英語 IV					○	◎	30	1			1			
	B_LBA1170	コンピュータ演習	○				◎	○	30	1		1				
人文社会科学	B_LBA1210	哲学			◎	○			30		2	2	※	※	※	主幹階層の3領域（「人文社会科学」、「自然科学」、「言語・表現・運動」）から各2単位以上選択計6単位以上選択科目を除いた選択科目から各2単位以上選択すること）※授業科目の名称の末尾に「*」が付記されているの科目の講義内容については、シラバス及び時間割を確認すること。
	B_LBA1210	倫理学		◎	○				30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1210	宗教学		◎	○			○	30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1200	文学A*		◎	○				30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1200	文学B*		◎	○				30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1210	歴史学A*		○	◎	○			30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1210	歴史学B*		○	◎	○			30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1210	文化人類学		○	○			◎	30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1210	民俗学		○	◎			○	30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1220	法学（日本国憲法を含む）		○	○	◎			30	2		2	※	※	※	
	B_LBA1220	政治学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1220	経済学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1220	社会学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1230	教育学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1230	心理学		◎	○	○			30		2	2	※	※	※	
自然科学	B_LBA1370	コンピュータ科学入門			◎	○			30	2		2	※	※	※	
	B_LBA1370	基本統計学			○	◎			30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1380	科学史			◎	○			30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1380	数理科学			◎	○			30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1380	物質の科学			◎	○			30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1340	物理学			◎	○			30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1350	化学			○	◎			30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1360	生物学			◎				30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1380	自然科学実験			◎	○			30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1340	物理学実験			◎	○			45		1	1	※	※	※	
	B_LBA1350	化学実験			○	◎			45		1	1	※	※	※	
	B_LBA1360	生物学実験			◎				45		1	1	※	※	※	
言語・表現・運動	B_LBA1402	英語演習 A					○	◎	30		1	1	※	※	※	選択科目のうち「スポーツ実技 I」、「スポーツ実技 II」から1単位以上選択
	B_LBA1402	英語演習 B					○	◎	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1402	英語演習 C					○	◎	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1402	英語演習 D					○	◎	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1403	中国語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※	※授業科目の名称の末尾に「*」が付記されているの科目の講義内容については、シラバス及び時間割を確認すること。
	B_LBA1403	中国語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1403	コリア語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1403	コリア語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1403	フランス語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1403	フランス語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1403	スペイン語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1403	スペイン語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1400	手話						◎	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1400	日本語表現法			○			◎	30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1430	人間関係とコミュニケーション		○		○	◎		30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1402	海外英語研修					○	◎	30		2	2	※	※	※	
	B_LBA1490	芸術活動A*				○	◎		30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1490	芸術活動B*				◎	○		30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1490	社会参加活動		○			◎	○	30		1	1	※	※	※	
	B_LBA1490	スポーツ実技 I					◎	○	30		1	1	※	※	※	
B_LBA1490	スポーツ実技 II					◎	○	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490	スポーツと人間					◎	○	30	2		2	※	※	※		

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要授業科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
共通科目	教養科目	発展階層	総合力養成	B_LBA2580	総合文化研究A*	○		◎		○	15	1		1	※	※	発展階層の2領域（「総合力養成」、「人間性涵養」）から各1単位以上選択計4単位以上選択 ※ただし教養ゼミナールはどちらの領域にも適用可とする。 ※授業科目の名称の末尾に「*」が付記されているの科目の講義内容については、シラバス及び時間割を確認すること。
				B_LBA2580	総合文化研究B*	○		○		◎	15	1		1	※	※	
				B_LBA2580	総合文化研究C*	○		○		◎	15	1		1	※	※	
				B_LBA2580	国際関係研究	○		○		◎	15	1		1	※	※	
				B_LBA2580	国際協力研究				○	◎	15	1		1	※	※	
				B_LBA2580	地球環境論		○	○		◎	15	1		1	※	※	
				B_LBA2580	埼玉研究			◎		○	15	1		1	※	※	
				B_LBA2680	比較文化研究	◎				○	15	1		1	※	※	
				B_LBA2680	生命の意味			◎	○		15	1		1	※	※	
				B_LBA2680	生命倫理の諸問題	◎	○	○			15	1		1	※	※	
	B_LBA2680	人間関係論	◎	○				15	1		1	※	※				
	B_LBA2680	人間の探求		◎	○	○		15	1		1	※	※				
	B_LBA2780	教養ゼミナール*		◎	○	○	○	30	2	2	2	※	※				
	初年次科目	B_FYE1100	スタートアップセミナー	○			◎		30	2		2					
	I P E 科目	B_IPE1100	ヒューマンケア論	○	○		◎		30	2		2					
		B_IPE1300	ヒューマンケア体験実習	○	○		◎		45	1		1					
		B_IPE2100	I P W論	○	○	○	◎		15	1			1				
		B_IPE3200	I P W演習	○	○	○	◎		15	1				1			
		B_IPE4300	I P W実習	○	○	○	◎		45	1					1		
	専門科目	専門基礎科目	B_SCS1010	人間発達学	○	◎	○			30	2	2					
B_SCS1010			臨床心理学	○	◎	○	○	○	30	2	2						
B_SCS1010			認知行動科学		◎	○			15	1	1						
B_SCS1010			リハビリテーション医学概論	○	○	○	◎	○	15	1	1						
B_SCS2010			精神医学概論	○	◎	○			15	1		1					
B_SCS1010			医学概論	○	◎	○			30	2	2						
B_SCS1030			カウンセリング技法		◎		○		30	1	1						
B_SCS1010			家庭支援論	○	○		◎		30	2	2						
B_SCS1010			心の健康	○	◎	○			30	2	2						
B_SCS1010			救命救急法とファーストエイド		◎	○			15	1	1						
福祉子ども学専門科目		社会福祉	B_SCS1710	社会福祉の原理と政策 I	○		◎	○		30	2		2				
			B_SCS2710	社会福祉の原理と政策 II	○		◎	○	○	30	2		2				
			B_SCS1710	ソーシャルワーク概論 I	○	◎	○	○		30	2		2				
			B_SCS2710	ソーシャルワークの理論と方法 I	○	○		◎	○	30	2		2				
			B_SCS1720	社会福祉演習	○	◎	○		○	30	1		1				
		B_SCS1710	子ども家庭福祉論	○	◎	○	○	○	30	2		2					
		B_SCS2710	障害者福祉論	○	○	◎	○		30	2		2	2				
		B_SCS2710	公的扶助論	○	○	◎		○	30	2		2					
		B_SCS3710	子ども家庭支援の心理学	○		○		◎	30	2				2			
		B_SCS3310	発達障害論	○			◎	○	30	2				2			
福祉子ども学	B_SCS1310	保育者論	○			◎	○	30	2		2						
	B_SCS1310	教育原理 (幼)	○		◎	○		30	2		2						
	B_SCS2710	保育原理	○	○	◎			30	2		2						
	B_SCS1310	保育の心理学 I	○	◎		○		30	2		2						
	B_SCS1320	保育の心理学 II	○	◎		○		30	2		2						
	B_SCS3320	特別な教育・保育ニーズの理解とその支援	○	○		◎		30	2				2				
	B_SCS2310	教育行政 (幼)	○		○		◎	30	2			2					
	B_SCS2310	保育・教育課程論	○		○	◎		30	2			2					
	B_SCS1410	教育方法論 (幼)	○	○	◎			30	2		2						
	B_SCS2410	幼児理解	○	○		◎		30	2			2					
B_SCS3420	保育相談支援	○			◎	○	30	2				2					
B_SCS2710	社会的養護	○	◎		○		30	2		2							
B_SCS3720	社会的養護内容	○	○		◎		30	2				2					
B_SCS3710	子どもの保健	○	○		◎		30	2				2					
B_SCS3720	子どもの食と栄養		◎		○		60	4				4					
B_SCS3220	保育内容総論	○		○	◎		30	2				2					
B_SCS2220	保育内容「健康」の指導法	○		◎	○		30	2			2						

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考		
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次			
専 門 科 目	福 祉 子 ど も 学 専 門 科 目	B_SCS2220	保育内容「人間関係」の指導法	○	○	◎			30	2			2					
		B_SCS2220	保育内容「環境」の指導法				○	◎	30	2			2					
		B_SCS2220	保育内容「言葉」の指導法	○		○	◎		30	2			2					
		B_SCS2220	保育内容「表現」の指導法Ⅰ		○		◎		30	2			2					
		B_SCS2220	保育内容「表現」の指導法Ⅱ	○		○	◎		30	2			2					
		B_SCS1220	保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	○		○	◎		30	2		2						
		B_SCS3220	保育内容「音楽表現」の指導法Ⅱ	○		○	◎		30	2				2				
		B_SCS3220	保育内容「造形表現」の指導法	○		◎		○	30	2					2			
		B_SCS3220	保育内容「身体表現」の指導法	○			○	◎	30	2					2			
		B_SCS3710	乳児保育Ⅰ	○	○		◎		30		2				2			
		B_SCS3720	乳児保育Ⅱ	○	○		◎		30		2				2			
		B_SCS2120	幼児と健康	○		◎	○		30	2				2				
		B_SCS2120	幼児と人間関係	○	○		◎		30	2				2				
		B_SCS2120	幼児と環境	○		◎	○		30	2				2				
		B_SCS2120	幼児と言葉	○		◎	○		30	2				2				
		B_SCS2120	幼児と表現(音楽表現)Ⅰ	○	○		◎		30	2				2				
		B_SCS3120	幼児と表現(音楽表現)Ⅱ	○	○		◎		30	2					2			
		B_SCS2120	幼児と表現(造形表現)Ⅰ	○	○	◎			30	2				2				
		B_SCS3120	幼児と表現(造形表現)Ⅱ	○	○	◎			30		2				2			
		B_SCS2120	幼児と表現(身体表現)	○		◎	○		30	2				2				
		実 習	B_SCS2540	教育実習(幼)Ⅰ	○	○		◎		60	2			2				事前事後指導を含む
			B_SCS4540	教育実習(幼)Ⅱ	○	◎		○		120	4					4		事前事後指導を含む
			B_SCS3740	保育実習ⅠA	○	○		◎		90		2			2			
			B_SCS3740	保育実習ⅠB	○	○		◎		90		2			2			
			B_SCS3720	保育実習事前事後指導ⅠA	○	○		◎		15		1			1			
			B_SCS3720	保育実習事前事後指導ⅠB	○	○		◎		15		1			1			
			B_SCS4740	保育実習Ⅱ	○	◎		○		90		2				2		
			B_SCS4740	保育実習Ⅲ	○	◎		○		90		2				2		
B_SCS4720	保育実習事前事後指導Ⅱ		○	◎		○		15		1				1				
B_SCS4720	保育実習事前事後指導Ⅲ	○	◎		○		15		1				1					
子 ど も 学 研 究	B_SCS4520	保育・教職実践演習(幼)	○			○	◎	30	2					2				
	B_SCS4620	卒業研究	○		○	◎		-	4					4				
卒 業 要 件 (単 位 数)	区分								必修	選択	計							
	共 通 科 目	教養科目							11	14以上	25以上							
		初年次科目							2	-	2							
		IPE科目							6	-	6							
	専 門 科 目	専門基盤科目							-	16以上	95以上							
		福祉子ども学専門科目							79									
計								98	30以上	128以上								

10. 健康開発学科 健康行動科学専攻 (Ver.2.0)

10-1 健康行動科学専攻 Ver. 2.0 (2021年度～2024年度入学生)

1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

本学保健医療福祉学部健康開発学科 (健康行動科学専攻) は、人々の健康と生活を統合的に支え共生社会に貢献できる人材を育成するために、所定の課程を修め、単位取得等の条件を充たしたうえで、次のような目標を達成した者に学位を授与します。

1. 社会における多様化・複雑化した保健医療福祉のニーズに対応するため、自然科学を基盤とした生命科学に加え、社会科学も活用して保健医療福祉の諸問題に取り組むことのできる幅広い学識を持ち、これらを統合的に理解し活用できること。
2. 客観的かつ批判的な思考力の下、情報を適切に収集、分析、解釈し、エビデンスに基づく質の高い保健医療情報を獲得することができること。
3. 高い倫理観の下、一般の人々や異分野の専門家、あるいは社会や組織に対して、対象者の特性に合わせ、適切な保健医療情報を分かりやすく効果的に提供することにより、人々の健康と生活を統合的に支える活動に取り組むことができること。

2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

本専攻では、本学の学位授与方針に基づいた専攻学位授与方針にて掲げる目標を達成するために必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目を科目間の関連や科目内容の難易度を表現する番号 (ナンバリング) にて標示し、教育課程の構造を体系図 (カリキュラム・マップ) としてわかりやすく明示します。

1 : 科目編成の指針

- 1) 本学の教育課程編成・実施の方針に基づいて、専攻の専門科目を以下のとおり配置します。
- 2) 本専攻の特色と健康科学の基礎的事項を理解するための導入科目を配置します。
- 3) からだの仕組みや運動・栄養などの健康に関する必須の基礎的な知識を学ぶために、生命科学領域の科目を配置します。
- 4) 健康を多様な視点からトータルに捉え、健康にかかわる幅広い教養を養うために、社会科学的な視点から健康について学ぶ社会科学領域の科目を配置します。
- 5) 情報を適切に収集・分析・解釈し、エビデンスに基づく質の高い保健医療情報を獲得するとともに、一般の人々や異分野の専門家に対して理解しやすい形で効果的に情報提供を行う能力を養う情報科学領域の科目を配置します。
- 6) 2)～5) で学んだ成果を総合的に活用し、適切な保健医療情報を効果的に提供する能力を実践的に磨く統合的な科目を配置します。

2 : 教育方法の指針

- 1) 授業ごとの目的、到達目標、科目特性等に合わせて、講義、演習、実習等の授業形態および時間数・単位数を適切に設定します。
- 2) シラバスには、授業ごとの目的、到達目標、授業内容、授業計画、評価方法・基準等を適切に明記することで、学生の目的意識の喚起を行うとともに主体的な学習を支援します。
- 3) 学生の主体的な学習を促すため、e-learningシステムを積極的に活用します。
- 4) 必要な学修時間を確保するため、各年次に履修登録できる単位の上限を46単位とします。

3 : 教育評価の指針

- 1) 授業の目標に対する達成度を試験、レポート、宿題、課題、作品、授業への取り組みなどにより、それぞれの授業の特性に応じて評価します。
- 2) 評価の方法・基準をシラバスに明記します。
- 3) 授業への出席は評価の前提であり、基準を満たさない者は評価の対象としません。

10. 健康開発学科 健康行動科学専攻 (Ver.2.0)

3. 卒業単位

健康行動科学専攻における卒業に必要な修得単位は128単位ですが、その内容は必修科目の単位数を厳選して最少にした上で、選択単位の数を最大限持たせるために、専門基盤科目と健康行動科学専門科目に配置されている科目の中から自由に29単位以上を選択して卒業単位とすることができるように設定されています。

区分		必修	選択	計
共通科目	教養科目	5	20以上	25以上
	初年次科目	2	—	2
	IPE科目	6	—	6
専門科目	専門基盤科目	20	29以上	95以上
	健康行動科学専門科目	46		
計		79	49以上	128以上

なお、健康行動科学専攻の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は97ページ～99ページの一覧表のとおりです。

※健康開発学科健康行動科学専攻の学生の各年次に履修登録できる単位の上限は46単位です。ただし、「教職関連科目（95ページ参照）」についてはこの制限外とします。

4. 他学科等科目の卒業単位への算入

別に定める他学科等科目を履修し修得した単位を、卒業単位に算入することができます。

修得した単位は健康行動科学専門科目の選択科目の単位として算入され、算入することのできる単位数は6単位までです。

ただし、卒業単位として算入できるのは、3年次以降に履修したものに限ります。

なお、算入の対象となる他学科等科目は年度ごとに見直しますので、年度当初のガイダンス等でお知らせします。履修を希望する場合は、「他学科等科目履修申請書」を事務局教務・入試担当に提出してください。

5. 先修条件

教養科目について

自然科学実験を除く実験科目（物理学実験、化学実験、生物学実験）の履修は、関連する科目（物理学、化学、生物学）の単位を修得済み、または修得見込みであること。ただし、令和6年度以降の入学生については、上記実験科目の科目責任者が履修を認める場合は、先修条件が免除される。

なお、単位修得見込みとは、単位修得のための受験資格を得ていることをいう。

健康開発学科 健康行動科学専攻カリキュラム Ver.2.0(2021年度～2024年度入学生)

区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次		
共通科目	教養科目	リテラシー	必修 英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ演習	英語Ⅲ 英語Ⅳ			
		主幹階層	人文社会科学	選択 哲学 倫理学 宗教学 文学A 文学B 歴史学A 歴史学B 文化人類学 民俗学 法学(日本国憲法を含む) 政治学 経済学 社会学 教育学 心理学			
			自然科学	選択 コンピュータ科学入門 基本統計学 科学史 数理学 物質の科学 物理学 化学 生物学 自然科学実験 物理学実験 化学実験 生物学実験			
		言語・表現・運動	選択 英語演習A 英語演習B 英語演習C 英語演習D 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 手話 日本語表現法 人間関係とコミュニケーション 海外英語研修 芸術活動A 芸術活動B 社会参加活動 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツと人間				
		発展階層	総合力養成	選択	総合文化研究A 総合文化研究B 総合文化研究C 国際関係研究 国際協力研究 地球環境論 埼玉研究		
	人間性涵養		選択	比較文化研究 生命の意味 生命倫理の諸問題 人間関係論 人間の探求			
	※		選択	教養ゼミナール			
	初年次科目	必修	スタートアップセミナー				
	IPE科目	必修	ヒューマンケア論 ヒューマンケア体験実習	IPW論	IPW演習	IPW実習	
	専門科目	専門基盤科目	必修	生化学 栄養学・食生活論 解剖学 生理学 カウンセリング技法 心の健康 救命救急法とファーストエイド 解剖学実習	認知行動科学 内科学 社会保障概論 衛生学・公衆衛生学 生理学実習		
選択			人間発達学 臨床心理学 リハビリテーション医学概論 病理学 家庭支援論	薬理学 整形外科学 精神医学概論 小児科学 老年医学			
健康行動科学専門科目		必修	健康行動科学入門Ⅰ 健康科学1(健康教養) 健康情報リテラシー1	健康行動科学入門Ⅱ 健康科学2(健康運動論) 健康科学3(健康社会論) 健康科学4(保健福祉統計) 健康科学5(疫学) 健康科学6(健康生活測定) 健康科学7(ヘルスコミュニケーション) 健康科学8(保健医療情報) 健康科学9(地域保健) 健康情報リテラシー2 健康情報リテラシー3 地域調査計画	健康科学10(社会心理学) 健康科学11(応用栄養学) 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ 地域調査演習 健康プログラム実習	卒業研究	
		選択	学校保健 養護概説 看護学概論 小児保健看護学	健康相談活動 免疫学 微生物学 看護援助方法論 母性看護学(総論) 小児看護学(総論) 看護臨床実習 生活習慣病の予防と臨床 食の科学 公衆栄養学 健康運動論演習 運動疫学 行政統計 保健統計演習 定性的データの収集と分析 社会心理学演習 保健医療情報演習 健康・医療と文化 多文化社会と生活 産業保健 保健医療経済	養護実習Ⅰ	養護実習Ⅱ 教職実践演習(養護教諭)	
養護限定科目	選択						
教職関連科目	選択	教育原理及び教育制度 教師論 教育心理学 教育課程論 教育方法論 生徒指導論 特別支援教育 道徳・総合的な学習の時間及び特別活動 教育相談 学校ボランティア演習Ⅰ 学校ボランティア演習Ⅱ 教職総合演習 保健室経営の理論及び方法					

ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。履修登録等の際にカリキュラムマップと合わせて参照してください。

ナンバリングコードの読み方



ナンバリングコード表

大分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(健康行動科学)
大分類	B_LBA	B_FYE	B_IPE	B_BHS

レベルコード

レベルコード	
1	1年次より履修可能な科目
2	2年次より履修可能な科目
3	3年次より履修可能な科目
4	4年次より履修可能な科目

中分類・小分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(健康行動科学)	
中分類	0	-	-	専門基盤科目	
	1	リテラシー	全科目	講義	専門導入科目
	2	人文社会科学	-	演習	専門基礎科目
	3	自然科学	-	実習	専門応用科目
	4	言語・表現・運動	-	-	専門統合科目
	5	総合力養成	-	-	-
	6	人間性涵養	-	-	-
	7	教養ゼミナール	-	-	-
	8	-	-	-	-
	9	-	-	-	-
	限定科目	A	-	-	-
		B	-	-	-
		C	-	-	養護限定科目
		D	-	-	-
		E	-	-	-
F		-	-	-	
小分類	0	言語・文学	分類無しのためすべて「0」	分類無しのためすべて「0」	生命科学
	1	哲学・倫理学・宗教学・歴史学・文化人類学・民俗学			社会科学
	2	政治・経済・法学・社会学			情報科学
	3	心理学・教育学			健康総合科学
	4	物理学			-
	5	化学			-
	6	生物学			-
	7	情報科学			-
	8	複合・学際・国際関係			-
	9	スポーツ・芸術・社会活動			その他

言語コード

言語コード	
0	日本語
1	英語
2	日本語および英語
3	日本語および英語以外の外国語
4	-
5	-
6	-
7	-
8	-
9	その他言語

健康開発学科 健康行動科学専攻 開設科目と配当年次 (Ver2.0)

DPの達成に、密接に関連している (◎)、関連している (○)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要授業科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考		
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次			
リテラシー	B_LBA1102	英語 I					○	◎	30	1		1						
	B_LBA1102	英語 II					○	◎	30	1		1						
	B_LBA2102	英語 III					○	◎	30	1			1					
	B_LBA2102	英語 IV					○	◎	30	1			1					
	B_LBA1170	コンピュータ演習	○			◎	○		30	1		1						
	人文社会科学	B_LBA1210	哲学			◎	○			30		2	2	※	※	※		主幹階層の3領域 （「人文社会科学」、 「自然科学」、 「言語・表現・運動」）から各 2単位以上選択 計6単位以上選択 ※授業科目の名称の 末尾に「*」が付記 されているの科目の 講義内容については、 シラバス及び時間 割を確認すること。
		B_LBA1210	倫理学		◎	○				30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	宗教学		◎	○			○	30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1200	文学A*		◎	○				30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1200	文学B*		◎	○				30		2	2	※	※	※		
B_LBA1210		歴史学A*		○	◎	○			30		2	2	※	※	※			
B_LBA1210		歴史学B*		○	◎	○			30		2	2	※	※	※			
B_LBA1210		文化人類学		○	○			◎	30		2	2	※	※	※			
B_LBA1210		民俗学		○	◎			○	30		2	2	※	※	※			
B_LBA1220		法学（日本国憲法を含む）		○	○	◎			30		2	2	※	※	※			
B_LBA1220		政治学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※			
B_LBA1220		経済学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※			
B_LBA1220		社会学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※			
B_LBA1230		教育学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※			
B_LBA1230	心理学		◎	○	○			30		2	2	※	※	※				
自然科学	B_LBA1370	コンピュータ科学入門			◎	○			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1370	基本統計学			○	◎			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1380	科学史			◎	○			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1380	数理科学			◎	○			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1380	物質の科学			◎	○			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1340	物理学			◎	○			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1350	化学			○	◎			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1360	生物学			◎				30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1380	自然科学実験			◎	○			30		1	1	※	※	※			
	B_LBA1340	物理学実験			◎	○			45		1	1	※	※	※			
	B_LBA1350	化学実験			○	◎			45		1	1	※	※	※			
	B_LBA1360	生物学実験			◎				45		1	1	※	※	※			
	言語・表現・運動	B_LBA1402	英語演習A					○	◎	30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1402	英語演習B					○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1402		英語演習C					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1402		英語演習D					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		中国語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		中国語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		コリア語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		コリア語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		フランス語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		フランス語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		スペイン語 I					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		スペイン語 II					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1400		手話				◎			30		1	1	※	※	※			
B_LBA1400		日本語表現法			○		◎		30		2	2	※	※	※			
B_LBA1430		人間関係とコミュニケーション		○		○	◎		30		2	2	※	※	※			
B_LBA1402		海外英語研修				○	◎		30		2	2	※	※	※			
B_LBA1490		芸術活動A*				○	◎		30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490		芸術活動B*				◎	○		30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490		社会参加活動		○			◎	○	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490		スポーツ実技 I					◎	○	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490	スポーツ実技 II					◎	○	30		1	1	※	※	※				
B_LBA1490	スポーツと人間					◎	○	30		2	2	※	※	※				
総合力養成	B_LBA2580	総合文化研究A*		○		◎		○	15		1		1	※	※	発展階層の2領域 （「総合力養成」、 「人間性涵養」）か ら各1単位以上選択 計4単位以上選択 ※ただし教養ゼミ ナールはどちらの領 域にも適用可とする。 ※授業科目の名称の 末尾に「*」が付記 されているの科目の 講義内容については、 シラバス及び時間 割を確認すること。		
	B_LBA2580	総合文化研究B*		○		○		◎	15		1		1	※	※			
	B_LBA2580	総合文化研究C*		○		○		◎	15		1		1	※	※			
	B_LBA2580	国際関係研究		○		○		◎	15		1		1	※	※			
	B_LBA2580	国際協力研究					○	◎	15		1		1	※	※			
	B_LBA2580	地球環境論			○	○		◎	15		1		1	※	※			
	B_LBA2580	埼玉研究				◎		◎	15		1		1	※	※			
	B_LBA2680	比較文化研究		◎				○	15		1		1	※	※			
	B_LBA2680	生命の意味			◎	○			15		1		1	※	※			
	B_LBA2680	生命倫理の諸問題		◎	○	○			15		1		1	※	※			
人間性涵養	B_LBA2680	人間関係論		◎	○				15		1		1	※	※			
	B_LBA2680	人間の探求		◎	◎	○	○		15		1		1	※	※			
	※ B_LBA2780	教養ゼミナール*		◎	◎	○		○	30		2		2	※	※			
初年次科目	B_FYE1100	スタートアップゼミナー	○				◎	30	2		2							

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
共通科目	I P E 科目	B_IPE1100	ヒューマンケア論	○	○		◎		30	2		2					
		B_IPE1300	ヒューマンケア体験実習	○	○		◎		45	1		1					
		B_IPE2100	I P W論	○	○		◎		15	1			1				
		B_IPE3200	I P W演習	○	○	○	◎		15	1				1			
		B_IPE4300	I P W実習	○	○	○	◎		45	1					1		
専門 基盤 科目		B_BHS1000	生化学	○		○	◎		30	2		2					
		B_BHS1000	栄養学・食生活論	○		◎			30	1		1					
		B_BHS1010	人間発達学		◎	○			30		2	2					
		B_BHS1000	解剖学	○	◎				30	2		2					
		B_BHS1000	生理学	○	○	◎			30	2		2					
		B_BHS1010	臨床心理学		◎	○	○	○	30		2	2					
		B_BHS2000	薬理学		○		◎		15		1		1				
		B_BHS2010	認知行動科学	○	◎		○		15	1			1				
		B_BHS1000	リハビリテーション医学概論		○	○	◎	○	15		1	1					
		B_BHS1000	病理学			○	◎	○	15		1	1					
		B_BHS2000	内科学	○		○	◎		30	2				2			
		B_BHS2000	整形外科		○	○	◎		○	30		2		2			
		B_BHS2000	精神医学概論		◎		○		15		1		1				
		B_BHS2000	小児科学		◎		○		15		1		1				
		B_BHS2000	老年医学			○	◎		15		1		1				
		B_BHS2010	社会保障概論	○		○	◎		30	2				2			
		B_BHS1010	カウンセリング技法	○	◎			○	30	1		1					
		B_BHS1010	家庭支援論		○		◎		30		2	2					
		B_BHS1000	心の健康	○	◎	○			30	2		2					
		B_BHS1000	救命救急法とファーストエイド	○	◎	○			15	1		1					
		B_BHS2010	衛生学・公衆衛生学	○		○	◎		30	2			2				
		B_BHS1000	解剖学実習	○	◎				30	1		1					
		B_BHS2000	生理学実習	○		○	◎		30	1			1				
		専門 科目	健康 行動 科学 専門 科目	B_BHS1130	健康行動科学入門 I	○	◎	○			30	2		2			
				B_BHS2130	健康行動科学入門 II	○			◎		30	2			2		
				B_BHS1130	健康科学1 (健康教養)	○		○	◎		30	2		2			
				B_BHS2200	健康科学2 (健康運動論)	○		○	◎		30	2			2		
				B_BHS2210	健康科学3 (健康社会論)	○		○	◎		30	2			2		
				B_BHS2220	健康科学4 (保健福祉統計)	○		◎	○		30	2			2		
B_BHS2220	健康科学5 (疫学)			○		◎	○		30	2			2				
B_BHS2200	健康科学6 (健康生活測定)			○		○	◎		30	2			2				
B_BHS2210	健康科学7 (ヘルスコミュニケーション)			○		◎	○		30	2			2				
B_BHS2220	健康科学8 (保健医療情報)			○		◎	○		30	2			2				
B_BHS2210	健康科学9 (地域保健)			○			◎		30	2			2				
B_BHS3210	健康科学10 (社会心理学)			○		○	◎		30	2				2			
B_BHS3200	健康科学11 (応用栄養学)			○		◎	○		30	2				2			
B_BHS1220	健康情報リテラシー1			○	◎	○			30	2		2					
B_BHS2220	健康情報リテラシー2			○	◎	○			30	2			2				
B_BHS2220	健康情報リテラシー3			○		○	◎		30	2			2				
B_BHS3430	専門ゼミ I			○		○	◎		30	2				2			
B_BHS3430	専門ゼミ II			○		○	◎		30	2				2			
B_BHS2430	地域調査計画			○			◎		30	2			2				
B_BHS3430	地域調査演習			○			◎		30	2				2			
B_BHS3430	健康プログラム実習			○			◎	○	60	2				2			
B_BHS3300	生活習慣病の予防と臨床				◎	○			30		2			2	※		
B_BHS3300	食の科学					◎	○		30		2			2	※		
B_BHS3300	公衆栄養学					◎	○		30		2			2	※		
B_BHS3300	健康運動論演習				○		◎		30		2			2	※		
B_BHS3320	運動疫学				◎			○	30		2			2	※		
B_BHS3320	行政統計					◎	○		15		1			1	※		
B_BHS3320	保健統計演習					◎	○		15		1			1	※		
B_BHS3320	定性的データの収集と分析					○	◎		30		2			2	※		
B_BHS3310	社会心理学演習						◎		30		2			2	※		
B_BHS3320	保健医療情報演習					◎	○		30		2			2	※		
B_BHS3310	健康・医療と文化					◎	○		30		2			2	※		
B_BHS3310	多文化社会と生活					◎		○	30		2			2	※		
B_BHS3310	産業保健			◎			15		1			1	※				
B_BHS3310	保健医療経済			○	◎		30		2			2	※				

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目／領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要授業科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
専門科目	健康行動科学専門科目	B_BHS2310	学校保健			◎	○			30		2		2			
		B_BHS2310	養護概説		◎		○			30		2		2			
		B_BHS3310	健康相談活動				○	◎		30		2			2		
		B_BHS3300	免疫学				◎			15		1			1		
		B_BHS3300	微生物学				◎			15		1			1		
		B_BHS2300	看護学概論		○		◎			30		2		2			
		B_BHS2300	小児保健看護学		○		◎			30		2		2			
		B_BHS3300	看護援助方法論		○		◎			15		1			1		
		B_BHS3300	母性看護学(総論)		○		◎			15		1			1		
		B_BHS3300	小児看護学(総論)		○		◎			15		1			1		
	B_BHS3300	看護臨床実習				◎			60		2			2			
	B_BHS4430	卒業研究		○		○	◎			—	4					4	
	養護限定科目	B_BHS3C90	養護実習Ⅰ		○		◎			30		1			1		事前事後指導を含む
B_BHS4C90		養護実習Ⅱ		○		◎			120		4			4		事前事後指導を含む	
B_BHS4C90		教職実践演習(養護教諭)		○		◎			30		2			2			
卒業要件(単位数)	区分								必修	選択	計				※養護限定科目は卒業単位に含まれない。		
	共通科目	教養科目								5	20以上	25以上					
		初年次科目								2	—	2					
		IPE科目								6	—	6					
	専門科目	専門基盤科目								20	29以上	95以上					
健康行動科学専門科目								46									
計									79	49以上	128以上						

10. 健康開発学科 健康情報学専攻 (Ver.3.0)

10-2 健康情報学専攻 Ver. 3.0 (2025年度以降入学生)

1. 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

本学保健医療福祉学部健康開発学科 (健康情報学専攻) は、人々の健康と生活を統合的に支え共生社会に貢献できる人材を育成するために、所定の課程を修め、単位取得等の条件を充たしたうえで、次のような目標を達成した者に学位を授与します。

1. 社会における多様化・複雑化した保健医療福祉のニーズに対応するため、自然科学を基盤とした生命科学に加え、社会科学も活用して保健医療福祉の諸問題に取り組むことのできる幅広い学識を持ち、これらを統合的に理解し活用できること。
2. 客観的かつ批判的な思考力の下、情報を適切に収集、分析、解釈し、エビデンスに基づく質の高い保健医療情報を獲得することができること。
3. 高い倫理観の下、一般の人々や異分野の専門家、あるいは社会や組織に対して、対象者の特性に合わせて、適切な保健医療情報を分かりやすく効果的に提供することにより、人々の健康と生活を統合的に支える活動に取り組むことができること。

2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

本専攻では、本学の学位授与方針に基づいた専攻学位授与方針にて掲げる目標を達成するために必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目を科目間の関連や科目内容の難易度を表現する番号 (ナンバリング) にて標示し、教育課程の構造を体系図 (カリキュラム・マップ) としてわかりやすく明示します。

1 : 科目編成の指針

- 1) 本学の教育課程編成・実施の方針に基づいて、専攻の専門科目を以下のとおり配置します。
- 2) 本専攻の特色と健康科学の基礎的事項を理解するための導入科目を配置します。
- 3) からだの仕組みや運動・栄養などの健康に関する必須の基礎的な知識を学ぶために、生命科学領域の科目を配置します。
- 4) 健康を多様な視点からトータルに捉え、健康にかかわる幅広い教養を養うために、社会科学的な視点から健康について学ぶ社会科学領域の科目を配置します。
- 5) 情報を適切に収集・分析・解釈し、エビデンスに基づく質の高い保健医療情報を獲得するとともに、一般の人々や異分野の専門家に対して理解しやすい形で効果的に情報提供を行う能力を養う情報科学領域の科目を配置します。
- 6) 2)~5) で学んだ成果を総合的に活用し、適切な保健医療情報を効果的に提供する能力を実践的に磨く統合的な科目を配置します。

2 : 教育方法の指針

- 1) 授業ごとの目的、到達目標、科目特性等に合わせて、講義、演習、実習等の授業形態および時間数・単位数を適切に設定します。
- 2) シラバスには、授業ごとの目的、到達目標、授業内容、授業計画、評価方法・基準等を適切に明記することで、学生の目的意識の喚起を行うとともに主体的な学習を支援します。
- 3) 学生の主体的な学習を促すため、e-learningシステムを積極的に活用します。
- 4) 必要な学修時間を確保するため、各年次に履修登録できる単位の上限を46単位とします。

3 : 教育評価の指針

- 1) 授業の目標に対する達成度を試験、レポート、宿題、課題、作品、授業への取り組みなどにより、それぞれの授業の特性に応じて評価します。
- 2) 評価の方法・基準をシラバスに明記します。
- 3) 授業への出席は評価の前提であり、基準を満たさない者は評価の対象としません。

10. 健康開発学科 健康情報学専攻 (Ver.3.0)

3. 卒業単位

健康情報学専攻における卒業に必要な修得単位は128単位ですが、その内容は必修科目の単位数を厳選して最少にした上で、選択単位の数を最大限持たせるために、専門基盤科目と健康情報学専門科目に配置されている科目の中から自由に19単位以上を選択して卒業単位とすることができるように設定されています。

区分		必修	選択	計
共通科目	教養科目	5	20以上	25以上
	初年次科目	2	—	2
	IPE科目	6	—	6
専門科目	専門基盤科目	20	19以上	95以上
	健康情報学専門科目	56		
計		89	39以上	128以上

なお、健康情報学専攻の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は104ページ～106ページの一覧表のとおりです。

※健康開発学科健康情報学専攻の学生の各年次に履修登録できる単位の上限は46単位です。

4. 他学科等科目の卒業単位への算入

別に定める他学科等科目を履修し修得した単位を、卒業単位に算入することができます。

修得した単位は健康情報学専門科目の選択科目の単位として算入され、算入することのできる単位数は6単位までです。

ただし、卒業単位として算入できるのは、3年次以降に履修したものに限りです。

なお、算入の対象となる他学科等科目は年度ごとに見直しますので、年度当初のガイダンス等でお知らせします。履修を希望する場合は、「他学科等科目履修申請書」を事務局教務・入試担当に提出してください。

5. 先修条件

教養科目について

自然科学実験を除く実験科目（物理学実験、化学実験、生物学実験）の履修は、関連する科目（物理学、化学、生物学）の単位を修得済み、または修得見込みであること。ただし、令和6年度以降の入学生については、上記実験科目の科目責任者が履修を認める場合は、先修条件が免除される。

なお、単位修得見込みとは、単位修得のための受験資格を得ていることをいう。

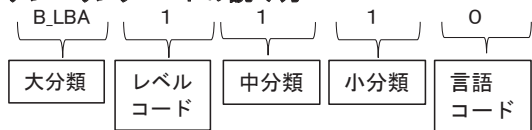
健康開発学科 健康情報学専攻カリキュラム Ver.3.0(2025年度以降入学生)

区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
共通科目	教養科目	リテラシー	必修 英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ演習	英語Ⅲ 英語Ⅳ		
		人文社会科学	選択 哲学 倫理学 宗教学 文学A 文学B 歴史学A 歴史学B 文化人類学 民俗学 法学(日本国憲法を含む) 政治学 経済学 社会学 教育学 心理学			
		自然科学	選択 コンピュータ科学入門 基本統計学 科学史 数理科学 物質の科学 物理学 化学 生物学 自然科学実験 物理学実験 化学実験 生物学実験			
		言語・表現・運動	選択 英語演習A 英語演習B 英語演習C 英語演習D 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 手話 日本語表現法 人間関係とコミュニケーション 海外英語研修 芸術活動A 芸術活動B 社会参加活動 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツと人間			
		総合力養成	選択	総合文化研究A 総合文化研究B 総合文化研究C 国際関係研究 国際協力研究 地球環境論 埼玉研究		
		人間性涵養	選択	比較文化研究 生命の意味 生命倫理の諸問題 人間関係論 人間の探求		
	発展階層	選択	教養ゼミナール			
	初年次科目	必修	スタートアップセミナー			
	IPE科目	必修	ヒューマンケア論 ヒューマンケア体験実習	IPW論	IPW演習	IPW実習
	専門科目	専門基盤科目	必修	生化学 栄養学・食生活論 解剖学 生理学 カウンセリング技法 心の健康 救命救急法とファーストエイド 解剖学実習	認知行動科学 内科学 社会保障概論 衛生学・公衆衛生学 生理学実習	
選択			人間発達学 臨床心理学 リハビリテーション医学概論 病理学 家庭支援論	薬理学 整形外科学 精神医学概論 小児科学 老年医学		
健康情報学専門科目		必修	健康情報学入門Ⅰ 健康教養 情報科学基礎 情報リテラシー	健康情報学入門Ⅱ 健康運動論 地域医療学 健康社会論 地域保健 ヘルスコミュニケーション 医療社会学 保健医療政策入門 ヘルスリテラシー概論 ヘルスリテラシー演習 情報科学応用 データヘルス 保健統計 地域調査計画	パーソナルヘルスレコード 応用栄養学 社会心理学 保健医療政策応用 疫学概論 地域調査演習 健康プログラム実習 専門ゼミⅠ 専門ゼミⅡ	卒業研究
	選択		学校保健	免疫学、微生物学 公衆栄養学、実践栄養学、健康・医療と文化 社会心理学演習、多文化社会と生活 グローバルヘルス(健康情報)、産業保健、 健康対策・疾病対策、保健医療政策演習、保健医療経済 情報科学演習Ⅰ、情報科学演習Ⅱ、保健医療情報概論 データヘルス演習、運動疫学、定性的データの収集と分析 行政統計、保健統計演習		

ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。履修登録等の際にカリキュラムマップと合わせて参照してください。

ナンバリングコードの読み方



ナンバリングコード表

大分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(健康情報学)
大分類	B_LBA	B_FYE	B_IPE	B_BHS

レベルコード

レベルコード	
1	1年次より履修可能な科目
2	2年次より履修可能な科目
3	3年次より履修可能な科目
4	4年次より履修可能な科目

中分類・小分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(健康情報学)	
中分類	0	-	-	専門基盤科目	
	1	リテラシー	全科目	専門導入科目	
	2	人文社会科学	-	演習	専門基礎科目
	3	自然科学	-	実習	専門応用科目
	4	言語・表現・運動	-	-	専門統合科目
	5	総合力養成	-	-	-
	6	人間性涵養	-	-	-
	7	教養ゼミナール	-	-	-
	8	-	-	-	-
	9	-	-	-	-
	限定科目	A	-	-	-
		B	-	-	-
		C	-	-	-
		D	-	-	-
		E	-	-	-
		F	-	-	-
小分類	0	言語・文学	分類無しのためすべて「0」	分類無しのためすべて「0」	生命科学
	1	哲学・倫理学・宗教学・歴史学・文化人類学・民俗学			社会科学
	2	政治・経済・法学・社会学			情報科学
	3	心理学・教育学			健康総合科学
	4	物理学			-
	5	化学			-
	6	生物学			-
	7	情報科学			-
	8	複合・学際・国際関係			-
9	スポーツ・芸術・社会活動	-	その他		

言語コード

言語コード	
0	日本語
1	英語
2	日本語および英語
3	日本語および英語以外の外国語
4	-
5	-
6	-
7	-
8	-
9	その他言語

健康開発学科 健康情報学専攻 開設科目と配当年次 (Ver3.0)

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(○)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要授業科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
リテラシー	B_LBA1102	英語Ⅰ					○	◎	30	1		1					
	B_LBA1102	英語Ⅱ					○	◎	30	1		1					
	B_LBA2102	英語Ⅲ					○	◎	30	1			1				
	B_LBA2102	英語Ⅳ					○	◎	30	1			1				
	B_LBA1170	コンピュータ演習	○			◎	○	30	1		1						
人文社会科学	B_LBA1210	哲学			◎	○			30		2	2	※	※	※		主幹階層の3領域 （「人文社会科学」、 「自然科学」、 「言語・表現・運動」）から各 2単位以上選択 計6単位以上選択 ※授業科目の名称の 末尾に「*」が付記 されている科目の 講義内容については、 シラバス及び時間 割を確認すること。
	B_LBA1210	倫理学	◎	○				30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1210	宗教学	◎	○			○	30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1200	文学A*	◎	○				30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1200	文学B*	◎	○				30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1210	歴史学A*	○	◎	○			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1210	歴史学B*	○	◎	○			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1210	文化人類学	○	○			◎	30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1210	民俗学	○	◎			○	30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1220	法学（日本国憲法を含む）	○	○	◎			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1220	政治学	○	○	◎			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1220	経済学	○	○	◎			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1220	社会学	○	○	◎			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1230	教育学	○	○	◎			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1230	心理学	◎	○	○			30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1370	コンピュータ科学入門			◎	○		30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1370	基本統計学			○	◎		30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1380	科学史			◎	○		30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1380	数理科学			◎	○		30		2	2	※	※	※			
	B_LBA1380	物質の科学			◎	○		30		2	2	※	※	※			
B_LBA1340	物理学			◎	○		30		2	2	※	※	※				
B_LBA1350	化学			○	◎		30		2	2	※	※	※				
B_LBA1360	生物学			◎			30		2	2	※	※	※				
B_LBA1380	自然科学実験			◎	○		30		1	1	※	※	※				
B_LBA1340	物理学実験			◎	○		45		1	1	※	※	※				
B_LBA1350	化学実験			○	◎		45		1	1	※	※	※				
B_LBA1360	生物学実験			◎			45		1	1	※	※	※				
B_LBA1402	英語演習A					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1402	英語演習B					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1402	英語演習C					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1402	英語演習D					○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403	中国語Ⅰ				○	◎	30		1	1	※	※	※				
B_LBA1403	中国語Ⅱ				○	◎	30		1	1	※	※	※				
B_LBA1403	コリア語Ⅰ				○	◎	30		1	1	※	※	※				
B_LBA1403	コリア語Ⅱ				○	◎	30		1	1	※	※	※				
B_LBA1403	フランス語Ⅰ				○	◎	30		1	1	※	※	※				
B_LBA1403	フランス語Ⅱ				○	◎	30		1	1	※	※	※				
B_LBA1403	スペイン語Ⅰ				○	◎	30		1	1	※	※	※				
B_LBA1403	スペイン語Ⅱ				○	◎	30		1	1	※	※	※				
B_LBA1400	手話					◎		30		1	1	※	※	※			
B_LBA1400	日本語表現法			○		◎		30		2	2	※	※	※			
B_LBA1430	人間関係とコミュニケーション		○		○	◎		30		2	2	※	※	※			
B_LBA1402	海外英語研修				○	◎		30		2	2	※	※	※			
B_LBA1490	芸術活動A*				○	◎		30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490	芸術活動B*				◎	○		30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490	社会参加活動		○			◎	○	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490	スポーツ実技Ⅰ					◎	○	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490	スポーツ実技Ⅱ					◎	○	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490	スポーツと人間				◎	○		30		2	2	※	※	※			
総合力養成	B_LBA2580	総合文化研究A*		○		◎		○	15		1		1	※	※	発展階層の2領域 （「総合力養成」、 「人間性涵養」）か ら各1単位以上選択 計4単位以上選択 ※ただし教養ゼミ ナールはどちらの領 域にも適用可とする。 ※授業科目の名称の 末尾に「*」が付記 されている科目の 講義内容については、 シラバス及び時間 割を確認すること。	
	B_LBA2580	総合文化研究B*		○		○		◎	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	総合文化研究C*		○		○		◎	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	国際関係研究		○		○		◎	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	国際協力研究				○		◎	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	地球環境論			○	○		◎	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	埼玉研究				◎		○	15		1		1	※	※		
	B_LBA2680	比較文化研究		◎				○	15		1		1	※	※		
	B_LBA2680	生命の意味			◎	○			15		1		1	※	※		
	B_LBA2680	生命倫理の諸問題		◎	○	○			15		1		1	※	※		
B_LBA2680	人間関係論		◎	○				15		1		1	※	※			
B_LBA2680	人間の探求			◎	○	○		15		1		1	※	※			
※	B_LBA2780	教養ゼミナール*			◎	○		○	30		2		2	※	※		
初年次科目	B_FYE1100	スタートアップセミナー	○				◎	30	2		2						
I P E 科目	B_IPE1100	ヒューマンケア論	○	○			◎	30	2		2						
	B_IPE1300	ヒューマンケア体験実習	○	○			◎	45	1		1						
	B_IPE2100	I P W論	○	○		○	◎	15	1			1					
	B_IPE3200	I P W演習	○	○		○	◎	15	1				1				
	B_IPE4300	I P W実習	○	○		○	◎	45	1						1		

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要授業科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門 基盤 科目	B_BHS1000	生化学	○		○	◎			30	2		2				
	B_BHS1000	栄養学・食生活論	○		◎				30	1		1				
	B_BHS1010	人間発達学		◎	○				30		2	2				
	B_BHS1000	解剖学	○	◎					30	2		2				
	B_BHS1000	生理学	○	○	◎				30	2		2				
	B_BHS1010	臨床心理学		◎	○	○	○		30		2	2				
	B_BHS2000	薬理学		○		◎			15		1		1			
	B_BHS2010	認知行動科学	○	◎		○			15	1			1			
	B_BHS1000	リハビリテーション医学概論		○	○	◎	○		15		1	1				
	B_BHS1000	病理学			○	◎	○		15		1	1				
	B_BHS2000	内科学	○		○	◎			30	2			2			
	B_BHS2000	整形外科学		○	○	◎		○	30		2		2			
	B_BHS2000	精神医学概論		◎		○			15		1		1			
	B_BHS2000	小児科学		◎		○			15		1		1			
	B_BHS2000	老年医学			○	◎			15		1		1			
	B_BHS2010	社会保障概論	○		○	◎			30	2				2		
	B_BHS1010	カウンセリング技法	○	◎			○		30	1		1				
	B_BHS1010	家庭支援論		○		◎			30		2	2				
	B_BHS1000	心の健康	○	◎	○				30	2		2				
	B_BHS1000	救命救急法とファーストエイド	○	◎	○				15	1		1				
B_BHS2010	衛生学・公衆衛生学	○		○	◎			30	2				2			
B_BHS1000	解剖学実習	○	◎					30	1		1					
B_BHS2000	生理学実習	○		○	◎			30	1			1				
専門 科目	B_BHS1130	健康情報学入門Ⅰ	○	◎	○				30	2		2				
	B_BHS2130	健康情報学入門Ⅱ	○		○	◎			30	2			2			
	B_BHS1130	健康教養	○		○	◎			30	2		2				
	B_BHS1220	情報科学基礎	○	◎	○				30	2		2				
	B_BHS1220	情報リテラシー	○	◎	○				30	2		2				
	B_BHS2200	健康運動論	○		○	◎			30	2			2			
	B_BHS2200	地域医療学	○	◎	○				30	2			2			
	B_BHS2210	健康社会論	○		○	◎			30	2			2			
	B_BHS2210	地域保健	○		○	◎			30	2			2			
	B_BHS2210	ヘルスコミュニケーション	○		◎	○			15	1		1				
	B_BHS2210	医療社会学	○		◎	○			15	1		1				
	B_BHS2210	保健医療政策入門	○	◎	○				30	2		2				
	B_BHS2220	ヘルスリテラシー概論	○	◎	○				30	2			2			
	B_BHS2220	ヘルスリテラシー演習	○		○	◎			30	2			2			
	B_BHS2220	情報科学応用	○		◎	○			30	2			2			
	B_BHS2220	データヘルス	○		◎	○			30	2			2			
	B_BHS2220	保健統計	○		◎	○			30	2			2			
	B_BHS2430	地域調査計画	○			◎			30	2			2			
	B_BHS3200	パーソナルヘルスレコード	○		○	◎			30	2				2		
	B_BHS3200	応用栄養学	○		◎	○			30	2				2		
	B_BHS3210	社会心理学	○			◎			30	2				2		
	B_BHS3210	保健医療政策応用	○	◎			○		30	2			2			
	B_BHS3220	疫学概論	○		◎	○			30	2			2			
	B_BHS3430	地域調査演習	○			◎			30	2				2		
	B_BHS3430	健康プログラム実習	○			◎	○		60	2				2		
	B_BHS3430	専門ゼミⅠ	○		○	◎			30	2				2		
	B_BHS3430	専門ゼミⅡ	○		○	◎			30	2				2		
	B_BHS2310	学校保健			◎	○			30		2		2			
	B_BHS3300	公衆栄養学			◎	○			30		2		2	2	※	
	B_BHS3300	実践栄養学			○	◎			15		1			1	※	
	B_BHS3300	免疫学				◎			15		1			1		
	B_BHS3300	微生物学				◎			15		1			1		
	B_BHS3310	健康・医療と文化			◎	○			30		2			2	※	
	B_BHS3310	社会心理学演習				◎			30		2			2	※	
	B_BHS3310	多文化社会と生活		◎				○	15		1			1	※	
	B_BHS3310	グローバルヘルス(健康情報)		○				◎	15		1			1	※	
	B_BHS3310	産業保健		◎					15		1			1	※	
	B_BHS3310	健康対策・疾病対策		◎	○				15		1			1	※	
	B_BHS3310	保健医療政策演習				◎	○		30		2			2	※	
	B_BHS3310	保健医療経済			○	◎			30		2			2	※	
	B_BHS3320	情報科学演習Ⅰ				◎	○		30		2			2	※	
	B_BHS3320	情報科学演習Ⅱ				◎	○		30		2			2	※	
	B_BHS3320	保健医療情報概論			○	◎			15		1			1	※	
B_BHS3320	データヘルス演習				◎	○		30		2			2	※		
B_BHS3320	運動疫学			◎		○		30		2			2	※		
B_BHS3320	定性的データの収集と分析				◎	○		30		2			2	※		
B_BHS3320	行政統計				◎	○		15		1			1	※		
B_BHS3320	保健統計演習			◎	○			30		2			2	※		
B_BHS4430	卒業研究		○		○	◎		—	4					4		

卒業要件 (単位数)	区分		必修	選択	計
	共通科目	教養科目	5	20以上	25以上
		初年次科目	2	—	2
		IPE科目	6	—	6
	専門科目	専門基盤科目	20	19以上	95以上
健康情報学専門科目		56			
計		89	39以上	128以上	

11. 健康開発学科 検査技術科学専攻 (Ver.2.0)

1. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学保健医療福祉学部健康開発学科（検査技術科学専攻）は、人々の健康と生活を統合的に支え、共生社会に貢献できる人材（社会参加者、市民、専門職業人、研究者）を育成するための所定の課程を修め、単位取得等の条件を充たしたうえで、次のような目標を達成した者に学位を授与します。

1. 広い視野をもった豊かな人間性と人間の多様性を尊重できる倫理観を身につけていること。
2. 臨床検査に必要な基本的な知識と技術を修得していること。
3. 得られた情報を科学的に捉え、論理的かつ総合的に解釈する能力を身につけていること。
4. 医療チームの一員としての臨床検査技師の使命と役割を理解し、多様な人々とコミュニケーションをとりながら、連携して医療に貢献できる能力を身につけていること。
5. 保健医療の諸問題をグローバルな視点で捉え、常に探究心をもって、検査技術を駆使して社会に貢献できる素養を身につけていること。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本専攻では、本学の学位授与方針に基づいた専攻学位授与方針にて掲げる目標を達成するために必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。また、科目を科目間の関連や科目内容の難易度を表現する番号（ナンバリング）にて標示し、教育課程の構造を体系図（カリキュラム・マップ）としてわかりやすく明示します。

1：科目編成の指針

- 1) 初年次教育として、すべての学習の基盤となる能力を習得するための科目を配置します。
- 2) 広い視野をもった豊かな人間性と、人間の尊厳を核とした医療人にふさわしい倫理観を培えるよう、幅広い教養と検査医学の基盤となる生命科学に関する科目を配置します。
- 3) 臨床検査に必要な基礎知識と技術を段階的に修得するとともに、検査データを科学的視点に立って理論的に考え、総合的な解釈ができる力を養えるよう、体系的で順次性のある専門教育カリキュラムを編成します。そのために、科目によっては先修条件を設定します。
- 4) 医療チームの一員としての臨床検査技師の使命と役割を理解し、多様な人々と連携してチーム医療に貢献できる能力の育成を目指して、医療や福祉の現場での実践を経験できる専門職連携の科目や臨地実習科目を配置します。
- 5) 教養科目と専門科目における学修、最終年次の卒業研究を通して、保健医療の諸問題をグローバルな視点で捉え、その解決に向けて検査技術を駆使して継続的に貢献できる能力を培えるカリキュラムを編成します。

2：教育方法の指針

- 1) 効率的な学修ができるよう、関連分野において、講義・演習・実習を有機的に組み合わせた教育を提供します。
- 2) 主体的・批判的に思考し、論理的に解釈する力を養う学習・実習課題を提供します。
- 3) 個々の学生が臨床検査に必要な技術を修得できるよう、可能な限り各自が個別に検査実技の実践ができる実習環境を提供します。
- 4) 連携力・コミュニケーション力を高めるためのグループワークや、プレゼンテーション力を養うための実習・研究成果の発表機会を設けます。
- 5) 半期毎に学習の到達度を検討し、必要に応じて個別指導を行います。

3：教育評価の指針

- 1) シラバスに記載された各科目の到達目標と、その到達度を判断する評価方法に基づいた評価を行います。
- 2) 半期毎に成績会議を開催し、教育効果と評価の妥当性について検証を行います。
- 3) 4年次の卒業研究を通して、4年間の学習の成果を総合的に判断します。

11. 健康開発学科 検査技術科学専攻 (Ver.2.0)

3. 卒業単位

検査技術科学専攻における卒業に必要な修得単位は128単位であり、内容は以下のとおりです。

区分		必修	選択	計
共通科目	教養科目	5	20以上	25以上
	初年次科目	2	—	2
	IPE科目	6	—	6
専門科目	専門基盤科目	15	—	15
	検査技術科学専門科目	77	3以上	80以上
計		105	23以上	128以上

以上の単位を修得し卒業すると臨床検査技師の国家試験受験資格が得られます。

なお、検査技術科学専攻の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は112ページ～114ページの一覧表のとおりです。

4. 先修条件

1. 教養科目について

自然科学実験を除く実験科目（物理学実験、化学実験、生物学実験）の履修は、関連する科目（物理学、化学、生物学）の単位を修得済み、または修得見込みであること。ただし、令和6年度以降の入学生については、上記実験科目の科目責任者が履修を認める場合は、先修条件が免除される。

なお、単位修得見込みとは、単位修得のための受験資格を得ていることをいう。（以下の先修条件でも同じ）

2. 検査技術科学専門科目について

- 1) 血液学実習Ⅰを履修するためには医療安全管理学演習の単位を、臨床微生物学実習を履修するためには微生物学実習の単位を、生理検査学Ⅲを履修するためには生理検査学実習Ⅰ・Ⅱの単位を、それぞれ修得済みまたは修得見込みであること。
- 2) 臨地実習を履修するためには、臨床検査医学総論、臨床化学検査学実習、一般臨床検査学実習、血液学実習Ⅰ、臨床微生物学実習、臨床免疫学実習、医動物学実習、輸血検査学実習、生理検査学実習Ⅲ、病理検査学Ⅱ、臨床検査管理総論及び臨床検査技能実習の単位を修得済み、または修得見込みであること。
- 3) 卒業研究を履修するためには、臨地実習の単位を修得済みまたは修得見込みであること。

11. 健康開発学科 検査技術科学専攻 (Ver.2.0)

5. 民間資格

〔健康食品管理士/食の安全管理士〕

この資格は、一般社団法人日本食品安全協会が認定している資格です。臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士の養成大学または学校教育法第83条に基づく大学であって、教育内容が協会の指定カリキュラムと同等もしくはそれ以上であると養成校として認定されます。養成校で指定カリキュラムを修了した者は、認定試験の受験資格が得られます。試験に合格し、資格を取得する場合には登録料が必要となります。

本学では健康開発学科検査技術科学専攻の学生のみが対象となります。受験資格を取得するためには指定カリキュラムである以下の科目の単位を修得する必要があります。

科目区分	授業科目名	単位	学科 必修	履修 年次	備考
専門科目	解剖学	2	◎	1	
	薬理学	1	◎	2	
	生化学	2	◎	1	
	病理学	1	◎	1	
	衛生学・公衆衛生学	2	◎	2	
	生理学	2	◎	1	
	免疫学	1	◎	1	
	医学概論・関係法規	1	◎	2	
	環境保健学	1	◎	2	
	臨床栄養学	1	◎	2	
	臨床検査医学総論	1	◎	3	
	病態生理学	2	◎	3	
	病理検査学 I	2	◎	2	
	血液学概論	1	◎	2	
	血液学	1	◎	3	
	臨床化学検査学	2	◎	2	
	臨床化学検査学演習	1	◎	3	
	微生物学	1	◎	2	
	微生物学実習	1	◎	2	
	臨床微生物学 I	2	◎	3	
	臨床微生物学 II	1	◎	3	
	臨床免疫学	1	◎	2	
	健康食品総論	1		4	
	疾病と健康食品	1		4	

健康開発学科 検査技術科学専攻カリキュラム Ver.2.0(2022年度以降入学生)

区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	
共通科目	リテラシー	必修 英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ演習	英語Ⅲ 英語Ⅳ			
	人文社会科学	選択 哲学 倫理学 宗教学 文学A 文学B 歴史学A 歴史学B 文化人類学 民俗学 法学(日本国憲法を含む) 政治学 経済学 社会学 教育学 心理学				
	自然科学	選択 コンピュータ科学入門 基本統計学 科学史 数理科学 物質の科学 物理学 化学 生物学 自然科学実験 物理学実験 化学実験 生物学実験				
	言語・表現・運動	選択 英語演習A 英語演習B 英語演習C 英語演習D 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 手話 日本語表現法 人間関係とコミュニケーション 海外英語研修 芸術活動A 芸術活動B 社会参加活動 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツと人間				
	総合力養成	選択	総合文化研究A 総合文化研究B 総合文化研究C 国際関係研究 国際協力研究 地球環境論 埼玉研究			
	人間性涵養	選択	比較文化研究 生命の意味 生命倫理の諸問題 人間関係論 人間の探求			
	※	選択	教養ゼミナール			
	初年次科目	必修	スタートアップセミナー			
	IPE科目	必修	ヒューマンケア論 ヒューマンケア体験実習	IPW論	IPW演習	IPW実習
	専門科目	専門基盤科目	必修 解剖学 生理学 生化学 救命救急法とファーストエイド 病理学 栄養学概論	内科学 薬理学 衛生学・公衆衛生学 保健福祉統計		
臨床検査専門科目		必修 臨床検査概論 臨床検査基礎演習 組織学実習 生物化学分析学実習 分子細胞生物学 免疫学 情報科学概論 医用工学概論 医用工学演習 検査機器総論	臨床栄養学 病理検査学Ⅰ 病理検査学実習Ⅰ 血液学概論 一般臨床検査学 一般臨床検査学実習 臨床化学検査学 臨床化学検査学実習 遺伝子検査学 臨床免疫学 臨床免疫学実習 微生物学 微生物学実習 生理検査学Ⅰ 生理検査学Ⅱ 生理検査学実習Ⅰ・Ⅱ 生理検査学演習 医学概論・関係法規 環境保健学 医療安全管理学 医療安全管理学演習	臨床検査医学総論 病態生理学 病理検査学Ⅱ 病理検査学実習Ⅱ 血液学 血液学実習Ⅰ 血液学実習Ⅱ 臨床化学検査学演習 遺伝子・染色体検査学実習 輸血・移植免疫検査学 輸血検査学実習 移植免疫検査学実習 臨床微生物学Ⅰ 臨床微生物学Ⅱ 臨床微生物学演習 臨床微生物学実習 生理検査学Ⅲ 生理検査学実習Ⅲ 医動物学実習 臨床検査管理総論 臨床検査技能実習 臨床実習	臨床病態学演習 臨床検査管理演習 臨床検査総合演習	
専門発展科目		必修		医科学研究法	卒業研究	
	選択			健康食品総論 疾病と健康食品 健診検査 病態生化学特論 病理学特論 臨床化学特論 公衆衛生学特論 微生物学特論 血液学特論 臨床生理学特論 臨床免疫学特論 一般臨床検査学特論 臨床病態学特論 遺伝子検査技術演習		

ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。履修登録等の際にカリキュラムマップと合わせて参照してください。

ナンバリングコードの読み方



ナンバリングコード表

大区分

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(検査技術科学)
大区分	B_LBA	B_FYE	B_IPE	B_CLS

レベルコード

レベルコード	
1	1年次より履修可能な科目
2	2年次より履修可能な科目
3	3年次より履修可能な科目
4	4年次より履修可能な科目

中区分・小区分

※専門科目のナンバリングは中分類ごとに小分類が分かれていますので、ご注意ください。

科目/領域		教養科目	初年次科目	IPE科目	科目/領域	専門科目(検査技術科学)		
中分類	一般科目	0	-	-	中分類	0	専門基盤科目	
		1	リテラシー	全科目		講義	1	臨床病態系
		2	人文社会科学	-		実習	2	形態検査系
		3	自然科学	-		演習	3	生物化学分析検査系
		4	言語・表現・運動	-		-	4	病因生体防御検査系
		5	総合力養成	-		-	5	生理検査系
		6	人間性涵養	-		-	6	環境衛生系
		7	教養ゼミナール	-		-	7	臨床検査管理系
		8	-	-		-	8	臨地実習
	9	-	-	-	9	専門発展系		
中分類	限定科目	A	-	-	限定科目	A	-	
		B	-	-		B	-	
		C	-	-		C	-	
		D	-	-		D	-	
		E	-	-		E	-	
		F	-	-		F	-	
小分類	限定科目	0	言語・文学	分類無しのためすべて「0」	小分類	対応する中分類	0	1. 人体の構造と機能, 2. 医学検査の基礎, 3. 保健医療福祉
		1	哲学・倫理学・宗教学・歴史学・文化人類学・民俗学				1	1. 臨床栄養学, 2. 病態生理学, 3. 臨床検査医学
		2	政治・経済・法学・社会学				2	1. 組織学, 2. 病理検査学, 3. 血液学
		3	心理学・教育学				3	1. 生物化学分析学, 2. 一般臨床検査学, 3. 臨床化学検査学, 4. 遺伝子検査学
		4	物理学				4	1. 免疫学, 2. 輸血・移植免疫学, 3. 微生物学
		5	化学				5	1. 医用工学・情報科学, 2. 生理検査学
		6	生物学				6	1. 環境保健学, 2. 健康食品
		7	情報科学				7	1. 臨床検査学導入, 2. 臨床検査管理学, 3. 医療安全管理学, 4. 臨床検査学総合
		8	複合・学際・国際関係				8	1. 技能実習, 2. 臨地実習
9	スポーツ・芸術・社会活動	9	1. 医学研究法, 2. 卒業研究					

言語コード

言語コード	
0	日本語
1	英語
2	日本語および英語
3	日本語および英語以外の外国語
4	-
5	-
6	-
7	-
8	-
9	その他言語

健康開発学科 検査技術科学専攻 開設科目と配当年次 (Ver2.0)

DPの達成に、密接に関連している (◎)、関連している (○)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要授業科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
リテラシー	B_LBA1102	英語 I					○	◎	30	1		1					
	B_LBA1102	英語 II					○	◎	30	1		1					
	B_LBA2102	英語 III					○	◎	30	1			1				
	B_LBA2102	英語 IV					○	◎	30	1			1				
	B_LBA1170	コンピュータ演習	○			◎	○		30	1		1					
人文社会科学	B_LBA1210	哲学			◎	○			30		2	2	※	※	※	主幹階層の3領域（「人文社会科学」、「自然科学」、「言語・表現・運動」）から各2単位以上選択計6単位以上選択 ※授業科目の名称の末尾に「*」が付記されているの科目の講義内容については、シラバス及び時間割を確認すること。	
	B_LBA1210	倫理学		◎	○				30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	宗教学		◎	○			○	30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1200	文学A*		◎	○				30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1200	文学B*		◎	○				30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	歴史学A*		○	◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	歴史学B*		○	◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	文化人類学		○	○			◎	30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1210	民俗学		○	◎			○	30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1220	法学（日本国憲法を含む）		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1220	政治学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1220	経済学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1220	社会学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1230	教育学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1230	心理学		◎	○	○			30		2	2	※	※	※		
自然科学	B_LBA1370	コンピュータ科学入門			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1370	基本統計学			○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	科学史			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	数理科学			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	物質の科学			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1340	物理学			◎	○			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1350	化学			○	◎			30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1360	生物学			◎				30		2	2	※	※	※		
	B_LBA1380	自然科学実験			◎	○			30		1	1	※	※	※		
	B_LBA1340	物理学実験			◎	○			45		1	1	※	※	※		
	B_LBA1350	化学実験			○	◎			45		1	1	※	※	※		
	B_LBA1360	生物学実験			◎				45		1	1	※	※	※		
	言語・表現・運動	B_LBA1402	英語演習A					○	◎	30		1	1	※	※	※	
		B_LBA1402	英語演習B					○	◎	30		1	1	※	※	※	
		B_LBA1402	英語演習C					○	◎	30		1	1	※	※	※	
B_LBA1402		英語演習D					○	◎	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1403		中国語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		中国語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		コリア語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		コリア語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		フランス語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		フランス語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		スペイン語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1403		スペイン語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1400		手話				◎			30		1	1	※	※	※		
B_LBA1400		日本語表現法			○		◎		30		2	2	※	※	※		
B_LBA1430		人間関係とコミュニケーション		○		○	◎		30		2	2	※	※	※		
B_LBA1402		海外英語研修				○	◎		30		2	2	※	※	※		
B_LBA1490		芸術活動A*				◎	◎		30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490		芸術活動B*				◎	◎		30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490		社会参加活動		○			◎	○	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490		スポーツ実技 I					◎	○	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490	スポーツ実技 II					◎	○	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490	スポーツと人間					◎	○	30		2	2	※	※	※			
総合力養成	B_LBA2580	総合文化研究A*		○		◎		○	15		1		1	※	※	発展階層の2領域（「総合力養成」、「人間性涵養」）から各1単位以上選択計4単位以上選択 ※ただし教養ゼミナールはどちらの領域にも適用可とする。 ※授業科目の名称の末尾に「*」が付記されているの科目の講義内容については、シラバス及び時間割を確認すること。	
	B_LBA2580	総合文化研究B*		○		◎		○	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	総合文化研究C*		○		◎		○	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	国際関係研究		○		○		◎	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	国際協力研究						◎	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	地球環境論			○	○		◎	15		1		1	※	※		
	B_LBA2580	埼玉研究				◎		○	15		1		1	※	※		
	B_LBA2680	比較文化研究		◎				○	15		1		1	※	※		
	B_LBA2680	生命の意味			◎	○			15		1		1	※	※		
	B_LBA2680	生命倫理の諸問題		◎	○	○			15		1		1	※	※		
人間性涵養	B_LBA2680	人間関係論		◎	○				15		1		1	※	※		
	B_LBA2680	人間の探求			◎	○	○		15		1		1	※	※		
	B_LBA2780	教養ゼミナール*			◎	○		○	30		2		2	※	※		
初年次科目	B_FYE1100	スタートアップセミナー	○				◎		30	2		2					

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
共通科目	I P E 科目	B_IPE1100	ヒューマンケア論	○	○		◎		30	2		2				
		B_IPE1300	ヒューマンケア体験実習	○	○		◎		45	1		1				
		B_IPE2100	I P W論	○	○		◎		15	1			1			
		B_IPE3200	I P W演習	○	○		◎		15	1				1		
		B_IPE4300	I P W実習	○	○		◎		45	1					1	
専門 基盤 科目		B_CLS1010	解剖学	○	◎				30	2		2				
		B_CLS1010	生理学	○	○	◎			30	2		2				
		B_CLS1010	生化学	○		○	◎		30	2		2				
		B_CLS2020	内科学	○		○	◎		30	2			2			
		B_CLS1030	救命救急法とファーストエイド	○	◎	○			15	1		1				
		B_CLS2020	薬理学	○	○		◎		15	1			1			
		B_CLS1020	病理学	○		○	◎	○	15	1		1				
		B_CLS2030	衛生学・公衆衛生学	○		○	◎		30	2			2			
		B_CLS2030	保健福祉統計	○		◎	○		15	1			1			
		B_CLS1020	栄養学概論	○		◎			15	1		1				
専門 科目	検査 技術 科学 専門 科目	臨床 検査 専門 科目	B_CLS1210	組織学実習	○		○	◎		30	1		1			
			B_CLS1310	生物化学分析学実習	○		○	◎		45	1		1			
			B_CLS1340	分子細胞生物学	○	○	○	◎		30	1		1			
			B_CLS2430	微生物学	○		○	◎		30	1			1		
			B_CLS1410	免疫学	○		○	◎		15	1		1			
			B_CLS2110	臨床栄養学	○			◎	○	15	1			1		
			B_CLS3120	病態生理学	○		○	◎		30	2				2	
			B_CLS3130	臨床検査医学総論	○		○	◎		30	1				1	
			B_CLS4130	臨床病態学演習	○		○	◎		30	1					1
			B_CLS2610	医学概論・関係法規	○		○	◎	○	15	1			1		
			B_CLS2610	環境保健学	○			◎	○	30	1			1		
			B_CLS1710	検査機器総論	○		○	◎		30	1		1			
			B_CLS1510	情報科学概論	○		○	◎		15	1		1			
			B_CLS1510	医用工学概論	○		○	◎		15	1		1			
			B_CLS1510	医用工学演習	○		○	◎		30	1		1			
			B_CLS2230	血液学概論	○		○	◎		15	1			1		
			B_CLS3230	血液学	○		○	◎		30	1				1	
			B_CLS3230	血液学実習 I	○		○	◎		45	1				1	
			B_CLS3230	血液学実習 II	○		○	◎		45	1				1	
			B_CLS2220	病理検査学 I	○		○	◎		30	2			2		
			B_CLS2220	病理検査学実習 I	○		○	◎		45	1			1		
			B_CLS3220	病理検査学 II	○		○	◎		30	1				1	
			B_CLS3220	病理検査学実習 II	○		○	◎		45	1				1	
			B_CLS2320	一般臨床検査学	○		○	◎		15	1			1		
			B_CLS2320	一般臨床検査学実習	○		○	◎		45	1			1		
			B_CLS3620	医動物学実習	○		○	◎	○	45	1				1	
			B_CLS2330	臨床化学検査学	○		○	◎		30	2			2		
			B_CLS2330	臨床化学検査学実習	○		○	◎		45	1			1		
			B_CLS3330	臨床化学検査学演習	○		○	◎		30	1				1	
			B_CLS2410	臨床免疫学	○		○	◎		30	1			1		
			B_CLS2410	臨床免疫学実習	○		○	◎		45	1			1		
			B_CLS2340	遺伝子検査学	○	○	○	◎		15	1			1		
			B_CLS3340	遺伝子・染色体検査学実習	○	○	○	◎		30	1				1	
			B_CLS3420	輸血・移植免疫検査学	○		○	◎		30	2				2	
			B_CLS3420	輸血検査学実習	○		○	◎		30	1				1	
			B_CLS3420	移植免疫検査学実習	○	○	○	◎		30	1				1	
			B_CLS2430	微生物学実習	○		○	◎		45	1			1		
			B_CLS3430	臨床微生物学 I	○		○	◎	○	30	2				2	
			B_CLS3430	臨床微生物学 II	○		○	◎	○	15	1				1	
			B_CLS3430	臨床微生物学演習	○		○	◎		15	1				1	
			B_CLS3430	臨床微生物学実習	○		○	◎		30	1				1	
			B_CLS2520	生理検査学 I	○		○	◎		30	2			2		
			B_CLS2520	生理検査学 II	○		○	◎		15	1			1		
			B_CLS2520	生理検査学演習	○	○		◎		15	1			1		
			B_CLS3520	生理検査学 III	○			◎	○	30	2				2	
B_CLS2520	生理検査学実習 I・II	○	○		◎		45	1			1					
B_CLS3520	生理検査学実習 III	○	○		◎		45	1				1				
B_CLS1710	臨床検査基礎演習	○		○	◎		30	1		1						
B_CLS1710	臨床検査概論	○	○	○	◎		15	1		1						
B_CLS3720	臨床検査管理総論	○		○	◎	○	30	2				2				
B_CLS4720	臨床検査管理演習	○		○	◎	○	30	1					1			
B_CLS4740	臨床検査総合演習	○			◎		30	1					1			
B_CLS2730	医療安全管理学	○	○	○	◎		15	1			1					
B_CLS2730	医療安全管理学演習	○	○	○	◎		15	1			1					
B_CLS3810	臨床検査技能実習	○	○	○	◎		45	1				1				
B_CLS3820	臨地実習	○	○	○	◎	○	450	10					10			

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門科目	検査技術科学専門科目 専門発展科目	B_CLS3910	医科学研究法		○	○	◎			15	1				1	
		B_CLS4920	卒業研究		○	○	◎		○	—	3					3
		B_CLS4620	健康食品総論			○	◎	○		15		1				1
		B_CLS4620	疾病と健康食品			○	◎	○		15		1				1
		B_CLS4720	健診検査		○		◎	○		15		1				1
		B_CLS4120	病態生化学特論			○	◎			15		1				1
		B_CLS4220	病理学特論			○	◎			15		1				1
		B_CLS4330	臨床化学特論			○	◎			15		1				1
		B_CLS4610	公衆衛生学特論			○	◎	○		15		1				1
		B_CLS4410	微生物学特論			○	◎		○	15		1				1
		B_CLS4230	血液学特論			○	◎	○		15		1				1
		B_CLS4520	臨床生理学特論			○	◎	○		15		1				1
		B_CLS4420	臨床免疫学特論			○	◎			15		1				1
		B_CLS4320	一般臨床検査学特論			○	◎			15		1				1
		B_CLS4130	臨床病態学特論			○	◎			15		1				1
B_CLS4340	遺伝子検査技術演習			○	◎			15		1				1		
卒業要件 (単位数)	区分								必修	選択	計					
	共通科目	教養科目							5	20以上	25以上					
		初年次科目							2	—	2					
		IPE科目							6	—	6					
	専門科目	専門基礎科目							15	—	15					
検査技術科学専門科目								77	3以上	80以上						
計								105	23以上	128以上						

12. 健康開発学科 口腔保健科学専攻

1. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学保健医療福祉学部健康開発学科（口腔保健科学専攻）は、人々の健康と生活を統合的に支え共生社会に貢献できる人材を育成するために、所定の課程を修め、単位取得等の条件を充たしたうえで、次に示す目標が得られた者に学位を授与します。

1. 口腔保健に関する的確な実践力を備えていること。
2. 医療人としての人格と倫理観を備えていること。
3. 他職種との協働・連携を図る能力を備えていること。
4. 地域社会に対して貢献できる能力を備えていること。
5. 科学的思考力と問題解決能力を備えていること。

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本専攻では、本学の学位授与方針に基づいた専攻学位授与方針にて掲げる目標を達成するために必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

1：科目編成の指針

歯科医療の高度化と多様な口腔保健ニーズに対応するための専門知識と技術、科学的かつ創造的な思考力を身につけ、人々の健康を口腔領域から支援できる人材を養成するための教育課程を編成します。

2：教育方法の指針

口腔保健科学の特殊性から、視聴覚教材を用いた教育方法を取り入れるとともに、科目によっては主体的な学習力向上の観点からアクティブラーニングを取り入れた方法を用います。また各実習においては、極力、問題解決学習方法の導入を図るとともに、口腔保健科学で修得した専門知識を活用、発揮できる実習方法を用います。

3：教育評価の指針

基本的には科目ごとにおける到達度確認試験により評価を行い、不合格の者に対しては再試験を実施します。また科目によっては、到達度確認試験によらず、レポート作成提出などによる評価もあります。また一部の科目では、科目の順序性により先修条件を付与しているものがあるため、前の科目の単位取得が行えない場合、次の科目の履修が行えないという要件を付与することで、知識、技術の順序性を担保します。さらに3年後期から行われる臨地・臨床実習を履修するにあたっては、その前に客観的臨床能力試験（「臨地・臨床実習Ⅰ」の科目内で実施）による評価が行われ、これに合格する必要があります。

3. 卒業単位

口腔保健科学専攻における卒業に必要な修得単位は128単位であり、内容は以下のとおりです。

	区分	必修	選択	計
共通科目	教養科目	5	20以上	25以上
	初年次科目	2	—	2
	IPE科目	6	—	6
専門科目	専門基盤科目	18	11以上	95以上
	口腔保健科学専門科目	66		
	計	97	31以上	128以上

以上の単位を修得し卒業すると歯科衛生士の国家試験受験資格が得られます。

なお、口腔保健科学専攻の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は119ページ～121ページの一覧表のとおりです。

12. 健康開発学科 口腔保健科学専攻

4. 先修条件

1. 教養科目について

自然科学実験を除く実験科目（物理学実験、化学実験、生物学実験）の履修は、関連する科目（物理学、化学、生物学）の単位を修得済み、または修得見込みであること。ただし、令和6年度以降の入学生については、上記実験科目の科目責任者が履修を認める場合は、先修条件が免除される。

なお、単位修得見込みとは、単位修得のための受験資格を得ていることをいう。（以下の先修条件でも同じ）

2. 口腔保健科学専門科目について

- 1) 口腔健康教育論Ⅱを履修するには、口腔健康教育論Ⅰの単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。
- 2) 歯周病予防処置論Ⅱを履修するには、歯周病予防処置論Ⅰの単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。
- 3) 歯周病予防処置論Ⅲを履修するには、歯周病予防処置論Ⅱの単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。
- 4) 口腔健康教育実践論Ⅱを履修するには、口腔健康教育実践論Ⅰの単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。
- 5) チーム歯科医療学Ⅱを履修するには、チーム歯科医療学Ⅰの単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。
- 6) 看護臨床実習を履修するには、看護学概論ならびに母性看護学(総論)、小児看護学(総論)、小児保健看護学、看護援助方法論の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。
- 7) 臨地・臨床実習Ⅰ～Ⅲを履修するには、専門科目群のうち、3年次前期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。
- 8) 卒業研究（症例検討研究も含む）を履修するには、原則として3年次前期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。ただし、単位修得見込みでも履修を認める。

健康開発学科 口腔保健科学専攻カリキュラム

区分		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次		
共通科目	リテラシー	必修 英語Ⅰ 英語Ⅱ コンピュータ演習	英語Ⅲ 英語Ⅳ				
	教養科目	人文社会科学	選択 哲学 倫理学 宗教学 文学A 文学B 歴史学A 歴史学B 文化人類学 民俗学 法学(日本国憲法を含む) 政治学 経済学 社会学 教育学 心理学				
		自然科学	選択 コンピュータ科学入門 基本統計学 科学史 数理科学 物質の科学 物理学 化学 生物学 自然科学実験 物理学実験 化学実験 生物学実験				
		言語・表現・運動	選択 英語演習A 英語演習B 英語演習C 英語演習D 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 手話 日本語表現法 人間関係とコミュニケーション 海外英語研修 芸術活動A 芸術活動B 社会参加活動 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツと人間				
		総合力養成	選択	総合文化研究A 総合文化研究B 総合文化研究C 国際関係研究 国際協力研究 地球環境論 埼玉研究			
		人間性涵養	選択	比較文化研究 生命の意味 生命倫理の諸問題 人間関係論 人間の探求			
	※	選択	教養ゼミナール				
	初年次科目	必修	スタートアップセミナー				
	IPE科目	必修	ヒューマンケア論 ヒューマンケア体験実習	IPW論	IPW演習	IPW実習	
	専門科目	専門基礎科目	必修	生化学 栄養学概論 解剖学 生理学 病理学 カウンセリング技法 心の健康 救命救急法とファーストエイド	薬理学 内科学 衛生学・公衆衛生学 保健福祉統計		
選択			人間発達学 臨床心理学 リハビリテーション医学概論 家庭支援論	認知行動科学 整形外科科学 精神医学概論 小児科学 老年医学 社会保障概論 疫学			
口腔保健科学専門科目		口腔保健科学の基礎	必修	口腔保健科学概論 臨床歯科医学総論			
		健康の基礎医学	必修	組織・発生学 口腔解剖学Ⅰ 口腔解剖学Ⅱ 微生物学 免疫学	口腔生理学 口腔病理学 口腔微生物学 歯科薬理学		
			必修		栄養指導論 口腔衛生学Ⅰ 口腔衛生学Ⅱ	衛生行政	
		口腔保健科学の基礎	必修		保存系歯科学Ⅰ 保存系歯科学Ⅱ 歯科エックス線学 歯科材料学	保存系歯科学Ⅲ 補綴系歯科学 発育系歯科学 矯正歯科学 外科系歯科学(歯科麻酔学を含む) 高齢者・障害者歯科学	
			必修		口腔健康教育論Ⅰ 口腔健康教育論Ⅱ 歯周病予防処置論Ⅰ 歯周病予防処置論Ⅱ 齲蝕予防処置論 チーム歯科医療学Ⅰ	口腔健康教育実践論Ⅰ 口腔健康教育実践論Ⅱ 歯周病予防処置論Ⅲ チーム歯科医療学Ⅱ チーム歯科医療学Ⅲ 口腔機能リハビリテーション	チーム歯科医療学Ⅳ 口腔保健科学実践特論
		教育実践	必修		看護学概論 小児保健看護学 養護概説 ※2年次・4年次配当		
			選択		健康相談活動 母性看護学(総論) 小児看護学(総論) 看護援助方法論 看護臨床実習	口腔保健情報管理学	口腔機能管理論 口腔保健科学特講
		総合科目	必修		臨地・臨床実習Ⅰ		臨地・臨床実習Ⅱ 臨地・臨床実習Ⅲ 卒業研究(症例検討研究も含む)
養護限定科目		選択		養護実習Ⅰ		養護実習Ⅱ 教職実践演習(養護教諭)	
教職関連科目		選択	教育原理及び教育制度 教師論 教育心理学 教育課程論 教育方法論 生徒指導論				
			特別支援教育 道徳・総合的な学習の時間及び特別活動 教育相談 学校ボランティア演習Ⅰ		学校ボランティア演習Ⅱ 教職総合演習 保健室経営の理論及び方法		

ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。履修登録等の際にカリキュラムマップと合わせて参照してください。

ナンバリングコードの読み方



ナンバリングコード表

大分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(口腔保健科学)
大分類	B_LBA	B_FYE	B_IPE	B_OHS

レベルコード

レベルコード	
1	1年次より履修可能な科目
2	2年次より履修可能な科目
3	3年次より履修可能な科目
4	4年次より履修可能な科目

中分類・小分類

科目/領域	教養科目	初年次科目	IPE科目	専門科目(口腔保健科学)	
中分類	0	-	-	専門基礎科目	
	1	リテラシー	全科目	口腔保健科学の基礎	
	2	人文社会科学	-	演習	健康の基礎医学
	3	自然科学	-	実習	健康と予防に関わる人間と社会
	4	言語・表現・運動	-	-	口腔保健科学の基礎
	5	総合力養成	-	-	口腔保健科学の実践
	6	人間性涵養	-	-	教育実践
	7	教養ゼミナール	-	-	総合科目
	8	-	-	-	-
	9	-	-	-	-
	限定科目	A	-	-	-
		B	-	-	-
		C	-	-	養護限定科目
		D	-	-	-
		E	-	-	-
		F	-	-	-
小分類	0	言語・文学	分類無しのためすべて「0」	分類無しのためすべて「0」	-
	1	哲学・倫理学・宗教学・歴史学・文化人類学・民俗学			実践力
	2	政治・経済・法学・社会学			倫理観
	3	心理学・教育学			協働・連携
	4	物理学			地域社会貢献
	5	化学			科学的思考力・問題解決能力
	6	生物学			-
	7	情報科学			-
	8	複合・学際・国際関係			-
	9	スポーツ・芸術・社会活動			-

言語コード

言語コード	
0	日本語
1	英語
2	日本語および英語
3	日本語および英語以外の外国語
4	-
5	-
6	-
7	-
8	-
9	その他言語

健康開発学科 口腔保健科学専攻 開設科目と配当年次

DPの達成に、密接に関連している (◎)、関連している (○)

※印は複数年次開講

科目／領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要授業科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考		
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次			
共通科目	リテラシー	B_LBA1102	英語 I				○	◎	30	1		1						
		B_LBA1102	英語 II				○	◎	30	1		1						
		B_LBA2102	英語 III				○	◎	30	1			1					
		B_LBA2102	英語 IV				○	◎	30	1			1					
		B_LBA1170	コンピュータ演習	○			◎	○	30	1		1						
	人文社会科学	B_LBA1210	哲学			◎	○			30		2	2	※	※	※	主幹階層の3領域（「人文社会科学」、「自然科学」、「言語・表現・運動」）から各2単位以上選択計6単位以上選択 ※授業科目の名称の末尾に「*」が付記されているの科目の講義内容については、シラバス及び時間割を確認すること。	
		B_LBA1210	倫理学		◎	○				30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	宗教学		◎	○		○		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1200	文学A*		◎	○				30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1200	文学B*		◎	○				30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	歴史学A*		○	◎	○			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	歴史学B*		○	◎	○			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	文化人類学		○	○			◎	30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1210	民俗学		○	◎			○	30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1220	法学（日本国憲法を含む）		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1220	政治学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1220	経済学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1220	社会学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1230	教育学		○	○	◎			30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1230	心理学		◎	○	○			30		2	2	※	※	※		
		自然科学	B_LBA1370	コンピュータ科学入門			◎	○			30		2	2	※	※		※
			B_LBA1370	基本統計学			○	◎			30		2	2	※	※		※
			B_LBA1380	科学史			◎	○			30		2	2	※	※		※
			B_LBA1380	数理学			◎	○			30		2	2	※	※		※
			B_LBA1380	物質の科学			◎	○			30		2	2	※	※		※
			B_LBA1340	物理学			◎	○			30		2	2	※	※		※
			B_LBA1350	化学			○	◎			30		2	2	※	※		※
			B_LBA1360	生物学			◎				30		2	2	※	※		※
			B_LBA1380	自然科学実験			◎	○			30		1	1	※	※		※
			B_LBA1340	物理学実験			◎	○			45		1	1	※	※		※
	B_LBA1350		化学実験			○	◎			45		1	1	※	※	※		
	B_LBA1360		生物学実験			◎				45		1	1	※	※	※		
	言語・表現・運動		B_LBA1402	英語演習A				○	◎	30		1	1	※	※	※		
			B_LBA1402	英語演習B				○	◎	30		1	1	※	※	※		
			B_LBA1402	英語演習C				○	◎	30		1	1	※	※	※		
			B_LBA1402	英語演習D				○	◎	30		1	1	※	※	※		
			B_LBA1403	中国語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※		
			B_LBA1403	中国語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※		
			B_LBA1403	コリア語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※		
			B_LBA1403	コリア語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※		
			B_LBA1403	フランス語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※		
			B_LBA1403	フランス語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※		
			B_LBA1403	スペイン語 I				○	◎	30		1	1	※	※	※		
			B_LBA1403	スペイン語 II				○	◎	30		1	1	※	※	※		
			B_LBA1400	手話					◎		30		1	1	※	※	※	
		B_LBA1400	日本語表現法			○		◎		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1430	人間関係とコミュニケーション	○			○	◎		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1402	海外英語研修				○	◎		30		2	2	※	※	※		
		B_LBA1490	芸術活動A*				○	◎		30		1	1	※	※	※		
		B_LBA1490	芸術活動B*					◎	○	30		1	1	※	※	※		
B_LBA1490		社会参加活動	○				◎	○	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490		スポーツ実技 I					◎	○	30		1	1	※	※	※			
B_LBA1490	スポーツ実技 II					◎	○	30		1	1	※	※	※				
B_LBA1490	スポーツと人間					◎	○	30		2	2	※	※	※				
発展階層	総合力養成	B_LBA2580	総合文化研究A*		○		◎		○	15		1		1	※	発展階層の2領域（「総合力養成」、「人間性涵養」）から各1単位以上選択計4単位以上選択		
		B_LBA2580	総合文化研究B*		○		○		◎	15		1		1	※			
		B_LBA2580	総合文化研究C*		○		○		◎	15		1		1	※			
		B_LBA2580	国際関係研究		○		○		◎	15		1		1	※			
		B_LBA2580	国際協力研究		○		○		◎	15		1		1	※			
	B_LBA2580	地球環境論			○	○		◎	15		1		1	※	※ただし教養ゼミナールはどちらの領域にも適用可とする。 ※授業科目の名称の末尾に「*」が付記されているの科目の講義内容については、シラバス及び時間割を確認すること。			
	B_LBA2580	埼玉研究				◎		○	15		1		1	※				
	B_LBA2680	比較文化研究		◎				○	15		1		1	※				
	B_LBA2680	生命の意味			◎	○			15		1		1	※				
	B_LBA2680	生命倫理の諸問題		◎	○	○			15		1		1	※				
	B_LBA2680	人間関係論		◎	○				15		1		1	※				
	B_LBA2680	人間の探求			◎	○	○		15		1		1	※				
	B_LBA2780	教養ゼミナール*			◎	○		○	30		2		2	※				
	初年次科目	B_FYE1100	スタートアップセミナー	○				◎		30	2		2					

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(○)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
教養科目	I P E 科目	B_IPE1100	ヒューマンケア論	○	○		◎		30	2		2				
		B_IPE1300	ヒューマンケア体験実習	○	○		◎		45	1		1				
		B_IPE2100	I P W論	○	○	○	◎		15	1			1			
		B_IPE3200	I P W演習	○	○	○	◎		15	1				1		
		B_IPE4300	I P W実習	○	○	○	◎		45	1					1	
専門 基盤 科目		B_OHS1050	生化学	○		○	◎		30	2		2				
		B_OHS1050	栄養学概論	○		◎			15	1		1				
		B_OHS1050	人間発達学		◎	○			30		2	2				
		B_OHS1050	解剖学	○	◎				30	2		2				
		B_OHS1050	生理学	○	○	◎			30	2		2				
		B_OHS1050	臨床心理学		◎	○	○	○	30		2	2				
		B_OHS2050	薬理学	○	○		◎		15	1			1			
		B_OHS2050	認知行動科学		◎		○		15		1		1			
		B_OHS1050	リハビリテーション医学概論		○	○	◎	○	15		1	1				
		B_OHS1050	病理学	○		○	◎	○	15	1		1				
		B_OHS2050	内科学	○		○	◎		30	2			2			
		B_OHS2050	整形外科		○	○	◎	○	30		2		2			
		B_OHS2050	精神医学概論		◎		○		15		1		1			
		B_OHS2050	小児科学		◎		○		15		1		1			
		B_OHS2050	老年医学			○	◎		15		1		1			
		B_OHS2050	社会保障概論			○	◎		30		2		2			
		B_OHS1050	カウンセリング技法		◎			○	30	1		1				
		B_OHS1050	家庭支援論		○		◎		30		2	2				
		B_OHS1050	心の健康		◎	○			30	2		2				
		B_OHS1050	救命救急法とファーストエイド		◎	○			15	1		1				
		B_OHS2050	衛生学・公衆衛生学	○		○	◎		30	2			2			
		B_OHS2050	保健福祉統計	○		◎	○		15	1			1			
		B_OHS2050	疫学			◎	○		15		1		1			
専門 科目	口腔保健科 学の基礎	B_OHS1120	口腔保健科学概論		◎		○		30	2		2				
		B_OHS1110	臨床歯科医学総論		◎		○		15	1		1				
	健康 の 基礎 医学	B_OHS1210	組織・発生学	○			◎		15	1		1				
		B_OHS1210	口腔解剖学 I	○	○		◎		15	1		1				
		B_OHS1210	口腔解剖学 II	○			◎		60	2		2				
		B_OHS2210	口腔生理学	○			◎		30	1			1			
		B_OHS2210	口腔病理学	○			◎		30	1			1			
		B_OHS1210	微生物学				◎		15	1		1				
		B_OHS1210	免疫学	○			◎		15	1		1				
		B_OHS2210	口腔微生物学				◎		30	1			1			
		B_OHS2210	歯科薬理学				◎		30	1			1			
		B_OHS2310	栄養指導論			○	◎		30	1			1			
	口腔 保健 科学 専門 科目	健康と 予防と 社会 関	B_OHS2310	口腔衛生学 I	○		◎	○		30	1			1		
			B_OHS2310	口腔衛生学 II	○		◎	○		30	1			1		
			B_OHS3340	衛生行政	○		◎	○		15	1				1	
			B_OHS3320	医療管理学		○	◎			30		1			1	
		口腔 保健 科学 の 基礎	B_OHS2410	保存系歯科学 I				◎	○		30	1			1	
			B_OHS2410	保存系歯科学 II				◎	○		30	1			1	
			B_OHS3410	保存系歯科学 III				◎	○		30	1			1	
			B_OHS3410	補綴系歯科学				◎		30	1				1	
B_OHS3410	発育系歯科学		◎			○		30	1				1			
B_OHS3410	矯正歯科学				◎		30	1				1				
B_OHS3410	外科系歯科学(歯科麻酔学を含む)				◎		30	1				1				
B_OHS2410	歯科エックス線学			◎			30	1			1					
B_OHS3410	高齢者・障害者歯科学		◎		○		30	1				1				
B_OHS2410	歯科材料学		○		◎		30	1			1					

DPの達成に、密接に関連している(◎)、関連している(o)

※印は複数年次開講

科目/領域	ナンバリング	授業科目の名称	主要 授業 科目	科目とDPとの対応					時間数	単位数		配当年次				備考	
				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
専門科目 口腔保健科学専門科目	口腔保健科学の実践	B_OHS2540	口腔健康教育論Ⅰ	○	◎	○			30	1			1				
		B_OHS2540	口腔健康教育論Ⅱ	○	◎	○			30	1			1				
		B_OHS3540	口腔健康教育実践論Ⅰ	○		○	◎		30	1					1		
		B_OHS3540	口腔健康教育実践論Ⅱ	○			◎	○	30	1					1		
		B_OHS2540	学校保健			◎	○		30		2			2			※
		B_OHS2510	歯周病予防処置論Ⅰ	○			◎		30	2				2			
		B_OHS2510	歯周病予防処置論Ⅱ	○		○	◎		60	2				2			
		B_OHS3510	歯周病予防処置論Ⅲ	○		○	◎		60	2					2		
		B_OHS2510	齲蝕予防処置論			○	◎		45	1				1			
		B_OHS3550	口腔保健情報管理学			◎	○		15		1				1		
		B_OHS2530	チーム歯科医療学Ⅰ	○	○		◎		45	1				1			
		B_OHS3530	チーム歯科医療学Ⅱ	○			◎	○	45	1					1		
		B_OHS3530	チーム歯科医療学Ⅲ	○			◎	◎	45	1					1		
		B_OHS4530	チーム歯科医療学Ⅳ	○		○	◎		45	1						1	
		B_OHS3530	口腔機能リハビリテーション	○	◎		○		30	1					1		
	B_OHS4530	口腔保健科学実践特論				○	◎	30	1						1		
	B_OHS4530	口腔機能管理論				○	◎	30		2					2		
	B_OHS4550	口腔保健科学特講				○	◎	15		1					1		
	B_OHS3630	健康相談活動				○	◎	30		2					2		
	教育実践	B_OHS2630	看護学概論	○	○		◎		30	2				2			
		B_OHS3630	母性看護学(総論)	○	○		◎		15		1				1		
		B_OHS3630	小児看護学(総論)	○	○		◎		15		1				1		
		B_OHS2630	小児保健看護学	○	○		◎		30		2			2		※	
		B_OHS3630	看護援助方法論	○	○		◎		15		1				1		
		B_OHS2630	養護概説		◎		◎		30		2			2		※	
		B_OHS3630	看護臨床実習	○	◎		○		60		2				2		
	総合科目	B_OHS3750	臨地・臨床実習Ⅰ	○	○		◎		450	10					10		
		B_OHS4750	臨地・臨床実習Ⅱ	○	○		◎		90	2					2		
		B_OHS4750	臨地・臨床実習Ⅲ	○			○	◎	270	6					6		
		B_OHS4750	卒業研究(症例検討研究も含む)	○			○	◎	—	2					2		
	養護限定科目	B_OHS3C30	養護実習Ⅰ		○		◎		30		1				1		事前事後指導を含む
		B_OHS4C30	養護実習Ⅱ		○		◎		120		4				4		事前事後指導を含む
		B_OHS4C30	教職実践演習(養護教諭)		○		◎		30		2				2		
卒業要件 (単位数)	区分								必修	選択	計				※養護限定科目は卒業単位に含まれない。		
	共通科目	教養科目							5	20以上	25以上						
		初年次科目							2	—	2						
		IPE科目							6	—	6						
	専門科目	専門基礎科目							18	11以上	95以上						
口腔保健科学専門科目							66										
計									97	31以上	128以上						

13. 教員免許の手引

1. 教職課程

教育職員免許状（教員免許状）を取得するためには、卒業に必要な単位に加えて、養護に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目などを履修する必要があります。また、履修すべき科目には、特定の教養科目や各学科専攻の選択科目も含まれます。これらの科目は、1年次前期から開講されます。年度当初の教職ガイダンス等をよく聞いてしっかりとした履修計画を立ててください。

履修すべき科目が、取得を希望する免許状、所属する学科専攻によって異なりますので、以下の項目をよく理解し、学修計画を立てることが必要です。

2. 教員免許状の授与制度

教員免許状は、大学で修得した単位に関する証明をもって、卒業時に都道府県教育委員会へ申請し（本学では事務局でまとめて一括申請）、教育職員免許法及び同法施行規則に定められた科目の単位をすべて修得していることが認められた場合に都道府県教育委員会から授与されます。

3. 本学で取得できる教員免許状の種類

本学では文部科学省の課程認定を受けて、学科専攻に応じて以下の教員免許状が取得できます。

学科・専攻	教員免許状の種類	備考
看護学科	養護教諭一種	
社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻	幼稚園教諭一種 ^(注1)	
健康開発学科 健康行動科学専攻 ^(注2)	養護教諭一種	
健康開発学科 口腔保健科学専攻	養護教諭一種	

注1 幼稚園教諭一種については本章で取り扱いません。

本冊子「9. 社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 67ページ～92ページ」を確認してください。

注2 健康開発学科 健康行動科学専攻の2024年度入学生まで教員免許状の取得が可能です。

4. 必要最低単位数

本学の教職課程において教員免許状を取得するためには、以下の表に従って、必要な科目の単位を卒業に必要な単位を超えて修得しなければなりません。

	看護学科	健康開発学科	
		健康行動科学専攻	口腔保健科学専攻
教養科目 ^(注1)	8	8	8
養護に関する科目	3 4	3 5	3 5
教育の基礎的理解に関する科目	9	9	9
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	7	7	7
教職実践に関する科目	7	7	7
大学が独自に設定する科目	必修単位なし		
合計（必要最低履修単位数） ^(注2)	1 5 6	1 5 1	1 5 3

注1 以下の教養科目を履修する必要があります。1年次に配当されていますので、2年次以降の履修が難しい科目については1年次に単位を修得するよう心がけてください。

- 1) 「法学（日本国憲法を含む）」（2単位）
- 2) 「スポーツ実技Ⅰ」・「スポーツ実技Ⅱ」・「スポーツと人間」のうち2単位以上
- 3) 「英語Ⅰ」・「英語Ⅱ」（2単位）
- 4) 「コンピュータ科学入門」（2単位）

注2 1) 学科・専攻の卒業要件単位数と免許状の取得に必要な単位数の合計です。

2) 合計の履修単位数は、選択科目として履修する科目の単位数や科目数によって増加します。

5. 履修上の注意

教職課程履修者は、学年ごとに教職履修カルテへの必要事項の記録及び最終学年での提出が必要となります。また、養護実習Ⅰ及びⅡの履修には、履修要件を満たしていることを確認するための審査が行われます。詳しいことは、年度当初に実施する教職ガイダンスや実習ガイダンス等で説明しますので、必ず出席してください。ガイダンスの日程は、WebClassやCampusAvenueなどでお知らせします。なお、これらのガイダンスを欠席した場合、教職関連科目等を履修できないことがあります。

13. 教員免許の手引

6. 養護教諭免許状

(1) 養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目
(看護学科、健康行動科学専攻、口腔保健科学専攻 共通)

科目/領域	ナンバリング	授業科目名	科目とDPとの対応					単位	教職必修	教職選択	履修年次	備考
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5					
教育の基礎的理解に関する科目	B_TEA1100	教育原理及び教育制度		◎	○			2	◎		1～4	教職関連科目
	B_TEA1100	教師論			◎	○		2	◎		1～4	
	B_TEA1100	教育心理学	◎	○				2	◎		1～4	
	B_TEA2100	特別支援教育	◎		○			1	◎		2～4	
	B_TEA1100	教育課程論	○		◎			2	◎		1～4	
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	B_TEA2200	道徳・総合的な学習の時間及び特別活動		○	◎			1	◎		2～4	教職関連科目
	B_TEA1200	教育方法論	○	◎				2	◎		1～4	
	B_TEA1200	生徒指導論			◎		○	2	◎		1～4	
	B_TEA2200	教育相談			◎	○		2	◎		2～4	
教育実践に関する科目	—	養護実習Ⅰ	○		◎			1	◎		3	各学科・専攻専門科目
	—	養護実習Ⅱ	○		◎			4	◎		4	
	—	教職実践演習	○		◎			2	◎		4	
大学が独自に設定する科目	B_TEA2300	学校ボランティア演習Ⅰ			○	◎		2		※	2～4	教職関連科目
	B_TEA3300	学校ボランティア演習Ⅱ			○	◎		2		※	3・4	
	B_TEA3300	教職総合演習		○	◎			2		※	3・4	
	B_TEA3300	保健室経営の理論及び方法			◎	○		2		※	(3)・4	

※大学が独自に設定する科目は免許取得にあたって非常に有効になるので履修することが望ましい。

※学校ボランティア演習Ⅱを履修するには、学校ボランティア演習Ⅰの単位を履修済みであること。

※教職関連科目のナンバリングは次のとおり区分されています。

大分類	B_TEA
レベルコード	所属学科・専攻のコードを参照のこと。
中分類	1 教育の基礎的理解に関する科目、2 道徳、総合的な学習の時間及び生徒指導、教育相談等に関する科目、3 大学が独自に設定する科目
小分類	分類無しのためすべて0
言語コード	所属学科・専攻のコードを参照のこと。

(2) 看護学科における養護教諭一種免許状取得のための養護に関する科目

科目区分	授業科目名	単位	教職必修	学科必修	履修年次	備考
衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む。)	衛生学・公衆衛生学	2	◎	◎	2	予防医学を含む
	保健福祉統計	1	◎	◎	2	
	感染管理	1	◎		3	
学校保健	学校保健	2	◎		2	
養護概説	養護概説	2	◎		2	
健康相談活動の理論及び方法	カウンセリング技法	1	◎		1	
	学校臨床相談の実際	1	◎		3	
栄養学 (食品学を含む。)	生化学概論	1	◎	◎	1	
	栄養学・食生活論	1	◎	◎	1	
解剖学・生理学	解剖学	2	◎	◎	1	
	生理学	2	◎	◎	1	
「微生物学、免疫学、薬理概論」	看護薬理学	2	◎	◎	2	
	感染と防御	1	◎	◎	1	
精神保健	心の健康	2	◎		1	
看護学（臨床実習及び救急処置を含む。)	看護学原論	2	◎	◎	1	救急処置を含む 臨床実習を含む
	看護方法Ⅰ（看護の基本技術）	1	◎	◎	1	
	母性看護学Ⅰ（総論）	1	◎	◎	1	
	精神看護学Ⅰ（総論）	2	◎	◎	2	
	家族看護学	1	◎	◎	2	
	小児看護学Ⅰ（総論）	1	◎	◎	1	
	看護研究	1	◎	◎	3	
	看護管理	1	◎	◎	4	
	成人看護学Ⅳ（クリティカルケア）	1	◎	◎	2	
	小児看護学実習	2	◎	◎	3	

単位数

・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 34単位

13. 教員免許の手引

(3) 健康開発学科健康行動科学専攻における養護教諭一種免許状取得のための養護に関する科目
※2024年度入学生まで教員免許状の取得が可能

科目区分	授業科目名	単位	教職必修	学科必修	履修年次	備考
衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	衛生学・公衆衛生学	2	◎	◎	2	予防医学含む
	健康科学4(保健福祉統計)	2	◎	◎	2	
学校保健	学校保健	2	◎		2	
養護概説	養護概説	2	◎		2	
健康相談活動の理論及び方法	カウンセリング技法	1	◎	◎	1	
	健康相談活動	2	◎		3	
栄養学 (食品学を含む。)	生化学	2	◎	◎	1	食品学含む
	栄養学・食生活論	1	◎	◎	1	
解剖学・生理学	解剖学	2	◎	◎	1	
	解剖学実習	1	◎	◎	1	
	生理学	2	◎	◎	1	
	生理学実習	1	◎	◎	2	
「微生物学、免疫学、 薬理概論」	微生物学	1	◎		3	
	免疫学	1	◎		3	
	薬理学	1	◎		2	
精神保健	心の健康	2	◎	◎	1	
看護学（臨床実習及び 救急処置を含む。)	救命救急法とファーストエイド	1	◎	◎	1	
	看護学概論	2	◎		2	
	小児保健看護学	2	◎		2	
	看護援助方法論	1	◎		3	
	小児看護学（総論）	1	◎		3	
	母性看護学（総論）	1	◎		3	
	看護臨床実習	2	◎		3	

単位数

・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 35単位

(4) 健康開発学科口腔保健科学専攻における養護教諭一種免許状取得のための養護に関する科目

科目区分	授業科目名	単位	教職必修	学科必修	履修年次	備考
衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	衛生学・公衆衛生学	2	◎	◎	2	予防医学含む
	保健福祉統計	1	◎	◎	2	
	衛生行政	1	◎	◎	3	
学校保健	学校保健	2	◎		2	
養護概説	養護概説	2	◎		2	
健康相談活動の理論及び方法	カウンセリング技法	1	◎	◎	1	
	健康相談活動	2	◎		3	
栄養学 (食品学を含む。)	生化学	2	◎	◎	1	食品学含む
	栄養学概論	1	◎	◎	1	
	栄養指導論	1	◎	◎	2	
解剖学及び生理学	解剖学	2	◎	◎	1	
	生理学	2	◎	◎	1	
	組織・発生学	1	◎	◎	1	
「微生物学、免疫学、 薬理概論」	微生物学	1	◎	◎	1	
	免疫学	1	◎	◎	1	
	薬理学	1	◎	◎	2	
精神保健	心の健康	2	◎	◎	1	
看護学（臨床実習及び 救急処置を含む。)	救命救急法とファーストエイド	1	◎	◎	1	
	看護学概論	2	◎	◎	2	
	小児保健看護学	2	◎		2	
	看護援助方法論	1	◎		3	
	小児看護学（総論）	1	◎		3	
	母性看護学（総論）	1	◎		3	
	看護臨床実習	2	◎		3	

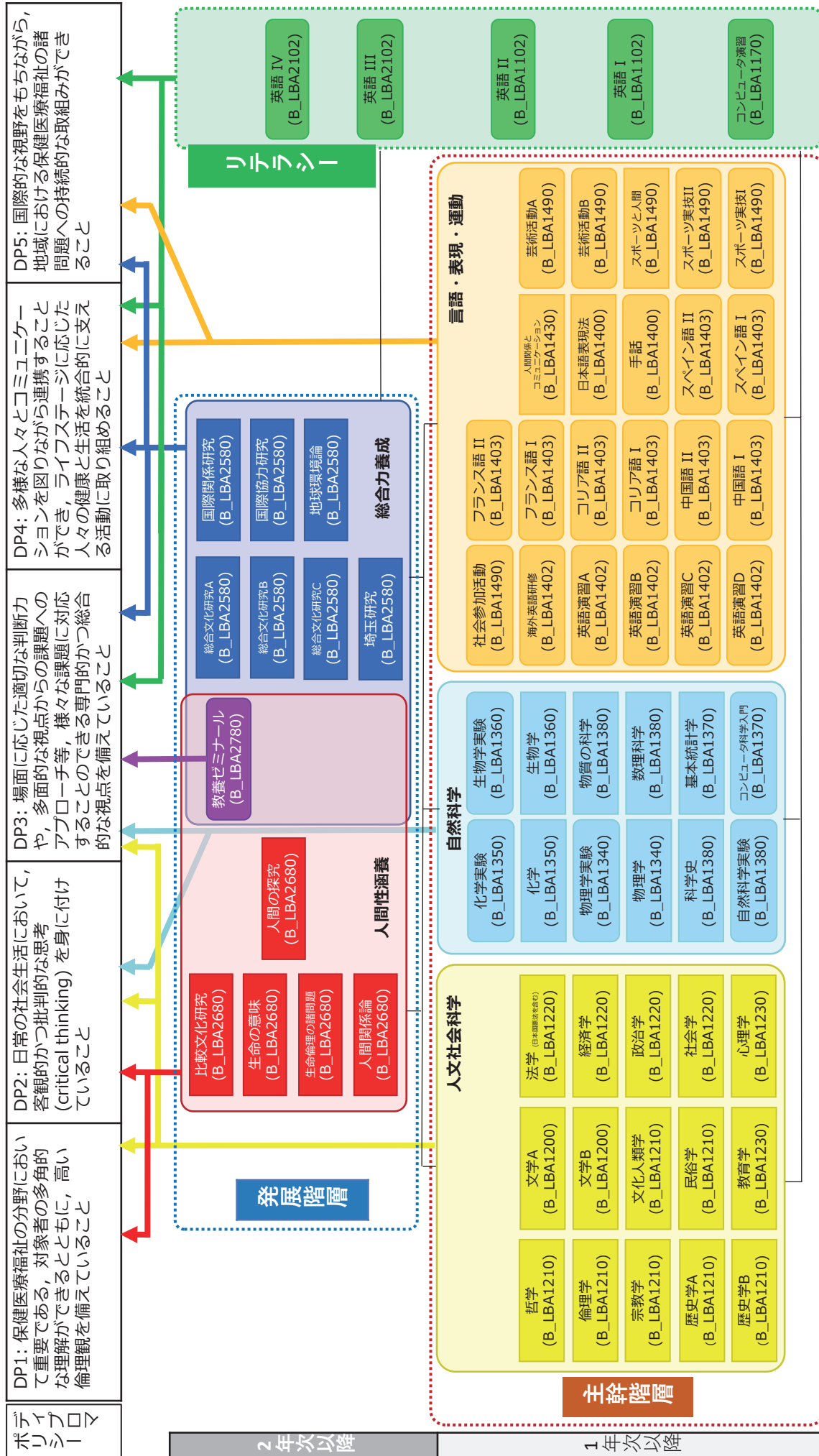
単位数

・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 35単位

カリキュラムマップとは

- カリキュラムマップは、授業科目がカリキュラム全体のどこに位置づけられるのかを、視覚的に示した図です。
- 科目の種類、順序性、関連性、ディプロマポリシーとの対応関係などが直観的に把握できます。
- 入学から卒業まで、カリキュラム全体像を見つめながら、目的に向かつて学習を積み上げていくうえに有効なツールです。
- 履修登録や修得単位の確認、コース選択などに、ナンバリングと併せてぜひ活用してください。

教養科目 カリキュラムマップ



講義

実技・演習
・実験

2 年次以降

1 年次以降

作業療法学科 カリキュラムマップ

◆高い倫理観

◆人々の生活上の行為を理解する力

◆人々の生活上の行為の改善、維持、向上に働きかける力

人々の環境、文化的背景やライフステージを考慮した行為の理解力や支援力

人々の行為を理解するための基礎的な力／人々の生活・障害・環境の理解力

初年次科目

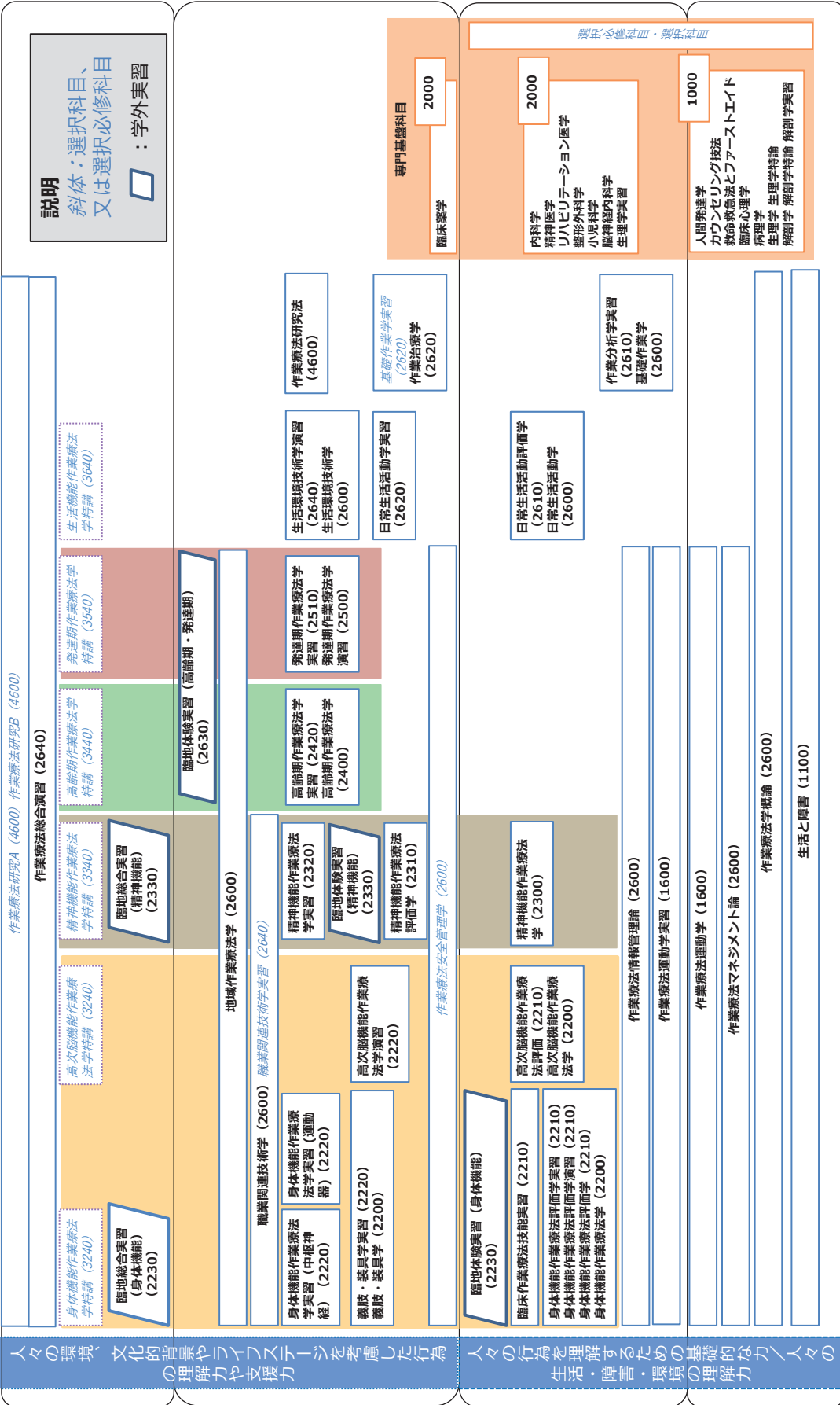
教養科目・I P E科目

4年次

3年次

2年次

1年次



社会福祉子ども学科 福祉子ども学専攻 カリキュラムマップ (カリ2019ver.2.0 & ver.3.0)

ボテ リイ シ ー ロ マ	DP1:教育保育の分野において重要である。子どもや家族の多角的な理解ができるとともに、高い倫理観を備えていること。	DP2:教育・保育の専門職者を目指すものとして、客観的かつ批判的な思考(critical thinking)を身に付けていること。	DP3:様々な育ちや社会的背景のある子どもや家族を支援するために、様々な課題に対応することのできる専門的かつ総合的な視点を備えていること。	DP4:多様な人々とコミュニケーションを図りながら連携し、子どもと家族の生活を統合的に支える活動に取り組むことができること。	DP5:多文化を背景にする子どもと家族の生活を理解し、地域生活における諸問題への持続的な取り組みができること。
------------------------------	---	---	---	--	---

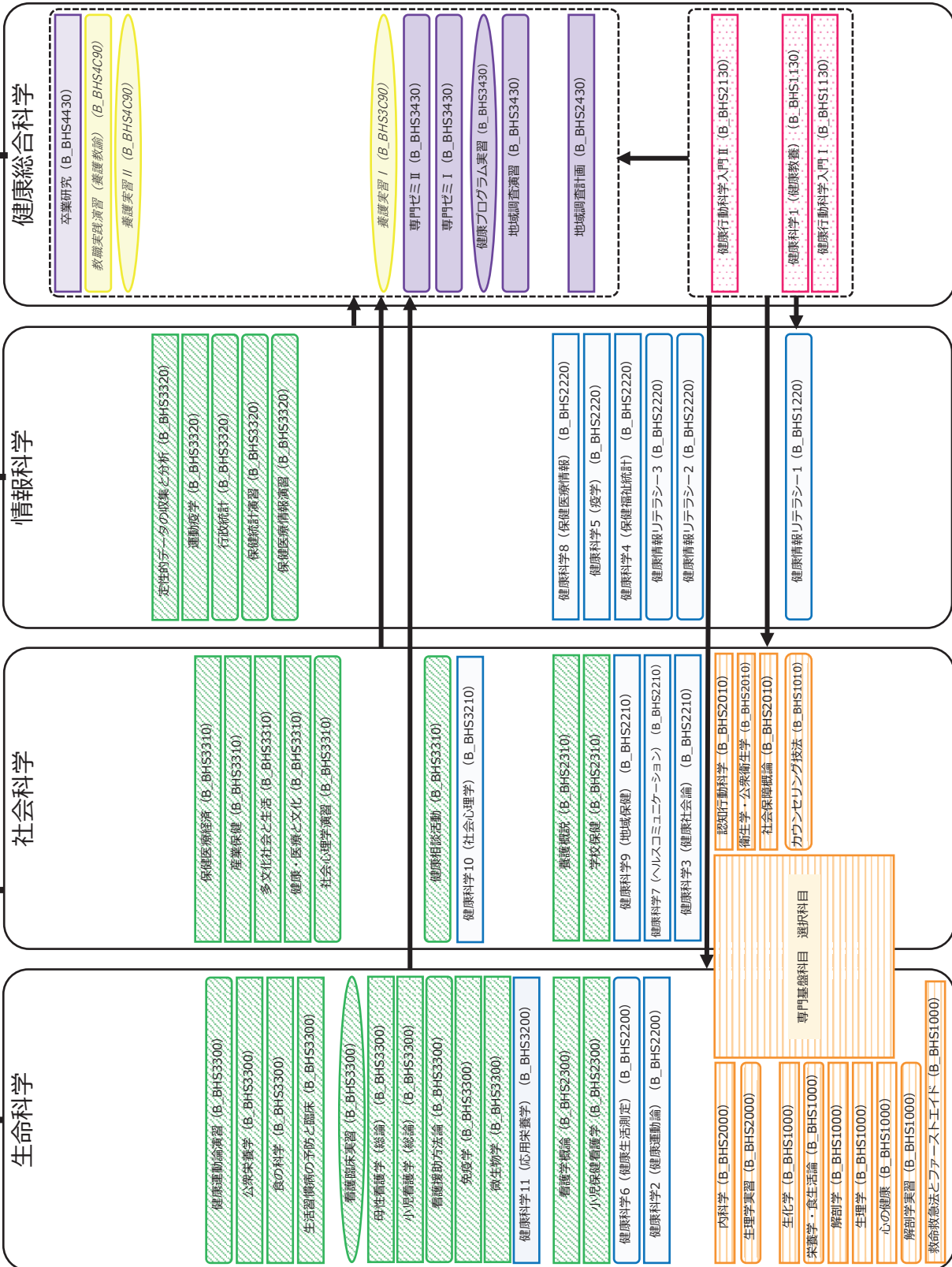
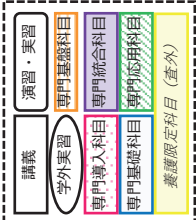
4年次	教育実習(幼)II B_SCS4540	保育相談支援 B_SCS3420	保育実習IA B_SCS3740	教育実習(幼)I B_SCS2540	専門基礎科目
	保育・教職実践演習(幼) B_SCS4520				
3年次	卒業研究 B_SCS4620	子ども家庭支援の心理学 B_SCS3710	保育実習IB B_SCS3740	社会福祉の原理と政策I B_SCS2710	初年次科目
	保育実習II B_SCS4740	社会的養護内容 B_SCS3720	保育実習事前事後指導IA B_SCS3720	ソーシャルワークの理論と方法I B_SCS2710	
2年次	保育実習III B_SCS4740	子どもの保健 B_SCS3710	保育実習事前事後指導IB B_SCS3720	障害者福祉論 B_SCS2710	教養科目・IPE科目
	保育実習事前事後指導II B_SCS4720	子どもの食と栄養 B_SCS3720	保育実習事前事後指導I B_SCS3720	保育原理 B_SCS2710	
1年次	保育実習事前事後指導III B_SCS4720	乳児保育I B_SCS3710		社会的養護 B_SCS2710	1年次
	幼児と表現(音楽表現)II B_SCS3120	乳児保育II B_SCS3720			
	幼児と表現(造形表現)II B_SCS3120	保育内容「人間関係」の指導法 B_SCS2220			
	保育内容総論 B_SCS3220	保育内容「環境」の指導法 B_SCS2220			
	保育内容「音楽表現」の指導法II B_SCS3220	保育内容「言葉」の指導法 B_SCS2220			
	保育内容「造形表現」の指導法 B_SCS3220	保育内容「表現」の指導法I B_SCS2220			
	保育内容「身体表現」の指導法 B_SCS3220	保育内容「表現」の指導法II B_SCS2220			
	発達障害論 B_SCS3310	教育行政(幼) B_SCS2310			
	特別な教育・保育ニーズの理解とその支援 B_SCS3720	保育・教育課程論 B_SCS2310			
		幼児理解 B_SCS2410			
		公的扶助論 B_SCS2710			
	幼児と健康 B_SCS2120	保育内容「音楽表現」の指導法I B_SCS1220			
	幼児と人間関係 B_SCS2120	保育者論 B_SCS1310			
	幼児と環境 B_SCS2120	教育原理(幼) B_SCS1310			
	幼児と言葉 B_SCS2120	保育の心理学I B_SCS1310			
	幼児と表現(音楽表現)I B_SCS2120	保育の心理学II B_SCS1320			
	幼児と表現(造形表現)I B_SCS2120	教育方法論(幼) B_SCS1410			
	幼児と表現(身体表現) B_SCS2120	社会福祉の原理と政策I B_SCS1710			
	保育内容「健康」の指導法 B_SCS2220	社会福祉演習 B_SCS1720			

- 専門基礎科目・社会福祉学専門科目
- 領域に関する専門的事項
- 保育内容の指導法
- 教育の基礎的理解
- 教育方法と保育相談
- 教育実践
- 子ども学研究
- 社会福祉・児童福祉

健康開発学科 健康行動科学専攻 カリキュラムマップ (カリ2019ver.2.0)

DP1:自然科学を基礎とした生命科学に加え、社会科学も活用して保健医療福祉の諸問題に取り組み、幅広い学識を持ち、これらを統合的に理解し活用できる
DP2:情報を適切に収集、分析、解釈し、エビデンスに基づき、高品質の保健医療情報を獲得することができる
DP3:対象者の特性に合わせ、適切な保健医療情報を分かりやすく効果的に提供することができる

ポータルサイト



4年次	3年次	2年次	1年次
教職関連科目(査外)			
教養科目・I P E科目			

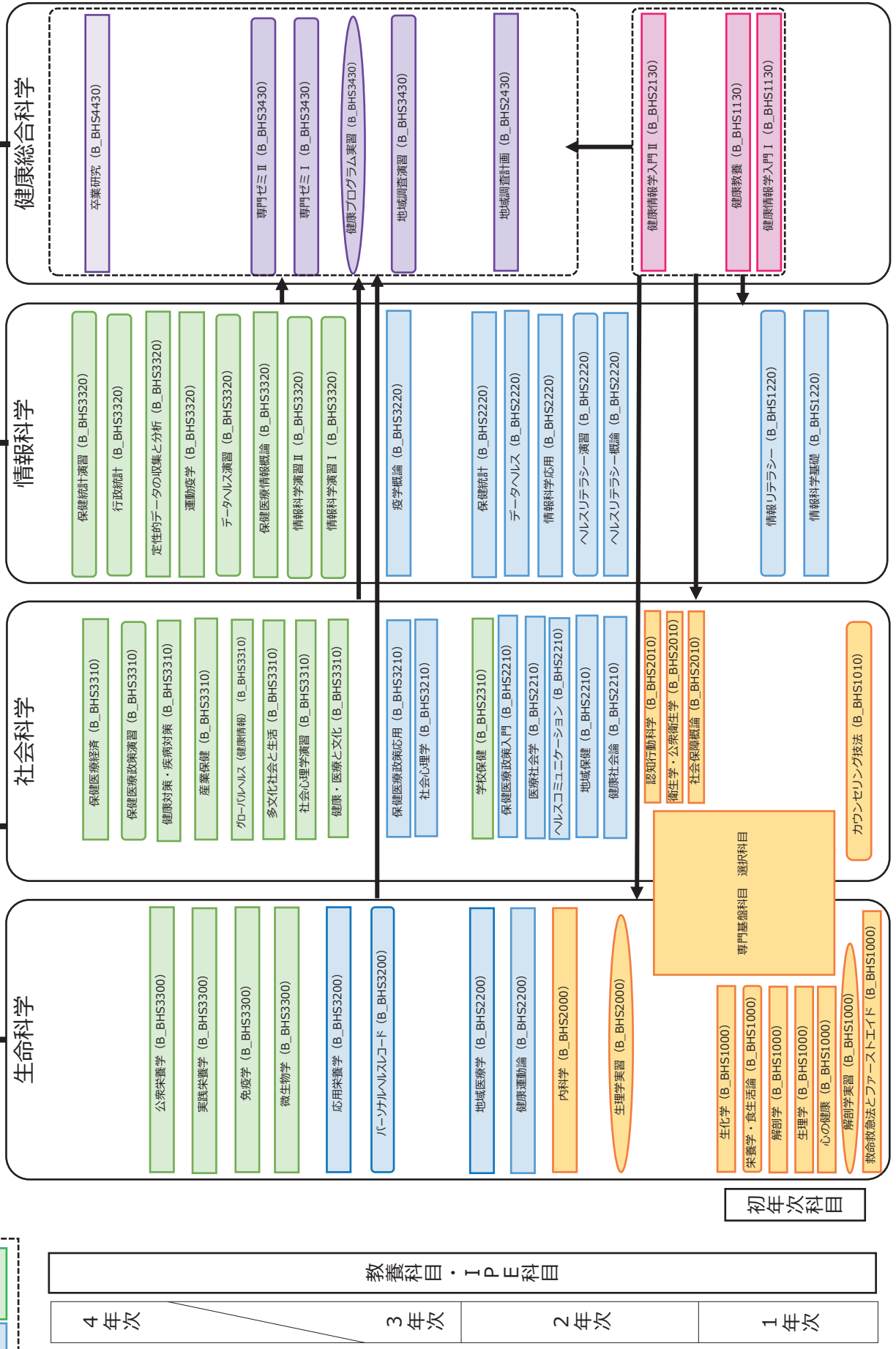
健康開発学科 健康情報学専攻 カリキュラムマップ (カリキュラム2019 Ver3.0)

ボデイ
リリ
シ
ー
ロ
ム

DP1:自然科学を基礎とした生命科学に加え、社会科学も活用して保健医療福祉の諸問題に取り組むことのできる幅広い学識を持ち、これらを統合的に理解し活用できる

DP2:情報を適切に収集、分析、解釈し、エビデンスに基づきく質の高い保健医療情報を獲得することができる

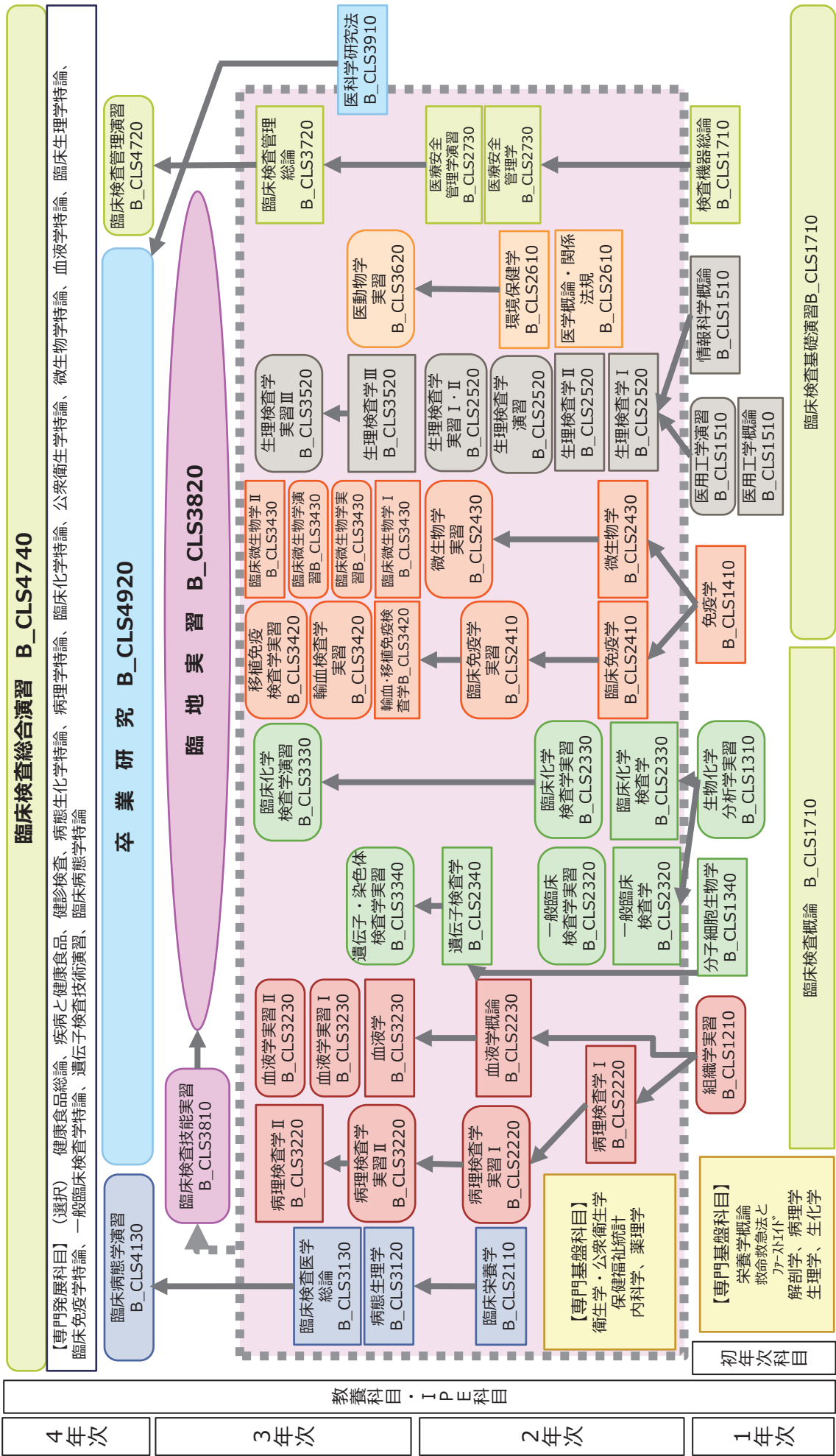
DP3:対象者の特性に合わせ、適切な保健医療情報を分かりやすく効果的に提供することができる



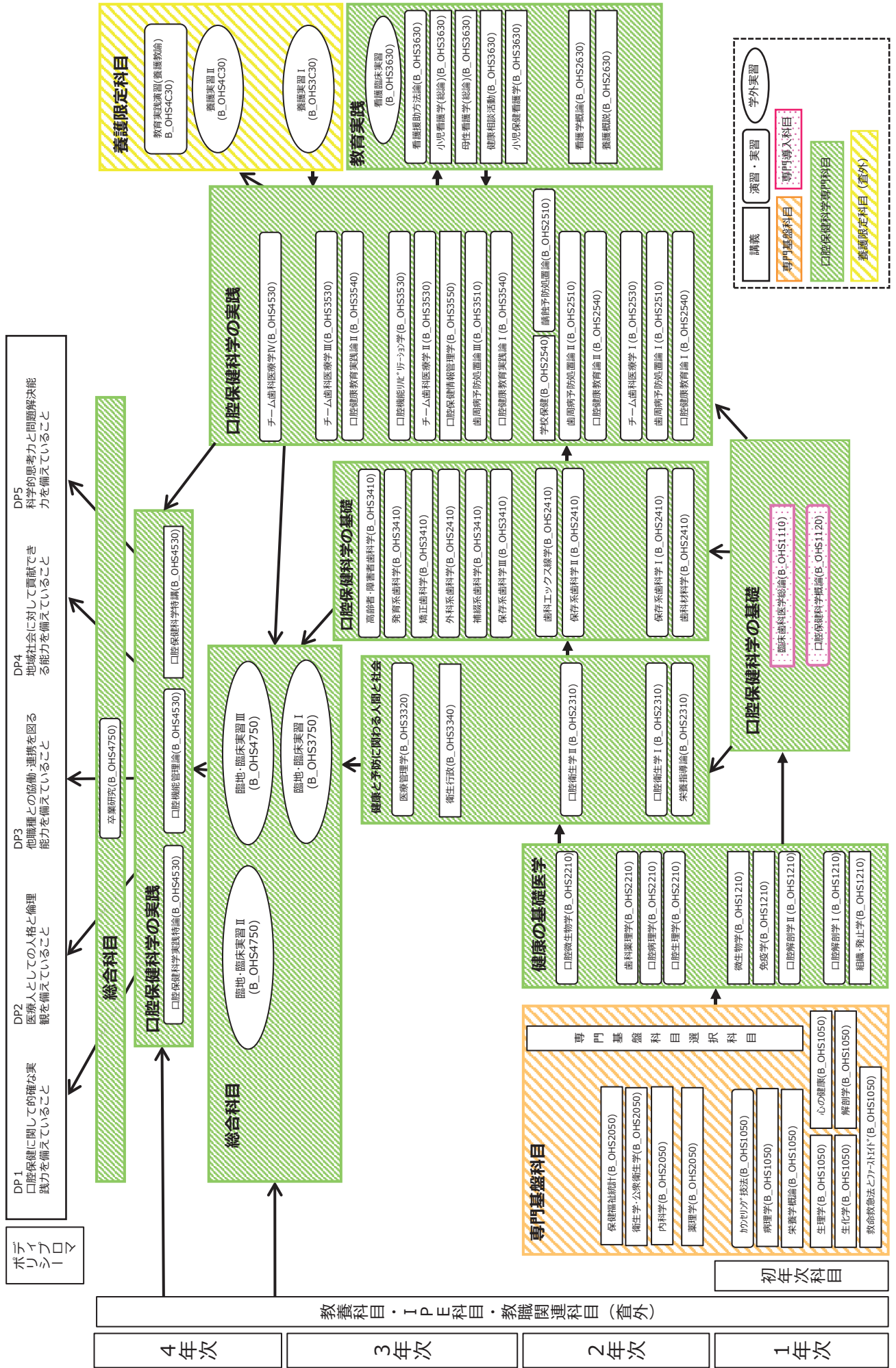
教養科目・I P E 科目

健康開発学科 検査技術科学専攻 カリキュラムマップ (Ver2.0)

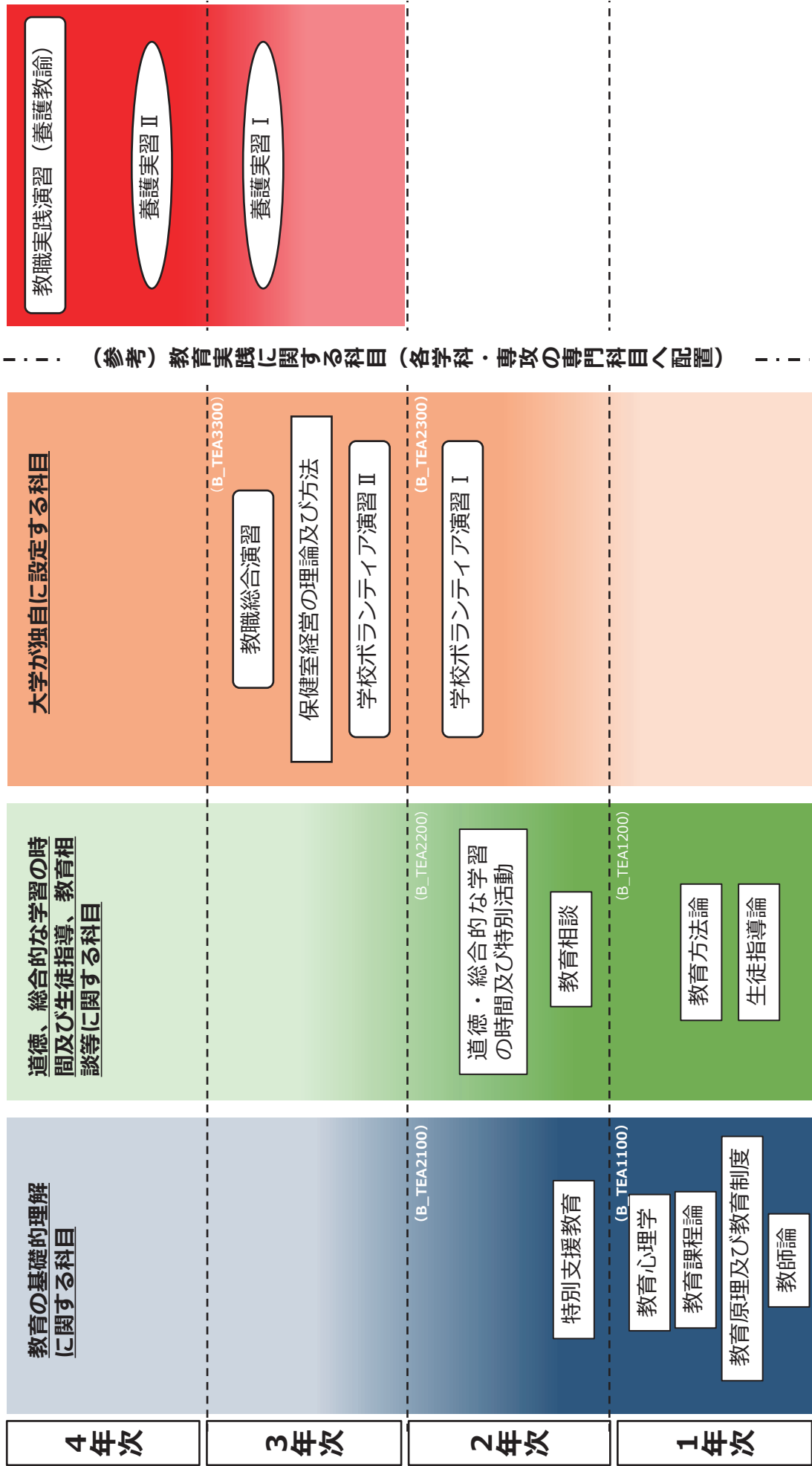
DP1. 広い視野をもった豊かな人間性と人間の多様性を尊重できる倫理観を身に付けていること。
 DP2. 臨床検査に必要となる基本的な知識と技術を修得していること。
 DP3. 得られた情報を科学的に捉え、理論的かつ総合的に解釈する能力を身に付けていること。
 DP4. 医療チームの一員としての臨床検査技術師の使命と役割を理解し、多様な人々とコミュニケーションをとりながら、連携して医療に貢献できる能力を身に付けていること。
 DP5. 保健医療の諸問題をグローバルな視点で捉え、常に探究心をもって、検査技術を通じて社会に貢献できる素養を身に付けていること。



健康開発学科 口腔保健科学専攻 カリキュラムマップ



教職関連科目 カリキュラムマップ



2026年度履修の手引 カリキュラム2019

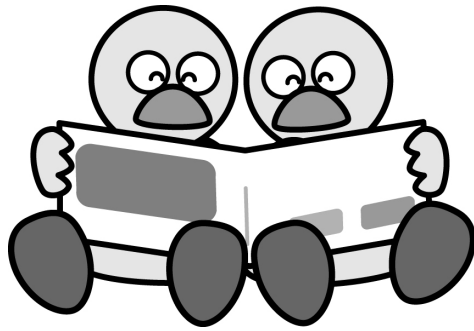
2026年4月1日発行

埼玉県立大学

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地

電話 048-971-0500 (代)

<https://www.spu.ac.jp/>



埼玉県のマスコット コバトン